



Galaxy S6 edge

SC-04G

取扱説明書
'16.3

はじめに

「SC-04G」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

■ 「クイックスタートガイド」(本体付属品)

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

■ 「取扱説明書」(本端末のアプリ)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

- ホーム画面で  → 「取扱説明書」をタップします。項目によっては、記載内容をタップして、説明ページよりダイレクトに内容の参照や機能の起動を行うことができます。
- 初めてご利用される際には、画面の指示に従って本アプリのダウンロードとインストールをする必要があります。
- 「取扱説明書」アプリを削除した場合、再度インストールするには、ホーム画面で「Playストア」から「SC-04G 取扱説明書」を検索し、「取扱説明書」アプリをダウンロードしてください。

■ 「取扱説明書」(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

- ドコモのホームページでダウンロード
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>
- ※ URL および掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。

- タップとは、本端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です (P.67)。

(例) ディスプレイのホーム画面から、 (アプリアイコン)、 (Googleアイコン) を続けてタップする場合は、以下のように記載しています。

1 ホーム画面で → 「Google」

- 本書の操作手順や画面は、主に初期状態に従って記載しています。本端末は、お客様が利用するサービスやインストールするアプリによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書はホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。ホームアプリは、ホーム画面で  → 「設定」 → 「アプリケーション」 → 「標準アプリケーション」 → 「ホーム画面」 をタップして切り替えられます。
- ホーム画面やアプリ画面などに、操作方法などを説明するガイダンス画面が表示される場合があります。「以後表示しない」などの選択項目が表示されている画面は、選択すると、以降表示されなくなります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では、「SC-04G」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

SC-04G 本体
(保証書付き)



ご利用にあたっての
注意事項



クイックスタートガイド



外付けテレビアンテナケー
ブル SC02



マイク付高音質イヤホン
(試供品)



SIM取り出し用ピン
(試供品)



本端末に対応するオプション品 (別売) は、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/option/>

目次

目次/注意事項	本体付属品	2
	本端末のご利用について	6
	安全上のご注意（必ずお守りください）	9
	取り扱い上のご注意	36
ご使用前の確認と設定	各部の名称と機能	49
	ドコモ nanoUIM カード	52
	充電	57
	電源を入れる/切る	62
	基本操作	66
	文字入力	79
	初期設定	88
	通知LED	90
	画面表示とアイコン	91
	エッジスクリーン	99
	ホーム画面	111
	アプリ画面	119
	クイック検索ボックスを使用する	131
	Sファインダーで検索する	133
	最近使用したアプリの一覧	133
	スマートマネージャー	134
	ホームアプリの切り替えかた	135
緊急時長持ちモードを有効にする	136	
docomo LIVE UX	ホーム画面の見かた	138
	ホーム画面の管理	140
	アプリ画面の見かた	146
	アプリの管理	148
	「おすすめ」アプリのインストール	149
	すべてのアプリ表示	150
	ホーム画面のバックアップと復元	151
	マイマガジンの利用	152
ホームアプリの情報	154	

電話	電話をかける	155	
	電話を受ける	161	
	通話中の操作	164	
	履歴	170	
	伝言メモ	172	
	国際電話 (WORLD CALL) を利用する	173	
	通話設定	174	
	電話帳	181	
	メール／ ウェブブラ ウザ	ドコモメール	189
		SMS	190
Eメール		196	
Gmail		202	
緊急速報「エリアメール」		204	
ウェブブラウザ		207	
アプリ	dメニュー	216	
	dマーケット	217	
	Playストア	218	
	Galaxy Apps	220	
	おサイフケータイ	221	
	トルカ	229	
	モバキャス	230	
	テレビ (フルセグ／ワンセグ)	240	
	カメラ	259	
	ギャラリー	270	
	プレイヤー	273	
	GPS／ナビ	275	
	時計	280	
	Sプランナー	283	
	ボイスレコーダー	284	
電卓	286		
ドコモバックアップ	287		
YouTube	292		
辞書	293		

アプリ	S Health	294
	Sボイス.....	295
本体設定	設定メニュー	296
ファイル管理	ストレージ構成.....	364
	ファイル操作	366
データ通信	Bluetooth® 通信	370
	NFC通信.....	375
外部機器接続	パソコンとの接続	377
	プリンターとの接続	382
海外利用	国際ローミング (WORLD WING) の概要.....	383
	海外で利用可能なサービス	384
	海外でご利用になる前に	385
	滞在先で電話をかける／受ける.....	389
	国際ローミングの設定.....	392
	帰国後の確認	395
付録／索引	試供品.....	396
	トラブルシューティング (FAQ).....	400
	あんしん遠隔サポート.....	422
	保証とアフターサービス	423
	ソフトウェアアップデート	428
	主な仕様	431
	携帯電話機の比吸収率 (SAR) などについて	439
	輸出管理規制	450
	知的財産権	451
	SIMロック解除	456
索引.....	457	

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM / GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM / GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、パソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ディ스플레이は、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- 本端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本端末では、ドコモ nanoUIM カードのみご利用できます。ドコモ UIM カード、ドコモ miniUIM カード、FOMA カードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 本端末は、i モードのサイト（番組）への接続や i アプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi 通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- モバキャスは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケットパック／パケット定額サービスの加入をおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモード中（サイレント、バイブ）でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、シャッター音など）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。

ホーム画面で  → 「設定」 → 「端末情報」 → 「ステータス」 → 「SIM カードの状態」 をタップします。

- 本端末のソフトウェアを最新の状態にすることができます (P.428)。
- 本端末は、オペレーティングシステム (OS) のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 利用規約などが表示された場合は、画面に従って操作してください。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- テザリングのご利用には、パケットパック/パケット定額サービスの加入を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、ドコモ nanoUIM カード、外付けテレビアンテナケーブルの取り扱いについて（共通）…………… P.12
2. 本端末の取り扱いについて…………… P.17
3. アダプタ、ワイヤレスチャージャーの取り扱いについて…………… P.23
4. ドコモ nanoUIM カードの取り扱いについて…………… P.27
5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて… P.28
6. 材質一覧…………… P.29
7. 試供品（マイク付高音質イヤホン、SIM 取り出し用ピン）の取り扱いについて… P.32

1.本端末、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、ドコモnanoUIMカード、外付けテレビアンテナケーブルの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れ
ないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃を与えないでください。

禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

禁止

火災、やけどなどの原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。

禁止

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください。電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



禁止

ワイヤレスチャージャーや対応機器に金属製のもの（金属を含む材質のシールなど）を貼り付けないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ワイヤレスチャージャーと対応機器の間に、金属製のもの（金属を含む材質のストラップやクリップなど）を置かないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、対応機器に装着しているカバーなどは取り外してください。

カバーの材質や厚み、対応機器とカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（NFC / おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください。）



指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を長時間連続使用される場合や充電中
はご注意ください。また、眠ってしまうなど
して、意図せず長時間触れることがないよう
ご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴
など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダ
プタの温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の
体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶ
れなどが生じたり、低温やけどなどの原因と
なったりする恐れがあります。

2. 本端末の取り扱いについて

- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

危険



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

禁止

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

禁止

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。失明などの原因となります。

指示

警告



赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

禁止

目に悪影響を及ぼす原因となります。



赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

禁止

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。



ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

禁止

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



本端末内のドコモ nanoUIM カードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

禁止

運転の妨げとなり、事故の原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴などの原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には耐衝撃性の樹脂、カメラのレンズの表面にはアクリル部品を使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがなどの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

注意



本端末が破損したまま使用しないでください。

禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。

禁止



誤ってディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

禁止

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸などで洗い流してください。



一般のゴミと一緒に捨てないでください。

禁止

発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

指示

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について → P.29「材質一覧」



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下などの原因となります。



指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

3. アダプタ、ワイヤレスチャージャーの取り扱いについて

警告



禁止

アダプタやワイヤレスチャージャーのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタやワイヤレスチャージャーは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタやワイヤレスチャージャーには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタやワイヤレスチャージャーのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、ワイヤレスチャージャー、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水で濡れたものをワイヤレスチャージャーで充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやシガーライターソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタやワイヤレスチャージャーのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、ワイヤレスチャージャーのご使用にあたって医師とよく相談してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

万が一、水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、コンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態でアダプタやワイヤレスチャージャーに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。

4. ドコモ nanoUIM カードの取り扱いについて

注意



ドコモ nanoUIM カードを取り扱う際は切
断面にご注意ください。

指示

けがなどの原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源OFFなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

6. 材質一覧

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（側面）	アルミニウム	陽極酸化処理
外装ケース仕切り（側面）	PBT樹脂	—
ディスプレイ（タッチスクリーン）	ガラス	蒸着+AFコーティング
赤外線ポートパネル	PC	—
ドコモ nanoUIM カードトレイ	PC	—
ドコモ nanoUIM カードトレイ（側面）	アルミニウム	陽極酸化処理
背面パネル	ガラス	蒸着+AFコーティング
電源／画面ロックキー、音量UPキー／シャッターキー、音量DOWNキー／シャッターキー	アルミニウム	陽極酸化処理
受話口	STS	研磨仕上げ
ホームキー／指紋センサー（周囲部分）	アルミニウム	陽極酸化処理
ホームキー／指紋センサー（中央部分）	エポキシモールド化合物	コーティング
外側カメラ周辺部	アルミニウム	陽極酸化処理

使用箇所		使用材質	表面処理
外側カメラレンズパネル		ガラス	印刷+AF コーティング
フラッシュ/ライト、心拍数センサーパネル（周囲部分）		アルミニウム	陽極酸化処理
フラッシュ/ライト、心拍数センサーパネル		PC	—
外部接続端子		STS	—
外部接続端子（周囲部分）、ヘッドホン接続端子（周囲部分）		PBT樹脂	—
外付けテレビアンテナケーブル SC02	イヤホンマイク端子（金属部）	真鍮	ニッケルメッキおよび金メッキ
	イヤホンマイク端子外装、接続プラグ外装	低密度ポリエチレン、熱可塑性エラストマー	—
	ケーブル	HACKIN HFW2290-8006 White	—
	接続プラグ（金属部）	真鍮	ニッケルメッキおよび金メッキ
	接続プラグ（樹脂部）	POM	—

使用箇所		使用材質	表面処理
マイク付高音質イヤホン	イヤホン外装	PC	UVコーティング
	イヤホン装飾部	PC	AL 蒸着
	ケーブル	NON PVC	—
	スイッチ、音量キー、マイク外装	PC	UVコーティング
	イヤピース	シリコン	—
	イヤホンスピーカー部	SUS304	バレル研磨
	プラグ(金属部)	真鍮	ニッケルおよび銅メッキ
	プラグ(樹脂部)	POM	—
	プラグ外装、ケーブル分岐部	NON PVC	—
SIM取り出し用ピン		STS	—

7. 試供品（マイク付高音質イヤホン、SIM 取り出し用ピン）の取り扱いについて

危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について → P.29 「材質一覧」

■ マイク付高音質イヤホン

危険



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

自動車などを運転中にマイク付高音質イヤホン进行操作しないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、マイク付高音質イヤホンの音量を上げないでください。

周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

注意



禁止

マイク付高音質イヤホンのコードを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たったり、コードが外れたりするなど、けがなどの事故の原因となります。



禁止

マイク付高音質イヤホンを使用するときは、音量に気を付けてください。

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

■ SIM取り出し用ピン

警告



禁止

SIM取り出し用ピンの先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。

本人や他の人に当たり、けがや失明などの原因となります。

注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがなどの原因となります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をかけないでください。

本端末、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、ドコモ nanoUIMカード、外付けテレビアンテナケーブルは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**

多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。

- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**

傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

- **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

- **ディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**

ディスプレイが破損する原因となります。

- **極端な高温、低温は避けてください。**

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。**

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子やヘッドホン接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はドコモ nanoUIM カードトレイを閉じた状態でご使用ください。**
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。**
指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能の低下や誤動作の原因となります。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

- シールなどで本端末を装飾しないでください。
ワイヤレスチャージャーで充電ができないことがあります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。
- 内蔵電池は消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
本端末が内蔵電池の膨らみによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- 本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - ・ フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - ・ 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。
- 本端末をデコレーションしたり、ペインティングしたりしないでください。
誤動作の原因となります。

アダプタ、ワイヤレスチャージャーについて のお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタやワイヤレスチャージャーが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。故障の原因となります。
- 毛布などを被せた状態でワイヤレスチャージャーを使用しないでください。
- 指定の機器や専用ACアダプタ以外は、ワイヤレスチャージャーに使用しないでください。
- 本端末にアダプタやmicroUSB接続ケーブルを接続している状態でワイヤレスチャージャーに置かないでください。
- 磁気カードなどをワイヤレスチャージャーに近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

- **ワイヤレスチャージャーに磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

ドコモ nanoUIM カードについてのお願い

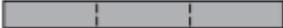
- **ドコモ nanoUIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他の IC カードリーダー／ライターなどにドコモ nanoUIM カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、ドコモ nanoUIM カードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモ nanoUIM カードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモ nanoUIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。

- ドコモ nanoUIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモ nanoUIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth 機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth 機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth 機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth 機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末の Bluetooth 機能／無線 LAN 機能が利用する周波数帯は、次のとおりです。

2.4 FH1 / DS4 / OF4 / XX8



- 2.4 : 2400MHz 帯を利用する無線設備を表します。
- FH/DS/OF/XX : 変調方式が FH-SS、DS-SS、OFDM、その他の方式であることを示します。
- 1 : 想定される与干渉距離が 10m 以下であることを示します。
- 4 : 想定される与干渉距離が 40m 以下であることを示します。

- 8 : 想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
-  : 2400MHz ~ 2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) についてのお願い

■ 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- ・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・ WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては利用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz 機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 5GHz 機器使用上の注意事項

本端末は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の3種類の帯域を利用できます。

- 5.2GHz帯（W52 / 36、40、44、48ch）
- 5.3GHz帯（W53 / 52、56、60、64ch）
- 5.6GHz帯（W56 / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

本端末に内蔵の無線LANを5.2GHz / 5.3GHz帯でご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

試供品（マイク付高音質イヤホン、SIM取り出し用ピン）について

マイク付高音質イヤホン

- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をかけないでください。
マイク付高音質イヤホンは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなる場合がありますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末からマイク付高音質イヤホンを取り外すときは、必ずマイク付高音質イヤホンのプラグ部分を持って本端末から水平に引き抜いてください。
無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

SIM取り出し用ピン

- SIM取り出し用ピンを、ドコモ nanoUIM カードトレイジェクトホール以外の穴などに挿入しないでください。
故障、破損の原因となります。
- 無理な力がかからないように使用してください。
故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールに従って分別廃棄を行ってください。
- SIM取り出し用ピンは他の携帯端末には使用しないでください。
携帯端末の故障、破損の原因となります。

注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク 」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で以下の操作を行うとご確認いただけます。

ホーム画面で  → 「設定」 → 「端末情報」 → 「認証情報」

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

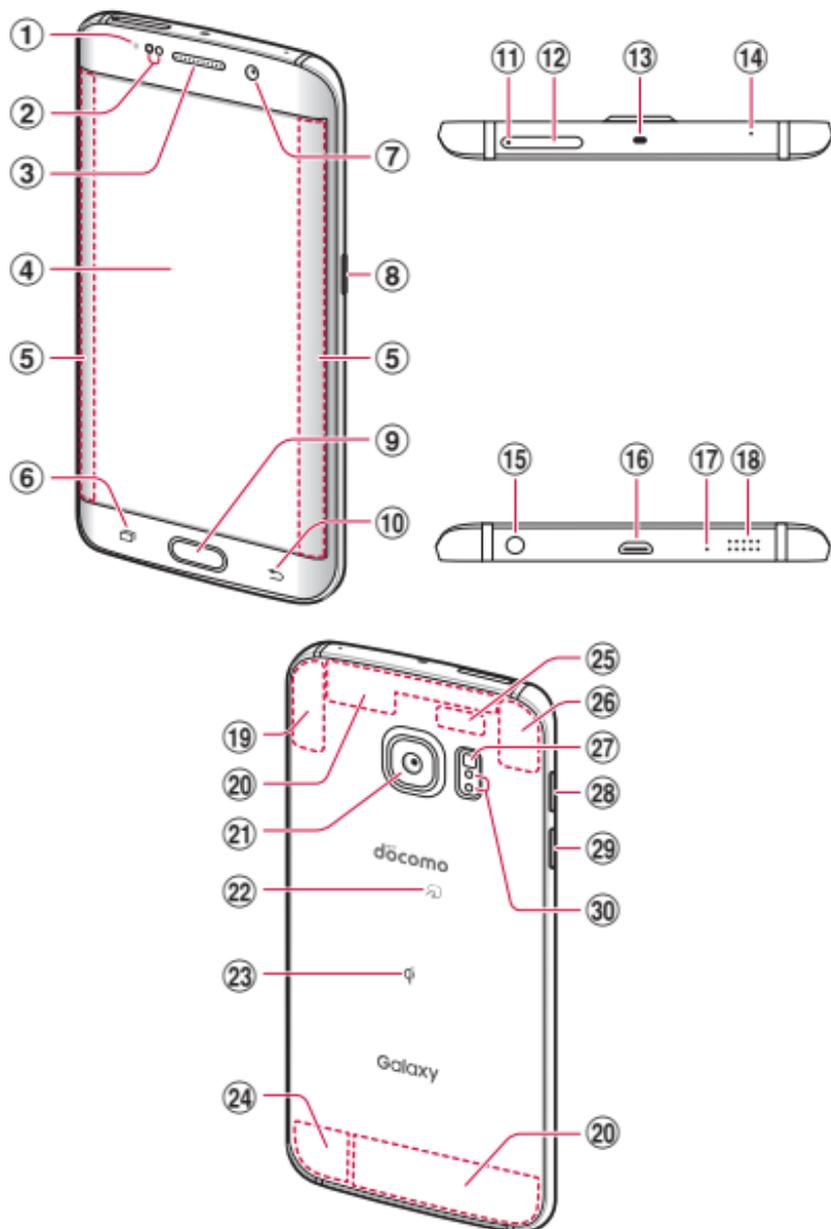
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

- **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。**

- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



- ① 通知LED → P.90
- ② 近接・照度センサー
 - ・ 顔などの接近や周囲の明るさを検知します。
- ③ 受話口
 - ・ 相手からの音声が届きます。
- ④ ディスプレイ（タッチスクリーン） → P.66
- ⑤ エッジスクリーン → P.99
- ⑥  履歴キー → P.113、P.133
- ⑦ 内側カメラ
- ⑧  電源／画面ロックキー → P.62、P.63
 - ・ 1秒以上押すと、メニューが表示されます。
- ⑨  ホームキー／指紋センサー → P.74、P.111、P.132
- ⑩  バックキー
 - ・ ロングタッチするとメニューが表示されます。
- ⑪ ドコモ nanoUIM カードトレイイジェクトホール
- ⑫ ドコモ nanoUIM カードトレイ
- ⑬ 赤外線ポート → P.122
 - ・ 「Peel Smart Remote」アプリ（P.122）でテレビなど他の機器を操作する際に使用します。赤外線通信によるデータの送受信はできません。
- ⑭ 送話口／マイク（上部）
- ⑮ ヘッドホン接続端子
- ⑯ 外部接続端子
- ⑰ 送話口／マイク（下部）
- ⑱ スピーカー
- ⑲ GPS / FOMA / Xi アンテナ*
- ⑳ FOMA / Xi アンテナ*
- ㉑ 外側カメラ → P.263、P.264
- ㉒  マーク
- ㉓  マーク → P.60
- ㉔ Xi アンテナ*

- ②5 Wi-Fiアンテナ*
- ②6 Wi-Fi / Bluetooth アンテナ*
- ②7 フラッシュ/ライト
- ②8 音量UPキー/シャッターキー → P.267、P.324
- ②9 音量DOWNキー/シャッターキー → P.267、P.324
- ③0 心拍数センサー → P.294

※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

お知らせ

- 本端末のホームキーや外側カメラのレンズの周囲、および側面には端末保護のための透明な保護シートが付いています。ご使用の際は、必要に応じてお取り外しください。

ドコモ nanoUIM カード

ドコモ nanoUIM カードは、お客様の電話番号などの情報が記録されている IC カードです。

- 本端末では、ドコモ nanoUIM カードのみご利用できます。ドコモ miniUIM カード、ドコモ UIM カード、FOMA カードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモ nanoUIM カードが取り付けられていないと、本端末で電話の発着信やメールの送受信、データ通信などの機能が利用できません。
- 日本国内では、ドコモ nanoUIM カードを取り付けないと緊急通報番号（110 番、119 番、118 番）に発信できません。
- ドコモ nanoUIM カードの詳しい取り扱いについては、ドコモ nanoUIM カードの取扱説明書をご覧ください。
- ドコモ nanoUIM カードの取り付け／取り外しには、付属の SIM 取り出し用ピン（試供品）が必要です。

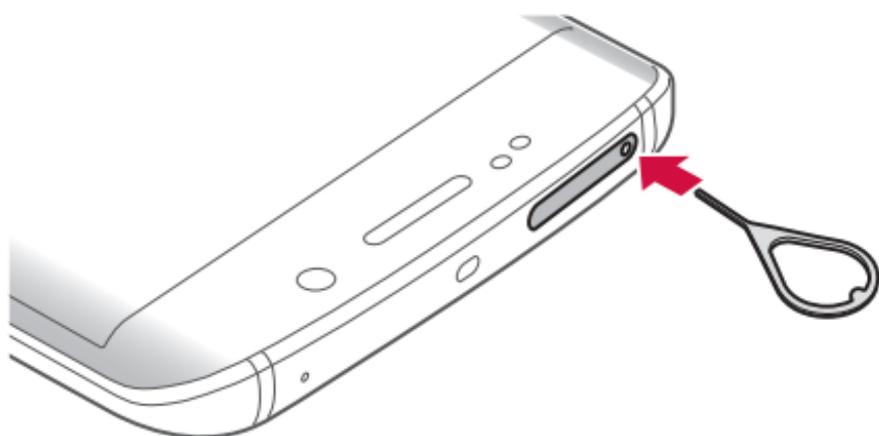
ドコモ nanoUIM カードの暗証番号について

ドコモ nanoUIM カードには、PIN コードという暗証番号が設定されています（P.344）。

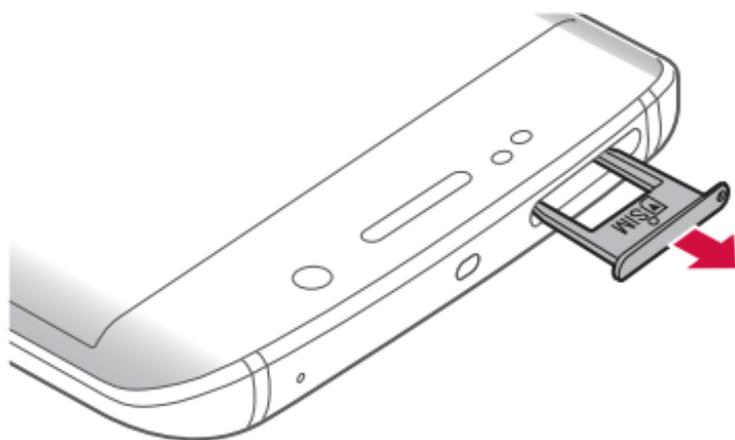
ドコモ nanoUIM カードの取り付け／取り外し

ドコモ nanoUIM カードを取り付ける

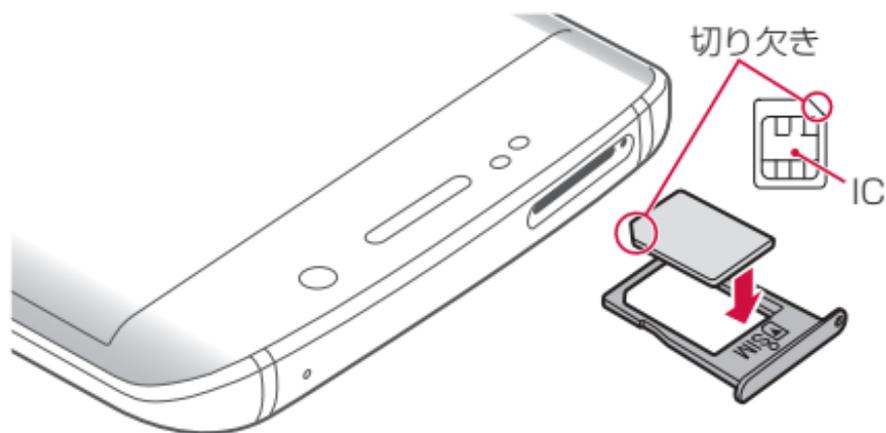
- 1 SIM取り出し用ピンの先端をドコモ nanoUIM カードトレイJECTホールに水平に差し込む



- 2 ドコモ nanoUIM カードトレイをまっすぐ取り出す

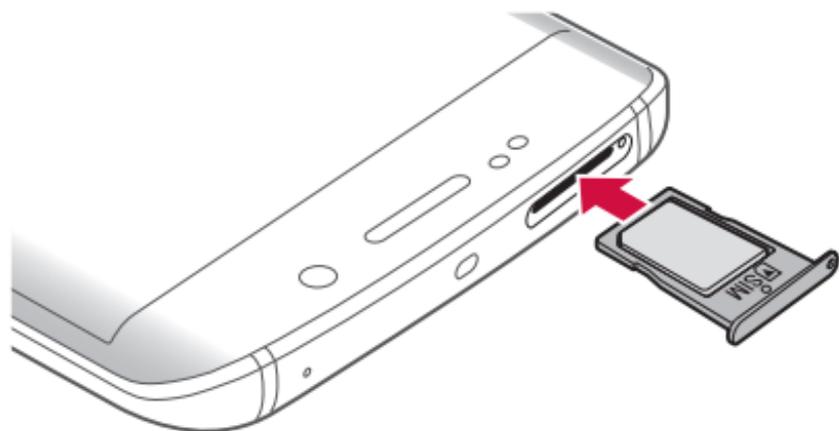


- 3** ドコモnanoUIMカードのIC面を下にして、矢印の向きにドコモnanoUIMカードトレイにはめこむ



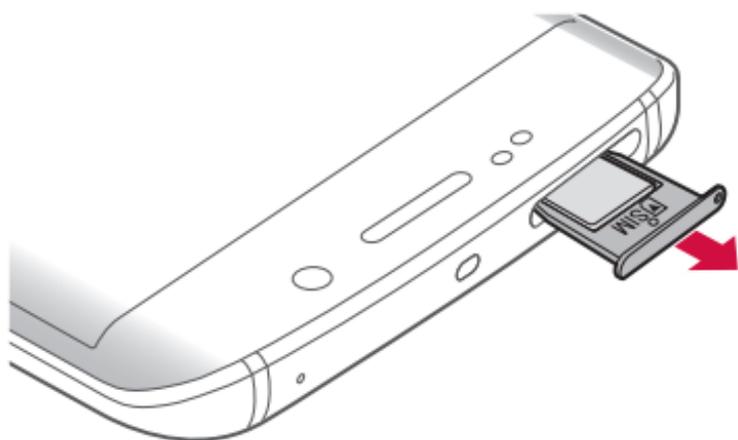
- 4** ドコモnanoUIMカードトレイを本端末に差し込む

- ドコモnanoUIMカードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとドコモnanoUIMカードトレイが破損する恐れがあります。

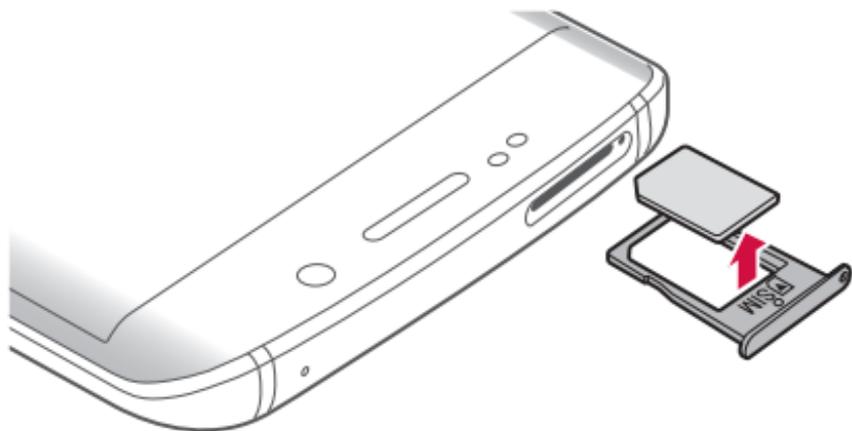


ドコモ nanoUIM カードを取り外す

- 1** SIM取り出し用ピンの先端をドコモ nanoUIM カードトレイジェクトホールに水平に差し込む (P.53)
- 2** ドコモ nanoUIM カードトレイをまっすぐ取り出す



- 3** ドコモ nanoUIM カードをドコモ nanoUIM カードトレイから取り外す



4 ドコモ nanoUIM カードトレイを本端末に差し込む (P.54)

お知らせ

- ドコモ nanoUIM カードを取り扱うときは、IC に触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ドコモ nanoUIM カードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモ nanoUIM カードが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモ nanoUIM カードはなくさないようご注意ください。

■ 内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 充電しながらテレビ視聴などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。



Li-ion 00

■ 充電について

- ACアダプタ 05 (別売)、DCアダプタ 04 (別売)、ワイヤレスチャージャー 03 (別売) について、詳しくは該当の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 05はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でも本端末の電源を入れておけば、本端末を操作することができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。

■ 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。

- 充電中に本端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後本端末は内蔵電池から電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本端末を一度ACアダプタ、DCアダプタ、ワイヤレスチャージャーから外して再度セットし直してください。

■ 内蔵電池の使用時間の目安

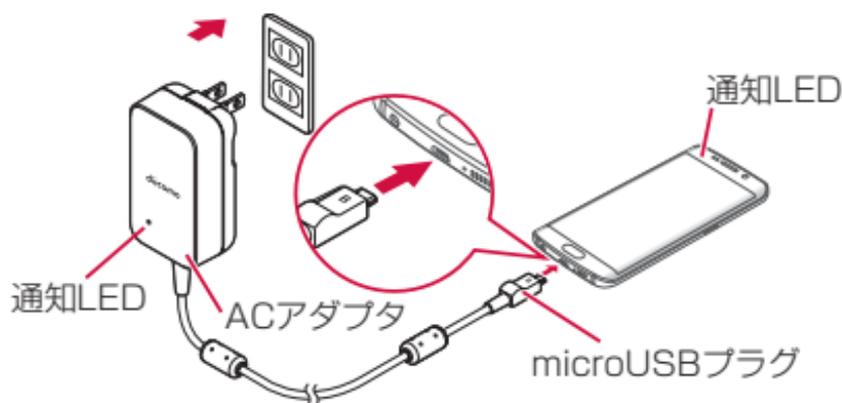
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度などで異なります。使用時間の目安については、「主な仕様」（P.431）をご参照ください。

■ 内蔵電池の充電時間の目安

- 充電時間の目安については、「主な仕様」（P.431）をご参照ください。

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 05（別売）を使って充電する方法を説明します。



- 1** 本端末の外部接続端子に、ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして水平に差し込む
- 2** ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む
- 3** 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- 4** 本端末からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に引き抜く

ワイヤレスチャージャーで充電する

ワイヤレスチャージャー 03 (別売) で充電する場合は、製品に付属されている取扱説明書をご覧ください。

- **Φ** マークがある製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム (WPC) による無接点充電規格に適合しています。

ワイヤレスチャージャーで充電する場合のご注意

- 本端末に市販のカバーなどを装着している場合は、外してください。
- 充電するときは、パイプシートを動作させないでください。振動により端末が動き、充電が完了できなかったり、落下する恐れがあります。
- テレビやラジオなどに雑音が入る場合がありますので、なるべく離れた場所で充電してください。
- 他の無接点充電対応機器から 30cm 以上離してください。本端末を正しく検出できず、充電できない場合があります。
- ワイヤレスチャージャーで充電中は、モバキャストの視聴やコンテンツの受信などがしにくい場合があります。充電しながらモバキャストの視聴やコンテンツの受信などを行う場合は、ACアダプタをご使用ください。また、本端末はACアダプタの電源プラグ部からなるべく離してください。
- 本端末が高温になった場合は、充電速度が遅くなったり、停止したりする場合があります。
- 充電しながらゲームや動画など多くの電力を消費する機能を使用すると、充電が停止する場合があります。

microUSB 接続ケーブルを使って充電する

microUSB 接続ケーブル 01（別売）を使って本端末とパソコンを接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。

- パソコンとの接続のしかたは、P.377をご覧ください。
- パソコンとUSB接続を行うと、パソコン上にポップアップ画面が表示される場合があります。パソコンと同期せずに充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。
- 本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります。

電池が切れそうになると

通知音が鳴り、充電を促すメッセージが表示され、ディスプレイが暗くなります。電池残量がなくなると自動的に本端末の電源が切れます。充電を促すメッセージをタップすると、「バッテリー」画面（P.134）が表示されます。機能やアプリによっては、起動しようとするとき電池残量が少ない旨のメッセージが表示され、起動できないことがあります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

- 1  (電源／画面ロックキー) を2秒以上押す
 - 起動画面が表示され、続いてロック画面が表示されます。
 - 初めて電源を入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います (P.88)。

2 をタップ

■ 電波状態を確認する

ステータスバーに電波の受信状態を示すアイコンが表示されます (P.94)。

圏外を示すアイコンが表示されたときは、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外や電波の届かない場所にいます。

電源を切る

- 1  (電源／画面ロックキー) を1秒以上押す
- 2 「電源OFF」 → 「電源OFF」
 - 本端末が振動し、電源が切れます。

画面ロックを設定／解除する

画面ロックを設定し、タッチスクリーンやキーの誤動作を防止できます。

- 「画面のタイムアウト」(P.322) の設定により画面の表示が消えると、自動的に画面ロックが設定されます。

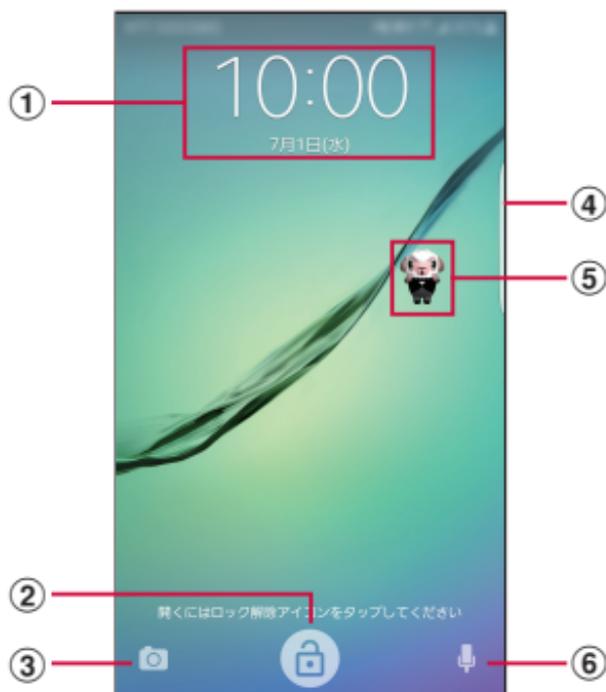
画面ロックを設定する

- 1  (電源／画面ロックキー) を押す
 - 画面の表示が消え、画面ロックが設定されます。

画面ロックを解除する

- 1 画面ロック中に  (電源／画面ロックキー) /  (ホームキー) を押す
 - ロック画面が表示されます。
- 2  をタップ

ロック画面について



ロック画面（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

- ① 時計ウィジェット
- ② ロック解除ボタン*
- ③ カメラ起動ボタン
- ④ エッジパネルハンドル
 - ・ 画面の中央に向かってスワイプするとエッジパネルを表示します（P.103）。
- ⑤ マチキャラ*（例：ひつじのしつじくん）
 - ・ メール受信や着信などの情報をお知らせします。
- ⑥ 検索ボタン*
 - ・ しゃべってコンシェルを起動し検索ができます。

※ ホーム画面を「docomo LIVE UX」に設定している場合のみ表示されます。

お知らせ

- 画面ロック中に不在着信などの通知情報があると、ロック画面に通知情報が表示される場合があります。
- 画面ロックの解除方法は変更できます (P.338)。

基本操作

タッチスクリーン、モーションを使って多様な操作ができます。

- タッチスクリーンに電気を帯びた物質や金属性の物質が触れないように注意してください。静電気により本端末がうまく動作しないことがあります。
- 充電中に本端末を使用すると、タッチスクリーンが動作しないことがあります。この場合は、本端末を充電機器から取り外してください。
- 本端末を持って操作する場合は、アンテナが組み込まれている部分を手で覆わないようにしてください。

タッチスクリーンの使いかた

■ タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面にのせたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼っての操作

本端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指で触れて操作できます。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

■ タップする／ダブルタップする

表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します（タップ）。

また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します（ダブルタップ）。



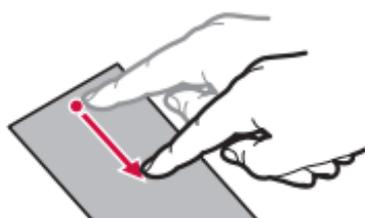
■ ロングタッチする

表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。



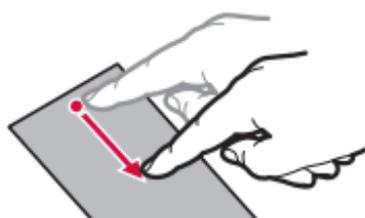
■ ドラッグする

表示項目やアイコンなどを指で触れたまま移動します。



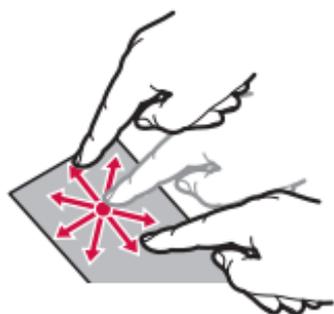
■ スワイプする

表示画面を指で軽くなぞる動作です。



■ スクロールする

表示内容を指で触れながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。



■ フリックする

表示内容を指で触れながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。



■ ピンチアウトする／ピンチインする

表示されている画像やホームページなどを2本の指で触れながら、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭めたり（ピンチイン）して表示内容の拡大／縮小ができます。



高度な機能の使いかた

簡単な動作で機能を実行できます。

※ 一部のアプリでは、本機能を利用できない場合があります。

高度な機能の主な機能

本端末を動かすなどの動作で、次の操作ができます。

- 高度な機能を利用する前に、ホーム画面で  → 「設定」 → 「高度な機能」 → 利用する高度な機能をONにする必要があります。

■ 片手操作

ホームキーを素早く3回押して、画面サイズを縮小したり、片手入力に向けた入力画面にしたりします。

■ カメラをクイック起動

ホームキーを素早く2回押してカメラを起動します。

■ スワイプでポップアップ表示

アプリを起動中に、画面の右上または左上から下に向かって対角線上にスワイプすると、アプリをポップアップ表示します。



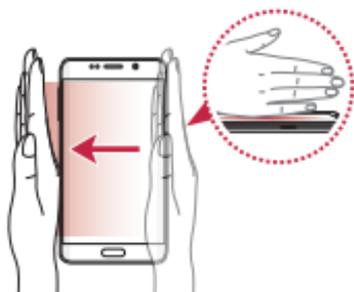
■ スマートキャプチャ

画面キャプチャ後に、「さらにキャプチャ」、「共有」、「トリミング」が表示されるようになります。画面の非表示領域をキャプチャしたり、画面キャプチャを共有またはトリミングすることができます。



■ スワイプキャプチャ

手の側面で画面上を右から左、または左から右にスワイプすると、画面の表示内容を画像として保存できます。



■ ダイレクトコール

SMS一覧画面や、Galaxyが提供する「連絡先」アプリの詳細画面などを表示した状態で、本端末を持ち上げて顔に近づけると、その連絡先に電話をかけます。

※ 発信時に、国際ダイヤルアシスト画面が表示されることがあります。



■ スマートアラート

不在着信や新着SMSがある状態で、画面の表示が消えているときに本端末を持ち上げると振動して通知します。

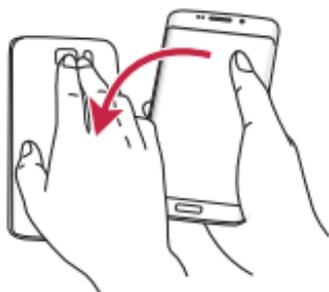


■ 簡単に消音

画面に手のひらを置く
着信音やアラームの鳴動中などに、画面に手のひらを置くと消音します。



端末を伏せる
着信音やアラームの鳴動中などに、本端末を伏せると消音します。



お知らせ

- 本端末に過度な動き（揺れ、衝撃など）を与えた場合、センサーの特性によって高度な機能が正しく動作しない場合があります。
- 暗い色の手袋などを着用したり、センサーの認識範囲外で動作をした場合は、センサーの特性により高度な機能が正しく動作しない場合があります。

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本端末の縦／横の向きや傾きなどを感知するモーションセンサーによって、ディスプレイの表示方向を自動的に切り替えることができます。

1 通知パネル (P.96) を表示する

2 「縦画面」をタップする

お知らせ

- ホーム画面や一部の機能など、表示方向が自動的に切り替わらない機能やアプリもあります。

設定の切替

設定項目にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタップすることで設定のON / OFF や有効 / 無効を切り替えることができます。

-  はON、 はOFFの状態です。
-  は有効、 は無効の状態です。

画面の表示内容を画像として保存する

表示中の画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）できます。

1 画像として保存したい画面を表示

2 （ホームキー）と （電源／画面ロックキー）を同時に1秒以上押す

お知らせ

- 一部のアプリではスクリーンキャプチャが動作しない場合があります。
- キャプチャした画像はpng形式で保存され、「ギャラリー」／「フォト」アプリで確認できます。
- 高度な機能の「スワイプキャプチャ」（P.70）の機能をONにすると、本端末の画面上を手の側面で右から左、または左から右にスワイプしてスクリーンキャプチャできます。
- 高度な機能の「スマートキャプチャ」（P.70）の機能をONにすると、画面キャプチャ後に「さらにキャプチャ」、「共有」、「トリミング」が表示されるようになります。「さらにキャプチャ」をタップすると、画面をスクロールして表示できる領域を1枚の画像としてキャプチャし続けることができます。「さらにキャプチャ」でキャプチャした画像がjpg形式で保存されます。

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能は、指紋センサーに指を押し当てて行う認証操作です。

■ 指紋認証利用時の注意事項

- 本機能は指紋の特徴情報を認証に利用するためのものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で複数回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指を押し当てた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。手が乾燥しているなど、指の状態によっては指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。その場合、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
- 指紋の登録や認証の際は、第1関節をセンサー中央に合わせ、指を押し当てます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を押し当ててください。
- 指を曲げたり、指先だけでセンサーに触れたりすると、正常に認識できないことがあります。
- 指の押し当て方が弱かったり指の離し方が速すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。できるだけ指紋の渦の中心を指紋センサーの中心に押し当ててください。

-  (電源／画面ロックキー) /  (ホームキー) を押してからロック画面が表示されるまでの間は、指紋センサーに触れないでください。指紋センサーが機能しなくなることがあります。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。異なる2つの指紋を指紋センサーが誤認識する可能性は非常に低いですが、特徴が非常に似た異なる指紋を同一の指紋と認識することがあります。当社では本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時の注意事項

- 指紋センサー表面や操作する指先に汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- ぶつかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、センサー表面をひっかいたり、ペン先など先の尖ったものでつついたりしないでください。
- 爪やストラップの金具など硬いものを押し付けると、指紋センサー表面に傷が付くことがあります。
- 泥などで指紋センサー表面が汚れたり、表面に傷が付いたりすると、故障および破損の原因となることがあります。

- お買い上げ時に貼り付けられている保護フィルムをはがしてからご使用ください。保護フィルムを貼り付けたまま使用すると、正常に認識できないことがあります。
- 指紋センサー表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れなどが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下することがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が解消されることがあります。
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい、乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬季など乾燥する時期は、特にご注意ください。

指紋認証機能を設定する

指紋を登録したり、利用する機能を設定します。指紋登録は最大4件まで登録できます。

- 画面ロックの解除方法については、「画面ロックの解除方法を設定する」(P.338)をご参照ください。

■ 指紋を登録する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ロック画面とセキュリティ」 → 「指紋認証」
- 2 「指紋を追加」
- 3 以降、画面の指示に従って指紋を登録
 - 初回登録時に、指紋を保護するセキュリティを設定します。

■ 画面ロックの解除方法として設定する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ロック画面とセキュリティ」
- 2 「画面ロックの種類」
- 3 「指紋認証」
- 4 画面の指示に従って操作
- 5 ロック画面の通知の表示オプションを選択 → 「完了」

■ Webサインイン／Galaxyアカウントへの認証 操作での利用を設定する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ロック画面とセキュリティ」 → 「指紋認証」
 - ・ 指紋を保護するセキュリティを解除します。
- 2 「Webサインイン」／「Galaxyアカウントを認証」
- 3 以降、画面の指示に従って設定

■ 指紋を解除する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ロック画面とセキュリティ」 → 「指紋認証」
 - ・ 指紋を保護するセキュリティを解除します。
- 2 削除する指紋をロングタッチ → 「削除」 → 「削除」

指紋認証を行う

- 1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサーに指を置く
 - ・ 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。
 - ・ 指紋を保護するセキュリティで解除しても、指紋の解除ができます。

文字入力

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボード（Galaxy日本語キーボード）を表示し、キーボードのキーをタップします。

お知らせ

- Google 音声入力、ドコモ文字編集を利用すると、音声で文字を入力できます。
- 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリや機能専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボードの種類（入力方法）を切り替える

- 1 キーボード表示中に通知パネルを開く
- 2 「キーボードを選択」
- 3 利用したい入力方法をタップ

Galaxy日本語キーボードで入力する

Galaxy日本語キーボードは、「テンキー」と「QWERTYキーボード」の2種類のキーボードを利用できます。

- テンキー：一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が入力されるまで数回タップします。

- QWERTYキーボード：パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。



- ① 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
 - 「日本語予測変換」／「予測変換」をOFFに設定している場合や、予測変換候補の表示中に  をタップすると、通常変換候補が表示されます。
 -  をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の表示領域を広げます。 をタップすると、元の表示に戻ります。
- ② 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます（フリック入力時は切り替わりません）。
 - 文字が入力されていない場合は、表示されているキーの操作を実行します。
ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。

 ： 音声入力に切り替え

 ： クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け

 ： Galaxy日本語キーボードの設定メニューを表示

 ： 標準キーボード／片手操作キーボードに切り替え

- ③ カーソルを左または右に移動します。
- テンキーで同じキーに割り当てられている文字を続けて入力する場合は、 をタップします。
 - 「日本語ワイルドカード予測」 / 「ワイルドカード予測」をONに設定している場合は、 をタップするとワイルドカード予測 (P.83) を利用できます。
- ④ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補 / 通常変換候補が表示されます。
- 文字が入力されていない場合は、 が表示され、タップすると数字 / 記号入力モードに切り替わります。ロングタッチすると絵文字 / 顔文字 / 記号の一覧を表示します。タブをタップすると一覧表示が切り替わります。 をタップすると、キーボード表示に戻ります。
- ⑤ ひらがな漢字 / 英字入力モードに切り替えます。
- ⑥ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
- ⑦ 通常変換候補を表示します。
- 変換候補が表示されていない場合は、タップするとスペースを入力できます。 は、ひらがな漢字入力の場合のみ表示されます。
- ⑧ 入力した文字を確定します。
-  が表示されている場合は、タップすると改行します。
 -  が表示されている場合は、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。
 - 、、 が表示されている場合は、タップすると検索などの操作を行います。
- ⑨ 濁点や半濁点を付けたり、文字を大文字 / 小文字に切り替えたりします。
- 英字入力モードの場合は  と表示されます。

- ⑩ 表示されているキーの操作を実行します。
- ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。
-  : 音声入力に切り替え
-  : クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
-  : Galaxy日本語キーボードの設定メニューを表示
-  : 標準キーボード／片手操作キーボードに切り替え
- ⑪ 記号入力モードに切り替えます。
- ロングタッチすると絵文字／顔文字／記号の一覧を表示します。タブをタップすると一覧表示が切り替わります。 をタップすると、キーボード表示に戻ります。

お知らせ

- ドコモ文字編集には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

キーボードの種類を切り替える

- 1 キーボード表示中に 
- 2 「テンキー⇔QWERTYキーボード」
- 3 「テンキー」 / 「QWERTYキーボード」 → 「OK」

お知らせ

- 手順3で「カスタム設定」を選択した場合は、画面の向き、入力言語ごとにキーボードの種類を設定できます。

半角／全角を切り替える

- 1 キーボード表示中に  をロングタッチ
- 2 「半角」／「全角」

ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、単語などの読みの文字数を入力して、変換候補を絞り込む機能です。

- ・「日本語予測変換」と「日本語ワイルドカード予測」をONに設定している場合に利用できます。
- ・英文／ハングル入力時は、「予測変換」と「ワイルドカード予測」をONに設定している場合に利用できます。

例：「東京都」を入力する場合

- 1 キーボード表示中に「と」「う」を入力
- 2  を4回タップ
 - ・「とう〇〇〇〇」が表示され、予測変換候補に「東京都」が表示されます。
 - ・読みの文字数を変更する場合は、 /  をタップします。
- 3 「東京都」

文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付ける

1 キーボード表示中に入力した文字列をロングタッチ

- ・   などが表示されます。  などをドラッグすると、カーソルを移動できます。

2 利用するアイコンをタップ

アイコン	説明
	入力したすべての文字を選択します。
	選択した文字列を切り取ります。
	選択した文字列をコピーします。
	コピーした／切り取った文字列を貼り付けます。

お知らせ

- ・ 画面を横向きにした場合は、表示が異なる場合があります。
- ・ アプリによっては、本機能を利用できない場合や、利用できない機能がある場合があります。また、アイコンの表示が異なる場合や、手順2以外のアイコンが表示される場合があります。
- ・ 文字入力欄で文字が入力されていないエリアをロングタッチするとメニューが表示され、「全て選択」「貼り付け」「クリップボード」を利用できます（アプリによっては利用できない場合があります）。

文字入力／変換機能を設定する

Galaxy日本語キーボードの設定を行う

Galaxy日本語キーボードを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「言語と文字入力」 → 「Galaxy日本語キーボード」

2 設定したい項目をタップ

項目	説明
入力言語	システム言語、日本語、英語、韓国語の組み合わせから選択します。
テンキー⇄QWERTYキーボード	キーボードの種類を切り替えます。
フリック入力	フリックタイプの選択、フリック感度やトグル入力を設定します。
表示／操作補助	キーサイズ・候補表示行数などの表示やキー操作音・キーポップアップなどの操作補助を設定します。
予測／変換	学習辞書に語句を保存したり、変換候補の表示などを設定します。

項目	説明
音声入力	音声での文字入力を「ドコモ音声入力」「Google 音声入力」「使用しない」から選択します。
辞書登録	ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
外部アプリ連携	マッシュルームの拡張を使用するかどうかを設定します。
バックアップと復元	NFCを通じて、他の端末との間でバックアップデータを送信、受信、復元します。
リセット	学習辞書や設定を初期化します。
iWnn IME for Galaxy	Galaxy日本語キーボードのバージョンを確認します。

Google 音声入力の設定を行う

Google 音声検索時に使用する言語などを設定できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「言語と文字入力」 → 「Google 音声入力」
- 2 設定したい項目をタップ

ドコモ文字編集の情報

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「言語と文字入力」 → 「ドコモ文字編集」
- 2 「アプリ情報」
 - ドコモ文字編集の詳細情報を確認できます。

初期設定

お買い上げ後、初めて本端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従って、使用する言語や Google / Galaxy アカウントなどの設定、およびドコモサービスの初期設定を行います。

ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なる場合があります。

1 「開始」

- 言語を変更する場合は、「日本語」をスライドします。
- ユーザー補助設定を変更する場合は、「ユーザー補助」→ユーザー補助を設定します。
- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行い、「次へ」をタップします。
 - Wi-Fi
 - 利用規約
 - 端末が増えた場合
 - アカウントの追加
 - 名前
 - メールのセットアップ
 - スマートフォンの保護
 - Google サービス
 - Galaxy アカウント
 - ホーム切替

2 「完了」

- 続けてドコモサービスの初期設定を行います。

3 注意事項や利用規約などの内容を確認し、「すべてのリンク先の内容に同意する」にチェックを付ける → 「設定をはじめる」

- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行い、「進む」をタップします。
 - dアカウント
 - ドコモクラウド
 - ドコモアプリパスワード
 - ドコモ位置情報
 - 遠隔初期化*
 - アプリ一括インストール

※ ドコモアプリパスワードを設定していない場合は表示されません。

4 「使いはじめる」

- ホーム画面の操作ガイドが表示されます。「以後表示しない」 / 「OK」をタップするとホーム画面が表示されます。

お知らせ

- 設定した各機能は後から変更できるものもあります。
- オンラインサービスを設定する前に、データ接続が可能な状態（LTE/3G/GRPS）であることをご確認いただくか、Wi-Fiネットワークに接続されていることをご確認ください。
- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

通知LED

画面の表示が消えている状態で、不在着信などの通知があるときや、充電しているときなどに、通知LEDが点灯／点滅して通知や本端末の状態をお知らせします。

動作	説明
赤で点灯*	充電中
緑で点灯	充電完了
赤で点滅*	電池残量が残りわずか
青で点滅* (約5秒間隔)	不在着信や新着メールなどの通知あり
青で点滅* (約1秒間隔)	ボイスレコーダーで録音中
青と水色で交互に点灯	電源を入れて起動中／電源を切ってシャットダウン中

※ 「LEDインジケーター」(P.322) で通知LEDを動作させるかどうかを設定できます。

お知らせ

- 充電中に通知がある場合は、通知をお知らせする動作(青で点滅)が優先されます。

画面表示とアイコン

ディスプレイ上部のステータスバーには、本端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。



主な通知アイコン

- 通知アイコンには、複数件の通知があったことを示す、アイコンが重なったデザインで表示されるものもあります。

通知アイコン	
	着信中／通話中
	不在着信あり
	新着 Gmail あり
	新着 Eメールあり
	新着 SMS あり
	SMS の送達通知あり
	SMS の配信に問題あり
	新着 エリアメールあり
	新着 ハングアウトメッセージあり

通知アイコン

	データダウンロード中／完了
	データアップロード中／完了
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり
	伝言メモ機能ON
	伝言メモの録音メッセージあり
	アラームあり
	スケジュールなどのアラームあり
	バックグラウンドで音楽再生中／一時停止中
	エラーメッセージあり
	GPS機能現在地測位中（点滅）
	USBテザリング機能ON
	Wi-Fiテザリング機能ON
	Bluetoothテザリング機能ON
	テザリング機能を2つ以上同時にON
	Galaxy Appsのアプリがインストール完了／インストール済みアプリのアップデートあり
	ソフトウェアアップデートの設定／確認中

通知アイコン

	dマーケットに更新可能なアプリあり
	Google Playに更新可能なアプリあり
	Google Playのアプリのインストール完了
	非表示の通知情報あり
	VPN接続中
	スクリーンキャプチャで保存した画像あり
	本端末のメモリの空き容量低下
	フルセグ/ワンセグ視聴中/録画中
	モバキャス受信中
	おまかせロック設定中
	ドコモバックアップアプリの通知あり
	ドコモアプリの位置情報機能ON
	SOSメッセージあり

主なステータスアイコン

ステータスアイコン	
 (弱⇔強)	電波状態
 (弱⇔強)	電波状態 (国際ローミング中)
	圏外
	機内モード設定中
	LTE ネットワーク使用可能／通信中 (待機中は矢印が濃いグレー、受信中中は矢印が薄いグレー)
	3G ネットワーク使用可能／通信中 (待機中は矢印が濃いグレー、受信中中は矢印が薄いグレー)
	FOMA ハイスピード／HSDPA ネットワーク使用可能／通信中 (待機中は矢印が濃いグレー、受信中中は矢印が薄いグレー)
	GPRS ネットワーク使用可能／通信中 (待機中は矢印が濃いグレー、受信中中は矢印が薄いグレー)
	Wi-Fi ネットワーク使用可能／通信中 (待機中は矢印が濃いグレー、受信中中は矢印が薄いグレー)

ステータスアイコン

	ユーザー認証が必要なWi-Fi ネットワークに接続し、ユーザー認証が未成立の状態インターネットには接続できません
	Bluetooth機能 ON
	Bluetoothデバイスと接続中
	マナーモード (バイブ) 設定中
	マナーモード (サイレント) 設定中
	アラーム設定中
	VoLTE使用可能
 (低⇔高)	電池レベル
	充電中
	Wi-Fi Direct接続中
	ハイブリッドダウンロード機能 ON
	本端末とドコモ nanoUIMカードに NFC /おサイフケータイ ロック設定中
	本端末またはドコモ nanoUIMカードに NFC /おサイフケータイ ロック設定中

通知パネルについて

ステータスバーを下方方向にスクロールすると通知パネルが表示され、通知情報などを確認したり、アイコンをタップして機能を設定したりすることができます。



通知パネルの表示内容（表示例）

- ① 現在の日付と時刻が表示されます。
- ② クイック設定ボタンで、各種機能のON / OFFを切り替えます。左右にスクロールしたり、右上の  をタップしたりすると、表示されていないアイコンを表示できます。ロングタッチすると、各機能の設定メニュー画面が表示されます。
 - Wi-Fi：→ P.300
 - 位置情報：→ P.275
 - サウンド：→ P.324
 - 自動回転：→ P.72

- Bluetooth：→ P.373
- モバイルデータ：データ通信のON / OFFを切り替えます。OFFにすると、モバイルネットワークによるデータ通信ができなくなります。
- ウルトラス省電力モード：→ P.362
- 機内モード：→ P.305
- 通知をミュート：→ P.327
- ライト：ライトを点灯 / 消灯します。
- 省電力モード：→ P.362
- Wi-Fiテザリング：→ P.306
- プライベートモード：→ P.335
- Smart View：対応機器と本端末の画面を共有します。
- NFC / おサイフケータイ：→ P.375
- 同期：→ P.355
- Sファインダー：→ P.133

③ ディスプレイの明るさを調整します (P.328)。

④ クイック接続画面が表示されます。*¹

⑤ 進行中情報や通知情報*²が表示されます。

⑥ 通知を受信するアプリを選択します。

⑦ タップすると、設定メニューが表示されます (P.296)。

⑧ タップすると通知情報とステータスバーの通知アイコンの表示を消去できます。

- 通知情報の種類によっては、消去できない場合もあります。

⑨ 接続中の通信事業者名が表示されます。

※1 他のクイック接続対応機器と接続してデータを共有したり、「Peel Smart Remote」アプリ (P.122) と連携してテレビのリモコンとして使用したりすることができます。クイック接続の詳細については、「クイック接続」をタップしてご確認ください。

※2 ロック画面（「パターン」、「PIN」、「パスワード」、「指紋認証」のいずれかの場合）で表示した通知パネルの通知の一部が非表示になる、および通知されなくなる場合があります。

お知らせ

- クイック設定ボタンは、ONに設定されている場合は青色で表示されます。

通知パネルを編集する

クイック設定ボタンの並べ替えなどができます。

- 1 通知パネルで  → 「編集」
- 2 クイック設定ボタンをロングタッチ → 移動したい位置までドラッグして離す
- 3 「完了」

エッジスクリーン

エッジスクリーン (P.49) でさまざまな機能が利用できます。

■ エッジパネル → P.100、P.103

各アプリのショートカット (Apps edge) やよく使う連絡先 (People edge) などを利用できます。



■ エッジフィード → P.108

画面OFF時にニュースや通知などの情報を表示します。



■ Edge lighting → P.109

本端末を伏せているときに、着信やSMSなどの受信を光でお知らせします。



エッジパネルを設定する

エッジパネルをONにすると、画面ON時に、エッジパネルハンドルが表示され、スワイプするとエッジパネルを表示できます。エッジパネルには、アプリや機能、よく使う連絡先などを表示できます。

また、使用するエッジパネルを追加したり、エッジパネルハンドルの位置などを設定したりできます。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「エッジスクリーン」

- エッジスクリーンの設定メニューが表示されます。

2 「エッジパネル」 →

お知らせ

- エッジパネルをタップすると、エッジパネルの名称を確認できます。

エッジパネルの並び順を変更する

- 1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」
- 2 「並べ替え」
- 3 移動したいパネルの  に触れたまま、移動したい位置までドラッグして離す
- 4 

エッジパネルを追加する

- 1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」
- 2 追加したいエッジパネルにチェックを付ける

エッジパネルをダウンロードする

Galaxy Appsからエッジパネルをダウンロードできません。

- 1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」
- 2 「ダウンロード」
 - ・以降は画面の指示に従って操作してください。

エッジパネルを編集する

- 1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」
- 2 
 - ・以降は画面の指示に従って操作してください。

エッジパネルハンドルを設定する

エッジパネルハンドルの位置やサイズなどを設定できません。

- 1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」
- 2 「エッジパネルハンドルを設定」
- 3 各項目を設定

エッジパネルを利用する

1 エッジスクリーンのエッジパネルハンドルを画面の中央に向かってスワイプ

- エッジパネルが表示されます。



エッジパネルハンドルを
右側に設定した場合の例

2 エッジパネルをスワイプして使用したいパネルを表示する



- ① **設定**
 - エッジパネルの設定ができます (P.100)。
- ② **現在の位置**
 - パネルの枚数と現在の位置を示します。
- ③ **機能**
 - 各パネルの機能が表示されます。

People edgeを利用する

People edgeに友達などよく使う連絡先を登録すると、登録した相手への電話発信やメール作成などが簡単にできます。

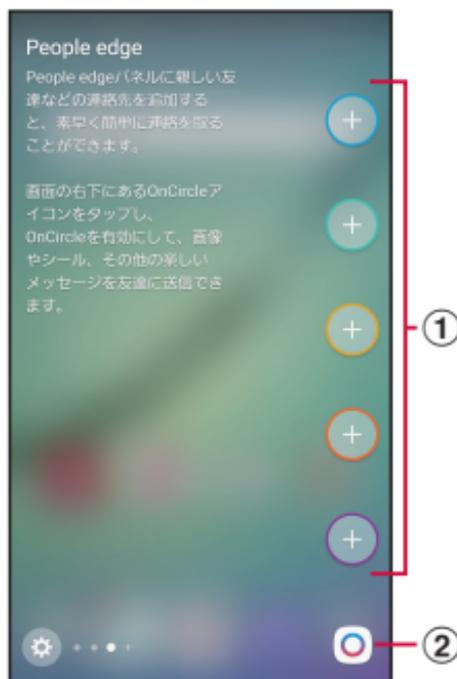
また、登録した連絡先から着信や通知があったときにカラーインジケータが表示されます。

- 連絡先はあらかじめ電話帳アプリや連絡先アプリに登録しておく必要があります。

1 エッジスクリーンのエッジパネルハンドルを画面の中央に向かってスワイプ

- エッジパネルが表示されます。

2 エッジパネルをスワイプしてPeople edgeパネルを表示する



① マイ連絡先

- よく使う連絡先を登録します。

② On Circle[※]

- 画像やシール、手書きメッセージなどを送信できます。

※ 初回起動時に画面の指示に従って「高度な機能」を設定するとOn Circleが有効になります。

お知らせ

- OnCircleは対応機種同士でのみご利用できます。

■ カラーインジケータについて

- カラーインジケータは通知がある連絡先の色のみ表示されます。
- カラーインジケータを画面の中央に向かってスワイプすると通知内容を確認したり、アイコンをタップして電話をかけたり、SMSやメールを作成したりすることができます。



エッジパネルハンドルを
右側に設定した場合の例

エッジフィードを設定する

エッジフィードを設定すると、画面OFF時、エッジスクリーンにニュースや通知などの情報を表示させることができます。

エッジフィードを表示するには、画面OFF時、エッジスクリーンをこするように指で素早く往復スワイプします。上下にスワイプすることで表示を切り替えられます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「エッジスクリーン」
 - ・ エッジスクリーンの設定メニューが表示されます。

- 2 「エッジフィード」 → 

エッジフィードを追加する

エッジスクリーンに表示したいエッジフィードを追加します。

- 1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジフィード」
- 2 追加したいエッジフィードにチェックを付ける

エッジフィードをダウンロードする

Galaxy Appsからエッジフィードをダウンロードできます。

- 1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジフィード」
- 2 「ダウンロード」
 - ・ 以降は画面の指示に従って操作してください。

エッジフィードのタイムアウトを設定する

- 1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジフィード」
- 2 「エッジフィード設定」→「エッジフィードのタイムアウト」
- 3 タイムアウトする時間を選択

Edge lightingを設定する

Edge lightingをONにすると、本端末を伏せている状態で着信や通知を受信したときにエッジスクリーンが点灯します。

また、クイック返信をONにすると、着信でエッジスクリーンが点灯している時に心拍数センサーの上に指を約2秒間置くことで、着信拒否メッセージを送信することができます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「エッジスクリーン」
 - エッジスクリーンの設定メニューが表示されます。
- 2 「Edge lighting」 → 

クイック返信を設定する

- 1 エッジスクリーンの設定メニューで「Edge lighting」
- 2 「クイック返信」 → 

クイック返信のメッセージを編集する

- 1 エッジスクリーンの設定メニューで「Edge lighting」
- 2 「クイック返信」
- 3 クイック返信メッセージのメッセージ文をタップして編集
- 4 

ホーム画面

○ (ホームキー) を押して表示される画面 (ホーム画面) には「docomo LIVE UX」「TouchWiz ホーム」「TouchWizかんたんホーム」の3種類の画面があります。

- 「docomo LIVE UX」については、P.138をご覧ください。
- 曲面部分の色は見る角度によって変わる場合があります。

TouchWiz ホーム



ホーム画面の表示内容 (表示例)

- ① ショートカット
 - ・ アプリなどを起動できます。
- ② ホーム画面の現在の位置
- ③ ショートカット
 - ・ ホーム画面を切り替えても常に表示されます。
 - ・ ショートカットやフォルダも配置できます。
- ④ エッジパネルハンドル (P.100)
- ⑤ ウィジェット (例：天気予報、Google検索)
 - ・ ウィジェット (ホーム画面に配置するアプリ) の起動や操作を行います。
- ⑥ フォルダ
 - ・ 複数のショートカットをフォルダにまとめることができます。
- ⑦ アプリボタン
 - ・ ホーム画面を切り替えても常に表示されます。
 - ・ アプリ画面が表示されます。

お知らせ

- ・ ホーム画面で画面を右にフリックすると、「BRIEFING」が起動します。

分割画面表示を利用する

2つの画面を表示したり、ポップアップで異なるアプリを同時に使用することができます。

対応している画面を表示した状態で  をロングタッチすると分割画面表示を開始できます。対応していない画面を表示している場合は、分割画面表示で起動するアプリを選択する画面が表示されます。

※ 一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。



分割画面表示例

① 分割バー

- 分割バー中央に表示されるハンドル (○) をドラッグして表示領域を調整します。

② ウィンドウ切り替えボタン[※]

- 2つの画面の上下（横画面の場合は左右）を切り替えます。

③ コンテンツを移動ボタン[※]

- ウィンドウ間をまたがってテキストや画像をドラッグ&ドロップしてペーストできます（対応しているアプリのみ）。

- ④ **ウィンドウを閉じるボタン**[※]
 - 選択中のウィンドウを閉じます。残ったウィンドウに表示されているアプリは全画面表示になります。
 - ⑤ **ウィンドウ最大化ボタン**[※]
 - 選択中のウィンドウに表示されているアプリを全画面表示し、マルチウィンドウを終了します。
 - ⑥ **ウィンドウ最小化ボタン**[※]
 - 選択中のウィンドウに表示されているアプリを最小化します。最小化されたアプリはアイコンとして表示されます。このアイコンをタップすると、アプリがポップアップ表示されます。
- ※ 分割バーの中央のハンドルをタップすると表示されます。

ショートカットやウィジェットを追加する

- 1 ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ
 - ・ アプリのショートカットを追加する場合は、ホーム画面で「アプリ」をタップし、手順3へ進みます。
- 2 「ウィジェット」
- 3 ホーム画面に追加したい項目をロングタッチ
→ 追加したい位置までドラッグして離す

フォルダを作成する

- 1 ホーム画面でショートカットをロングタッチ
→ まとめたいショートカット上にドラッグ
- 2 フォルダ名を入力 → 「完了」 → 

壁紙の変更

1 ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ → 「壁紙」

2 壁紙を選択 → 「壁紙に設定」

- ロック画面の壁紙を変更したい場合や、ホーム画面とロック画面を同時に変更したい場合は、画面左上に表示される「ホーム画面」→「ロック画面」／「ホーム画面とロック画面」をタップしてください。
- 壁紙以外の画像を選択する場合は、「ギャラリーの画像」→ 画像を選択 → 「壁紙に設定」をタップしてください。

お知らせ

- ショートカット、ウィジェット、フォルダなどを削除するには、ショートカットやウィジェット、フォルダなどをロングタッチ → そのまま画面上部の「削除」までドラッグして離します。
- ネットワークに接続するウィジェットのの場合、パケット通信料が発生する場合があります。

TouchWiz かんたんホーム



ホーム画面の表示内容（表示例）

- ① 時計
- ② 天気
- ③ ショートカット
- ④ ホーム画面の現在の位置
 - ・ ホーム画面を左右にスクロール／フリックすると、アプリショートカット一覧や連絡先ショートカット一覧が表示されます。

連絡先のショートカットを追加する

- 1 連絡先ショートカット一覧で 
- 2 「連絡先を登録」 / 「既存の連絡先を追加」
 - ・「連絡先を登録」をタップすると、連絡先の保存先を選択画面が表示されます。保存先のアカウントを選択し、連絡先を登録するとショートカットが追加されます。
 - ・「既存の連絡先を追加」をタップすると、連絡先一覧画面が表示され、追加する連絡先を選択してショートカットを追加します。

アプリのショートカットを追加する

- 1 アプリショートカット一覧で 
- 2 追加したいアプリをタップ

ショートカットを削除する

- 1 「編集」
- 2 削除したいショートカットをタップ → 「削除」

アプリ画面

ホーム画面が「TouchWizホーム」のアプリ画面について説明します。

- 1** ホーム画面で「アプリ」
- アプリ画面が表示されます。



アプリ画面の表示内容（表示例）

- ① アプリ
- ② アプリ画面の現在の位置
 - アプリ画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。
- ③ 検索
 - アプリを検索します。
- ④ 編集
 - アプリ画面を編集したり、フォルダを作成したりできます。
- ⑤ 50音順
 - アプリを50音順に並べ替えます。

アプリ一覧

一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。

アイコン	アプリ	説明
	ダイヤル	Galaxyが提供する「ダイヤル」アプリを利用して、電話の発着信ができます。
	連絡先	Galaxyが提供する「連絡先」アプリを利用して、連絡先の管理ができます。
	SMS	SMSの送受信ができます。 → P.190
	ブラウザ	ウェブブラウザアプリです。 → P.207
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます。 → P.270
	カメラ	静止画や動画を撮影できます。 → P.259
	ミュージック	音楽を再生できます。
	ビデオ	動画を再生できます。
	S Health	体組成計や心拍数計などと連携して健康管理します。 → P.294
	S プランナー	スケジュールを管理できます。 → P.283

アイコン	アプリ	説明
	時計	アラーム、世界時計などを利用できます。→ P.280
	Galaxy Apps	アプリのダウンロードや、インストールしたアプリのアップデートができます。→ P.220
	Chrome	Googleのウェブブラウザアプリです。
	マップ	Google マップで現在地の確認や目的地の検索などができます。→ P.278
	Playストア	Google Play からアプリをダウンロードできます。→ P.218
	YouTube	動画の再生・投稿ができます。→ P.292
	メモ	テキストのメモを作成できます。
	電卓	計算ができます。→ P.286
	設定	本端末の各種設定ができます。→ P.296
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

アイコン	アプリ	説明
	マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示・管理できます。 → P.366
	Sボイス	音声で検索できます。 → P.295
	スマートマネージャー	バッテリーやストレージなどの状態を確認したり、快適化のための処理を実行したりできます。 → P.134
	ボイスレコーダー	音声を録音できます。 → P.284
	Peel Smart Remote	本端末でテレビなどの機器を操作できます。
	電話	電話の利用や、通話の設定をすることができるアプリです。 → P.155
	辞書	辞書を利用して単語などを調べることができます。→ P.293
	Eメール	Eメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。 → P.196
	dマーケット	音楽、書籍などさまざまな商品を取り扱っており、お客様のニーズに合った商品を購入することができます。→ P.217

アイコン	アプリ	説明
	dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探すことができます。→ P.216
	NOTTV	モバキャスを視聴できます。「NOTTV」などの放送局の番組・コンテンツをお楽しみいただけます。→ P.230
	テレビ	フルセグ／ワンセグの視聴などができます。→ P.240
	災害用キット	災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。→ P.204
	Visaプリペイド	ネットショッピング専用のVisaプリペイドカードが簡単に発行できるアプリです。インターネットでのお買い物にすぐにご利用いただけます。
	iDアプリ	ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。→ P.227

アイコン	アプリ	説明
	おサイフケータイ	本端末を店などの読み取り機にかざすだけでお支払いなどができます。→ P.221
	トルカ	お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。→ P.229
	カラーマッチ	ドコモダケが登場するシンプルなミニゲームです。7×7のマス目に敷き詰められたピースをタップで消します。
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。→ P.273
	しゃべってコンシェル	調べたいことやしてほしいことなどをキャラクターに話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を画面に表示するアプリです。
	ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリです。「docomoのアカウント」の電話帳データをクラウド上で管理できます。→ P.181

アイコン	アプリ	説明
	データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。
	ドコモメール	ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができるアプリです。送受信したメールはクラウドに保存されるので、複数のデバイスで同じメールを閲覧したり、機種変更時のメールデータ移行が簡単に行えます。また、絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→ P.189
	フォトコレクション	写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。i シェルに対応しています。

アイコン	アプリ	説明
	メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。iコンシェルに対応しています。
	Google	クイック検索ボックスで各種情報を検索できます。
	音声検索	音声で検索できます。
	Gmail	Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。→ P.202
	Google+	GoogleのSNSが利用できます。
	Playムービー & TV	Google Playから映画を購入できます。
	Playブックス	Google Playから書籍を購入できます。
	Play ゲーム	Google Playからゲームを購入できます。
	ドライブ	画像や動画などをGoogleドライブに保存したり、共有したりすることができます。
	フォト	写真や動画を閲覧できます。Googleフォトに同期してバックアップしたり、他人と共有したりすることもできます。
	ハングアウト	Googleハングアウトでチャットができます。

アイコン	アプリ	説明
	OneDrive	端末内のファイルを保存できるオンラインストレージです。
	OneNote	画面上にメモなどを取り込んで整理できるデジタルノートアプリです。
	Facebook	Facebookは、友達や家族、同僚や同級生たちとのつながりを深めたり、今世界で何が起きているかを知ることができるソーシャルサービスです。
	Messenger	Facebookの友達や携帯電話の連絡先にメッセージやスタンプ送信ができるチャットアプリです。
	Instagram	本端末で撮影した写真や動画を自由に編集し、家族や友達、そして世界中の人と簡単に共有できるアプリです。
	Twitter	Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。
	マイマガジン	マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。→ P.152

アイコン	アプリ	説明
	i コンシェル	i コンシェルを利用するためのアプリです。i コンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。
	遠隔サポート	「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。 → P.422
	あんしんस्कэн	ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。
	IC タグ・バーコードリーダー	IC タグやバーコードに書き込まれた情報を読み取ることができるアプリです。

アイコン	アプリ	説明
	ドコモバックアップ	<p>「データ保管BOX」もしくは「microSDカード」へのバックアップ・復元を行うためのアプリです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • データ保管BOXへ保存・復元 → P.287 • microSDカードへ保存・復元 → P.289

お知らせ

- このアプリ一覧は、初期状態でプリインストールされているものです。プリインストールされているアプリには一部アンインストールできるアプリがあります。一度アンインストールしても「Playストア」(P.218)などで再度ダウンロードできる場合があります。
- 通知情報があるアプリのアイコンに、数字（通知情報の件数）が表示される場合があります。
- ホーム画面を「TouchWizかんたんホーム」に設定している場合は、アプリショートカット一覧画面や「その他のアプリ」をタップすると、アプリの一覧を確認できます。

ショートカットのホーム画面への追加

- 1 アプリ画面で、ホーム画面に追加したいアプリをロングタッチ
- 2 追加したい位置までドラッグして離す

アプリのアンインストール／無効化

- 1 アプリ画面で「編集」
- 2 アンインストール／無効にしたいアプリをタップ
 - ・ アンインストール／無効にできるアプリには、アイコンの右上に  が表示されます。
- 3 「OK」／「無効」
- 4 「完了」

お知らせ

- ・ 無効にしたアプリを有効にしたい場合は、ホーム画面で  → 「設定」 → 「アプリケーション」 → 「アプリケーション管理」 → 「全てのアプリ」 → 「無効」 → 有効にしたいアプリをタップ → 「有効」をタップします。

クイック検索ボックスを使用する

入力した文字が含まれる情報を本端末内やインターネットから検索できます。

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットをタップ

- クイック検索ボックスが表示されます。
- Google Nowのお知らせ画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。



クイック検索ボックス

- ① 入力した文字が表示されます。
- ② 入力中の文字を含む本端末内の情報や検索候補が表示されます。

- ③ 文字入力前に  をタップすると、音声で検索したい語句を入力できます（ウェブ検索のみ）。
文字入力後は × に変わります。タップすると、入力した文字をすべて消去できます。
- ④ タップすると、タップした検索候補が①に入力されます。

お知らせ

- （ホームキー）を1秒以上押したり、ホーム画面で  → 「Google」 をタップしても起動できます。

Sファインダーで検索する

Sファインダーを利用して端末内検索／Web検索を行うことができます。

1 ステータスバーを下方方向にスクロール → 
→ 「Sファインダー」

- Sファインダーが起動します。

2 検索したいキーワードを入力 → 

- カテゴリ別に検索結果が表示されます。
- Web検索を行うには、「Web検索」カテゴリから使用する検索サービスのアイコンをタップします。

最近使用したアプリの一覧

1 

- アプリのサムネイルをタップすると、アプリを起動できます。
- 「全て閉じる」をタップすると、一覧をすべて削除できます。
- サムネイルを左右にスクロール／フリックすると、一覧から削除できます。
-  をタップすると分割画面表示 (P.113) を起動できます。
- アプリをロングタッチすると一部のアプリをポップアップで起動できます。

スマートマネージャー

バッテリーやストレージなどの状態を確認したり、最適化のための処理を実行したりできます。

バッテリーの状態を確認する

- 1 ホーム画面で  → 「スマートマネージャー」
- 2 「バッテリー」
 - ・ バッテリーの状態が表示されます。

ストレージの状態を確認する

- 1 ホーム画面で  → 「スマートマネージャー」
- 2 「ストレージ」
 - ・ ストレージの状態が表示されます。

RAMの状態を確認する

- 1 ホーム画面で  → 「スマートマネージャー」
- 2 「RAM」
 - ・ RAMの状態が表示されます。

お知らせ

- ・ 複数のアプリが起動されていると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。このため使用しないアプリを終了することをおすすめします。

端末の保護の状態を確認する

- 1 ホーム画面で  → 「スマートマネージャー」
- 2 「端末の保護」
 - 端末の保護の状態が表示されます。
 - 「システム保護」では、未承認のシステム変更を確認することができます。
 - 「マルウェア対策」では、セキュリティ脅威の検出を確認することができます。

ホームアプリの切り替えかた

 (ホームキー) を押して表示されるホーム画面を変更します。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「アプリケーション」 → 「標準アプリケーション」 → 「ホーム画面」
- 2 「docomo LIVE UX」／「TouchWiz ホーム」
／「TouchWizかんたんホーム」
- 3 「OK」

緊急時長持ちモードを有効にする

緊急時長持ちモードを有効にすると、以下の設定に変更され、電池の消費を抑えることができます。

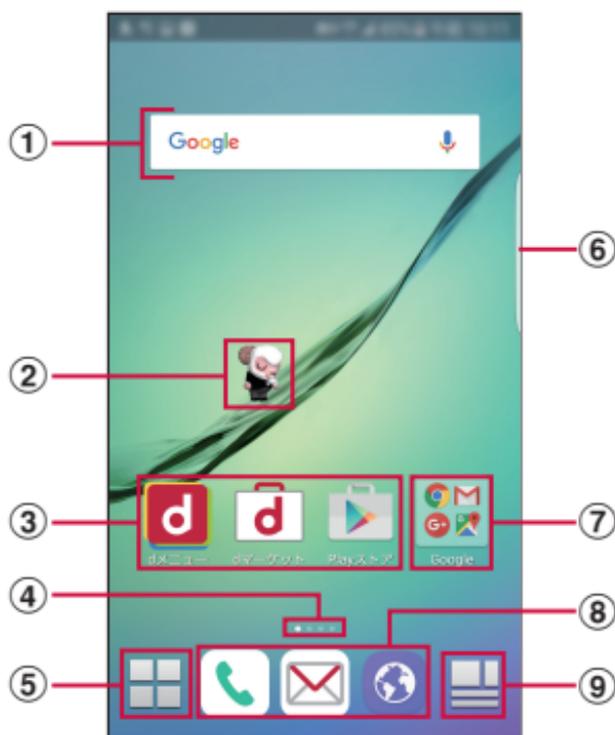
- 使用可能なアプリの数が制限されます。
- 画面OFF時にモバイルデータが無効になります。
- Wi-FiやBluetooth機能などの接続機能がOFFになります。
- マナーモード（サイレント、バイブ）がOFFになります。

- 1 **⏻（電源／画面ロックキー）を1秒以上押す**
- 2 **「緊急時長持ちモード」 → 利用規約を確認し、チェックを付ける → 「同意」 → 「有効」**

お知らせ

- 緊急時長持ちモードを無効にするには、「その他」→「緊急時長持ちモードを無効にする」をタップするか、または  (電源/画面ロックキー) を1秒以上押して「緊急時長持ちモード」をタップします。
- 緊急時長持ちモードで、再びWi-Fi、Bluetooth機能をONにするには、「その他」→「設定」→「Wi-Fi」 / 「Bluetooth」→  をタップして設定します。
- 緊急時長持ちモードで、マナーモード (サイレント、バイブ) をONにするには、音量DOWNキーをマナーモードが設定されるまで押してください。
- 緊急時長持ちモードを有効にすると、一部の機能が制限されます。また、使用可能なアプリにおいて、使用できる機能が制限されます。
- 緊急時長持ちモードでも、テレビやブラウザは電池をより多く消費します。
- 緊急時長持ちモードを無効にすると、ホーム画面の一部のウィジェットが表示されなくなり、再配置が必要になることがあります。
- 緊急連絡先には、緊急通報 (119番) が登録されています。
- ホーム画面のアプリを削除するには、「その他」→「削除」→ 削除するアプリをタップ → 「OK」をタップします。

ホーム画面の見かた



ホーム画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん」
©NTT DOCOMO

- ① **ウィジェット（例：Google検索）**
 - ・ ウィジェットの起動や操作を行います。
- ② **マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）**
 - ・ メール受信や着信などの情報をお知らせします。
- ③ **アプリ**
 - ・ アプリを起動できます。

- ④ **ホーム画面の現在の位置**
 - ・ ホーム画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。
- ⑤ **アプリボタン**
 - ・ アプリ画面が表示されます。→P.146
 - ・ ホーム画面を切り替えても常に表示されます。
- ⑥ **エッジパネルハンドル (P.100)**
- ⑦ **フォルダ**
 - ・ 複数のアプリをフォルダにまとめることができます。
- ⑧ **アプリ**
 - ・ ホーム画面を切り替えても常に表示されます。
 - ・ ショートカットやフォルダも配置できます。
- ⑨ **マイマガジンボタン**
 - ・ マイマガジンが表示されます。→ P.152
 - ・ ホーム画面を切り替えても常に表示されます。

ホーム画面の管理

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面にアプリを移動したり、ウィジェットのショートカットやフォルダを追加したりできます。

アプリなどを移動／追加する

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ
- 2 「アプリを表示」／「ウィジェットを表示」
／「フォルダを作成」
 - アプリやウィジェットを移動／追加する場合は、アイコンをロングタッチ → 画面下部のホーム画面までドラッグして離します。

お知らせ

- ネットワークに接続するウィジェットの場合、パケット通信料が発生する場合があります。
- フォルダ名を変更するには、変更したいフォルダをタップ → フォルダ名をタップ → フォルダ名を入力 → 「完了」をタップします。

アプリなどの移動

- 1 ホーム画面で、移動したいアプリやウィジェットなどをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグして離す

アプリをホーム画面からアプリ画面に戻す

- 1 ホーム画面で、アプリ画面に戻したいアプリをロングタッチ
- 2 「アプリ一覧に戻す」までドラッグして離す

ウィジェットなどをホーム画面から削除

- 1 ホーム画面で、削除したいウィジェットやフォルダをロングタッチ
- 2 「ホーム画面から削除」までドラッグして離す

アプリやウィジェットのアンインストール

- 1 ホーム画面で、アンインストールしたいアプリやウィジェットをロングタッチ
- 2 「アンインストール」までドラッグして離す → 「OK」
 - ・ アンインストール完了のメッセージが表示されます。

お知らせ

- ・ アンインストールできない一部のアプリやウィジェットの場合は、手順2で「アプリ無効化」までドラッグして離す → 「無効」 → 「無効」をタップすると、無効化（P.319）することができます。

きせかえの変更

壁紙やアプリ画面を一括設定できる機能です。

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ → 「きせかえを変更」
- 2 設定するテーマを選択 → 「設定」

壁紙の変更

ホーム画面の壁紙を自分好みに変更できます。

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ → 「壁紙を変更」
- 2 壁紙を選択
 - ・ 「他の壁紙を見る」 をタップすると、「ギャラリー」 / 「フォト」 / 「ライブ壁紙」 / 「壁紙」 から選択できます。
- 3 画面の指示に従って壁紙を設定

ホーム画面の追加

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ → 「ホーム画面一覧」またはホーム画面でピンチイン
- 2 「ホーム画面を追加する」
 - ・ 最大7枚までページを追加できます。

ホーム画面の並べ替え

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ → 「ホーム画面一覧」またはホーム画面でピンチイン
- 2 ホーム画面のサムネイルをロングタッチ
- 3 移動したい位置までドラッグして離す

ホーム画面の削除

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ → 「ホーム画面一覧」またはホーム画面でピンチイン
- 2 削除したいホーム画面のサムネイルの 

マチキャラを表示する

ホーム画面上を自由に動き回るキャラクターを設定し、「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示します。

- 1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ → 「マチキャラ設定」
- 2 「マチキャラ設定」タブ → 「キャラ表示」の「表示する」

お知らせ

- 表示されているキャラクターをロングタッチしても設定画面が表示されません。

アプリ画面の見かた

1 ホーム画面で

- アプリ画面が表示されます。
- ホーム画面を下にスクロール／フリックしても、アプリ画面を表示できます。



アプリ画面の表示内容（表示例）

① 「アプリ」タブ／「ウィジェット」タブ／「壁紙」タブ／「おすすめボタン」

- アプリ／ウィジェット／壁紙画面を表示します。
- 「おすすめボタン」では、ドコモのおすすめアプリが表示されます。

② アプリ

- ホーム画面に貼り付けられていないアプリが表示されます。アイコンを選択して、アプリを起動することができます。
- 左右にスクロール／フリックして切り替えられます。

- ③ **ホーム画面**
 - ・ 左右にスクロール／フリックして切り替えられます。
 - ・ 上にスクロール／フリックするとホーム画面を表示できます。
- ④ **メニュー**
 - ・ 検索や各種設定、ヘルプなどのメニューを表示します。
- ⑤ **アプリ画面の現在の位置**

アプリの管理

アプリのホーム画面への移動

- 1 アプリ画面で、ホーム画面に移動したいアプリをロングタッチ
- 2 画面下部のホーム画面までドラッグして移動したい位置で離す

アプリやウィジェットのアンインストール

- 1 アプリ／ウィジェット画面で、アンインストールしたいアプリ／ウィジェットをロングタッチ
- 2 「アンインストール」までドラッグして離す
→「OK」

お知らせ

- アンインストールできない一部のアプリやウィジェットの場合は、手順2で「アプリ無効化」までドラッグして離す → 「無効」 → 「無効」をタップすると、無効化 (P.319) することができます。

アプリの移動

- 1 アプリ画面で、移動したいアプリをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグして離す

「おすすめ」アプリのインストール

「おすすめボタン」には、ドコモがおすすめするアプリが表示されます。アプリをダウンロードするには、画面の指示に従って操作します。

- 初回起動時には、説明のページが表示されます。「おすすめアプリを見る」をタップすると、アプリの一覧が表示されます。
- 「おすすめアプリをすべて見る」をタップすると、インターネットに接続し、すべてのおすすめアプリが一覧表示されます。

すべてのアプリ表示

アプリの位置を検索する機能です。

- 1 アプリ画面で  → 「すべてのアプリを表示」
すべてのアプリが一覧になった画面が表示されます。アプリをタップすると、ホーム画面やアプリ画面、フォルダで、そのアプリのある画面に遷移し、アイコンにフォーカスが当たった状態で表示されます。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされた docomo LIVE UX のデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェット等の配置を復元することができます。その際、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

ホーム画面のバックアップ

- 1 アプリ画面で  → 「配置のバックアップと復元」
 - ・ ホーム画面の設定情報をバックアップ／復元するには、dアカウントの設定が必要です (P.329)。
- 2  → 「バックアップ」

ホーム画面の復元

- 1 アプリ画面で  → 「配置のバックアップと復元」
- 2 「最新のバックアップデータを復元」 → 「復元する」
 - ・ バックアップデータが複数ある場合は、「バックアップデータ一覧から復元」をタップしバックアップデータを選択します。

マイマガジンの利用

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

1 ホーム画面で

- 初めて利用するときは、画面の指示に従ってマイマガジンに表示するジャンルなどを設定します。
- 「Twitter連携」画面が表示された場合に「設定を確認する」をタップして認証すると、マイマガジンとTwitterを連携させることができます。
- ホーム画面で上にフリックしてもマイマガジンの記事一覧画面を表示できます。
- ジャンル別の記事一覧画面を左右にフリックしてジャンルを切り替えます。
- 「もっと見る」をタップして、表示されている記事以外の一覧を表示できます。

ジャンルを設定する

記事一覧画面に表示するジャンルの追加や削除、並べ替えができます。

- 1 ホーム画面で  →  → 「表示ジャンル設定」
- 2 ジャンルにチェックを付ける／チェックを外す
 - ・ チェックの付いたジャンルが表示されます。
 - ・ 「並べ替え」をタップして表示順を変更できます。
 を上下にドラッグして位置を変更して「OK」をタップします。
- 3 「OK」

マイマガジンの利用設定

- 1 ホーム画面で  →  → 「マイマガジン設定」 → 「マイマガジン利用設定」
- 2 「利用する」／「利用しない」 → 「OK」
 - ・ アプリ画面で  → 「マイマガジン利用設定」をタップしてもマイマガジンを利用するかどうかを設定できます。
 - ・ 「アイコンを表示する」のチェックを付ける／外すことで、ホーム画面にマイマガジンのアイコンを表示するかどうかを設定することができます。

ホームアプリの情報

バージョン情報

docomo LIVE UXの提供者やバージョン情報などが確認できます。

- 1 アプリ画面で  → 「アプリケーション情報」

ヘルプ

docomo LIVE UXについての詳細説明や操作方法などが確認できます。

- 1 アプリ画面で  → 「ヘルプ」

電話

電話をかける

1 ホーム画面で ☎ → 「ダイヤル」

2 相手の電話番号を入力

- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。



ダイヤル画面

- ① **電話帳キー**
「ドコモ電話帳」アプリが起動します。
- ② **ダイヤル**：ダイヤル画面が表示されます。
履歴：履歴画面が表示されます (P.170)。
お気に入り：お気に入りに追加した連絡先の一覧が表示されます (P.186)。
- ③ **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。
- ④ **電話発信キー**
入力した電話番号に電話をかけます。
- ⑤ **メニュー**
メニューが表示されます。
- ⑥ **削除キー**
一番右側の番号またはカーソルの左側にある番号を削除します。ロングタッチすると、入力された番号をすべて削除できます。
- ⑦ **電話帳登録キー**
入力した電話番号を電話帳に登録します。

3



- ビデオコールでVoLTEを利用している場合は、と表示されます。
- ビデオコールを発信する場合は、 → 「ビデオコール」をタップします。

4 通話が終了したら

お知らせ

- 1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にするには、電話番号の前に「186」（通知）／「184」（非通知）を入力します。「発信者番号通知」（P.175）を利用して、あらかじめ通知／非通知を設定することもできます。
- 銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信するためには、「2秒間の停止を追加」または「待機を追加」を使用します。
 - ダイヤル画面で、電話番号を入力 →  → 「2秒間の停止を追加」 → 任意の番号を入力 →  をタップすると、電話がつながって約2秒後にプッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。
 - ダイヤル画面で、電話番号を入力 →  → 「待機を追加」 → 任意の番号を入力 →  をタップすると、電話がつながって「はい」をタップしたときにプッシュ信号（番号）が送信されます。
- VoLTEは、通話やビデオコールを高品質にご利用いただけます。
VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - Xiエリアであること（Xiエリア外、国際ローミング中はVoLTEの利用はできません）
 - 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」（P.388）が「LTE／3G／GSM（自動接続）」または「LTE／3G」に設定され、「通話モード設定」（P.176）が「VoLTE通話を優先的に使用」に設定されていること

- ビデオコールは、お互いの映像を見ながら通話ができます。また、音声通話と切り替えられます。
 - ビデオコールの発信時は音声通話料およびパケット通信料がかかります。また、着信時にもパケット通信料がかかります。
 - 映像はベストエフォート通信（通信の混雑具合に応じた最適速度となる）のため、通信環境により品質は異なります。
 - 音声通話中にビデオコールへ切り替えができなかった場合は、画面上にビデオコール切り替えに失敗した旨が表示され、音声通話が継続されます。
 - ビデオコールの映像は、ご利用機種により表示処理に違いがあるため、本端末で表示される自分の映像と相手に表示される映像の範囲が異なる場合があります。
- 電池残量が15%以下の場合は、ビデオコールの発信／着信はできません。また、ビデオコールの通話中に電池残量が15%以下になった場合は、自動的に通話が終了します。
- ホーム画面で  → 「ダイヤル」をタップして Galaxyが提供する「ダイヤル」アプリを起動し、 をタップしても、電話をかけることができます。ただし、ドコモが提供する「電話」アプリとは、利用できる機能などが異なります。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

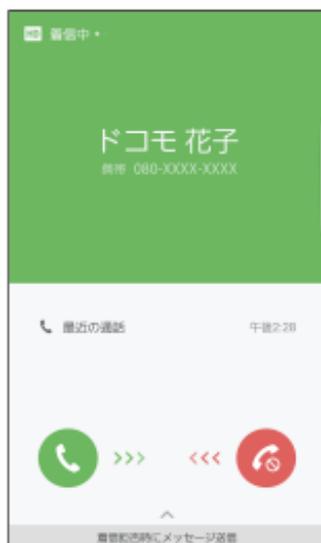
- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、ホーム画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信できる状態にしておいてください。

- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではドコモ nanoUIM カードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報 110 番、119 番、118 番に発信できません。
- 着信拒否設定を ON にした状態で緊急通報 110 番、119 番、118 番に発信すると、着信拒否設定は OFF になります。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- ビデオコールでは緊急通報は利用できません。

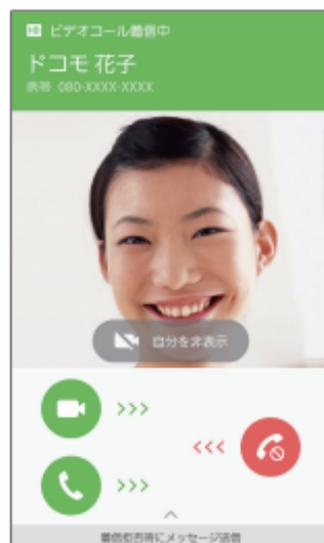
電話を受ける

1 電話がかかってくる

- 着信中の画面が表示されます。
- VoLTEの場合は、**HD** と表示されます。



着信中の画面
(音声通話)



着信中の画面
(ビデオコール)

2 / を表示される円の外側までドラッグ

- 通話が始まります。

着信拒否する場合

-  を表示される円の外側までドラッグします。

着信拒否して相手にSMSで拒否理由を伝える場合

画面下部の「着信拒否時にメッセージ送信」を上方方向にドラッグし、拒否理由をタップします。

- 拒否理由は変更できません (P.179)。

「伝言メモ」で応答する場合

画面下部の「着信拒否時にメッセージ送信」を上方向にドラッグし、「伝言メモ」をタップします。

- 音声通話の場合のみ利用できます。

ビデオコールで自分の映像を相手に送信したくない場合

「自分を非表示」をタップしてから、 を表示される円の外側までドラッグします。

- 送信する代替画像（ビデオコールイメージ）をあらかじめ設定できます（P.178）。

ビデオコールを音声通話で受ける場合

 を表示される円の外側までドラッグします。

- 音声通話が開始されます。

3 通話が終了したら

お知らせ

- 着信中に （電源／画面ロックキー）や音量キーを押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。

アプリ起動中に着信を受ける

アプリの起動中に音声通話の着信があると、ポップアップに着信が表示されます。



着信中の画面

- 「応答」 / 「拒否」 をタップすると通話を開始 / 拒否できます。
- 「着信拒否時にメッセージ送信」 をタップすると、着信拒否して相手にSMSで拒否理由を伝えることができます。
-  をタップすると、全画面表示になります。

通話中の操作

- 1 電話がかかってくる
 - ・ 着信中の画面が表示されます。
- 2  を表示される円の外側までドラッグ
 - ・ 通話中画面が表示され、通話が始まります。

音声通話の場合



音声通話中の画面

音声通話中の画面では次の操作ができます。

- ①  VoLTE を利用した高音質通話の場合に表示されます。
- ② その他
通話中画面のメニューを表示します (P.168)。

③ ページ

画面下部を左右にスワイプしてページを切り替えます。

④ メニューアイコン

タップしてそれぞれの操作を行います。

- 通話を追加：別の相手に電話をかけます。
- ビデオコール：ビデオコールに切り替えます。切り替え時は、相手の端末上に切り替えを許可するかどうかを選択する画面が表示されます。相手が許可しない場合は切り替えできません。
- Bluetooth：Bluetoothデバイスと接続してハンズフリーで通話します。
- スピーカー：相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。
- キーパッド／非表示：キーパッドの表示／非表示を切り替えます。キーパッドをタップしてプッシュ信号を送信します。
- 消音：自分の声を相手に聞こえないようにします。
- Eメール：Eメールを起動します。
- メッセージ：SMSを送信します。
- ブラウザ：ブラウザを起動します。
- 連絡先：連絡先の登録情報の一覧を表示します。
- Sプランナー：Sプランナーを起動します。
- メモ：メモを作成します。

⑤

通話を終了します。

ビデオコールの場合



ビデオコール通話中の画面では次の操作ができます。

- ① **HD**
VoLTE を利用した高音質通話の場合に表示されます。
- ② **相手の画像**
相手の設定によっては、代替画像が表示されます。
・相手の映像を受信できないときは  が表示されます。
- ③ **自分の画像**
・「その他」→「映像エリア切替」をタップすると、自分の画像と相手の画像が入れ替わります。
- ④ **音声通話**
音声通話に切り替えます。
- ⑤ **切替**
相手に送信する映像のカメラを内側／外側で切り替えます。

- ⑥ **その他**
通話中画面のメニューを表示します (P.168)。
- ⑦ **消音**
自分の声を相手に聞こえないようにします。
- ⑧ **スピーカー**
スピーカーから音声を出力するかどうかを設定します。
- ⑨  **通話を終了します。**

お知らせ

- 音声通話中に、相手がビデオコールに切り替えた場合は、ビデオコールへの切り替えを確認するポップアップが表示されます。「OK」をタップするとビデオコール通話中の画面になります。
- ビデオコール通話中にアプリを「電話」から切り替えた場合、相手に映像が送信されなくなります。

通話中画面のメニュー

通話中画面で「その他」をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
保留／通話を再開 ^{※1}	通話を保留／再開します。
録音／停止 ^{※2}	通話中の音声を録音／録音を停止します。
最大音量を有効にする／最大音量を無効にする ^{※3}	最大音量を有効にするかどうかを切り替えます。
自分を非表示／自分を表示 ^{※4}	自分の画像を相手に送信するかどうかを切り替えます。
発信画像 ^{※4}	自分の画像を非表示にした場合(P.162)に、相手に送信する画像を設定します。
画像をキャプチャ ^{※4}	ビデオコール通話中の相手の画面をキャプチャします。
キーパッド ^{※4}	キーパッドを表示します。
ヘッドセットに切替／本体に切替 ^{※4}	Bluetoothデバイスを利用して通話するかどうかを設定します。
映像エリア切替 ^{※4}	自分の画像と相手の画像を入れ替えるかどうかを設定します。

※1 「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます（音声通話のみ）。

※2 音声通話中のみ表示されます。

- ※3 音声通話中のみ表示されます。接続しているネットワークによって、表示されない場合があります。
- ※4 ビデオコール通話中のみ表示されます。

お知らせ

- 通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中に音量キーを押します。
- 音声通話中の画面は、本端末を顔に近づけるなどして画面を覆ったとき（ヘッドセットなどを取り付けている場合やスピーカーをONにしている場合を除く）や操作せずに約30秒経過すると、自動的に消えます。本端末を顔から遠ざけたり、（電源／画面ロックキー）／（ホームキー）を押したりすると、通話中画面を表示できます。

履歴画面では、発着信履歴を一覧で確認できます。

- 最大500件まで表示できます。

1 ホーム画面で ☎ → 「履歴」

- 履歴画面が表示されます。



履歴画面

- ① **電話帳**
「ドコモ電話帳」アプリが起動します。
- ② **ダイヤル**：ダイヤル画面が表示されます (P.155)。
履歴：履歴画面が表示されます。
お気に入り：お気に入りに追加した連絡先の一覧が表示されます (P.186)。
- ③ **履歴切り替え**
着信履歴または発信履歴のみの表示に切り替えます。「すべて」をタップすると、すべての発着信履歴を表示します。

④ 名前、電話番号、発着信日時

- タップすると発信画面を表示します。発信画面の項目をタップすると、電話発信、SMS送信などを行います。
- ロングタッチすると、発信前に番号の編集や通話履歴からの削除などができます。

⑤ メニュー

メニューを表示します。

⑥ 発信、着信、不在着信

- 音声通話／ビデオコールの区別は表示されません。

⑦ 音声電話発信キー

発着信履歴の電話番号に音声発信します。

お知らせ

- 不在着信がある場合はステータスバーに  が表示されます。不在着信が1件のときは、ステータスバーを下にスクロールし、「不在着信」の「発信」をタップすると、着信相手に電話をかけることができます。「SMS」をタップすると、着信相手宛SMSの作成画面が表示されます。不在着信が2件以上あるときは、履歴画面を表示して発信先を選択してください。
- ホーム画面で  → 「ダイヤル」をタップしてGalaxyが提供する「ダイヤル」アプリを起動し、「履歴」をタップしても、発着信履歴を確認することができます。ただし、ドコモが提供する「電話」アプリとは、利用できる機能などが異なります。

伝言メモ

電話に応答できないときに、応答メッセージを流して伝言を録音する伝言メモを設定できます。

- ビデオコールでは伝言メモは利用できません。

1 ホーム画面で  →  → 「通話設定」

2 「伝言メモ設定」 → 「メッセージで自動応答」
→ 「毎回」 / 「バイブ / サイレント設定中は有効」 / 「手動」

- 「言語」をタップすると応答メッセージの言語を設定できます。
- 「応答メッセージを再生するまでの時間」をタップすると応答時間を0～120秒まで設定できます。

お知らせ

- 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに  が表示されます。ステータスバーを下にスクロールし、「新しい録音メッセージ」をタップすると、伝言メモが確認できます。ホーム画面で  →  → 「通話設定」 → 「伝言メモ設定」 → 「録音メッセージ」をタップすると、伝言メモの一覧が確認できます。
- 最大録音時間は1件あたり約13時間です。最大保存件数はシステムメモリ（本体）の空き容量により異なります。

国際電話 (WORLD CALL) を利用 する

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用いただける国際電話サービスです。

海外での利用については、P.383をご覧ください。

- 通信事業者によっては、発信者番号が通知されない／正しく表示されないことがあります。この場合、履歴から電話をかけることはできません。

1 ホーム画面で  → 「ダイヤル」 → 「0」「1」「0」 → 国番号 → 地域番号 (市外局番) → 相手の電話番号を入力

- 地域番号 (市外局番) が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2 

3 通話が終了したら 

お知らせ

- 「国番号-地域番号 (市外局番) -電話番号」の先頭に、「0」をロングタッチして「+」を入力すると、発信時に国際ダイヤルアシスト画面が表示されます。「WORLD CALLで発信」をタップすると「+」が国際アクセス番号の「009130010」に変換され、国際電話をかけることができます。

通話設定

ホーム画面で  →  → 「通話設定」をタップすると通話関連機能の設定ができます。

項目		説明
スワイプして発信／メッセージ送信		連絡先に登録された連絡先情報や電話の履歴を左右にスワイプすることで、電話の発信やメッセージの送信ができます。
電話番号を含む連絡先		「ダイヤル」アプリで連絡先を表示する際、電話番号が登録された連絡先のみを表示し、その他の連絡先は非表示にします。
ネットワークサービス	留守番電話サービス*	かかってきた電話に応答できなかったときに、相手のメッセージをお預かりするサービスです。
	転送でんわサービス*	かかってきた電話に応答できなかったときに、電話を転送するサービスです。
	キャッチホン*	通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出たり、別の相手に電話をかけることができるサービスです。

項目		説明
ネットワークサービス	発信者番号通知	電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号を通知します。
	迷惑電話ストップサービス	相手の番号を登録し、迷惑電話の着信拒否を設定します。
	番号通知お願いサービス	番号通知お願いサービスを開始/停止します。
	通話中着信設定 [※]	通話中着信設定を開始/停止します。
	着信通知	着信通知を開始/停止します。
	英語ガイダンス	英語ガイダンスを設定します。
	遠隔操作設定	遠隔操作を開始/停止します。
	公共モード（電源OFF）設定	電源を切っている場合や、機内モード設定中の場合の着信時に、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
海外設定		→ P.392

項目		説明
着信ブロック	ブロックモード	ブロックモードを設定します。
	ブロックリスト	着信をブロックする電話番号を管理します。
	着信拒否メッセージ	→ P.179
通話モード設定		VoLTE通話が利用可能な場合に、VoLTEを利用するかどうかを設定します。
通話応答／終了	ホームキーを押す	○ (ホームキー) を押して着信に応答するかどうかを設定します。
	自動応答	ヘッドセットやBluetoothデバイスが接続された状態で電話がかかってきた場合に、2秒後に自動的に接続するかどうかを設定します。
	電源キーを押す	⏻ (電源／画面ロックキー) を押して通話を終了するかどうかを設定します。 ONにした場合、通話中にバックライトが消灯し画面がロックされたときは、○ (ホームキー) を押すと通話中画面を表示できます。

項目		説明
伝言メモ設定*	メッセージで自動応答	→P.172
	応答メッセージを再生するまでの時間	→P.172
	言語	→P.172
	録音メッセージ	→P.172
通話通知	通話開始時のバイブ	発信先の相手が通話に応答したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
	通話終了時のバイブ	通話を終了したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。
	通話開始時のサウンド	発信先の相手が通話に応答したときにサウンドを鳴らすかどうかを設定します。
	通話終了時のサウンド	通話を終了したときにサウンドを鳴らすかどうかを設定します。
	通話中の通知	アラームやSMSの受信などが発生したときに通知音を鳴らすかどうかを設定します。

項目		説明
その他の設定	自動市外局番	電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する局番（エリアコード）を登録できます。
[自分を非表示] の代替画像		自分の画像を非表示にした場合（P.162）に、相手の端末上に表示される画像を設定します。

※ ビデオコールではご利用いただけません。

着信拒否時にSMSで送信する拒否理由を登録する

本端末では、電話の着信を拒否して相手にSMSで拒否理由を伝えることができます。拒否メッセージは、最大6件まで登録できます。

- 初期状態では5件の拒否メッセージが登録されていません。

1 ホーム画面で  →  → 「通話設定」 → 「着信ブロック」 → 「着信拒否メッセージ」

2 拒否メッセージを入力 → 

登録済みの拒否メッセージを編集する場合

編集したい拒否メッセージをタップ → 拒否メッセージを編集 → 「保存」をタップします。

拒否メッセージを削除する場合

削除したい拒否メッセージの  をタップします。

お知らせ

- 拒否メッセージは全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）まで入力できます。

指定した電話番号からの着信を拒否する

着信を拒否したい相手の電話番号を登録できます。電話番号は、最大100件まで登録できます。

- 1 ホーム画面で  →  → 「通話設定」 → 「着信ブロック」 → 「ブロックリスト」
- 2 拒否したい電話番号を入力 → 
 - ・ 「履歴」 / 「連絡先」 をタップすると、履歴や連絡先から電話番号を選択して入力できます。
 - ・ 「ブロックする番号カテゴリ」 → ブロックしたい番号カテゴリにチェックを入れると、まとめてブロックできます。

お知らせ

- ・ 登録した電話番号を拒否するには「ブロックモード」(P.176)で「ブロックリストの番号」を選択する必要があります。

電話帳に登録する

ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリを利用して、名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報の連絡先を管理できます。

- 電話帳でクラウドサービスをご利用になる際は、ドコモ電話帳アプリが必要です。
- ドコモの電話帳アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」という画面が表示され、クラウドの利用を設定できます。

1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「ドコモ電話帳」

- 初期状態では、連絡先一覧画面が表示されます。

2 「登録」

docomoのアカウントに保存する場合

← プロフィール編集

① docomo 設定

② 設定

姓 名

姓のふりがな 名のふりがな

電話

携帯 ▼

電話

メール

携帯 ▼

キャンセル 登録完了

連絡先編集画面

① アカウント

保存先のアカウントが表示されます。

- ・「設定」をタップするとアカウントを選択できます。

② 画像欄

「設定」をタップすると、画像を登録できます。写真を撮影する場合は「写真を撮影」、保存済みの画像を選択するには「画像を選ぶ」をタップします。

③ ラベルキー

入力内容のラベル（種類）を選択できます。

3 必要な項目を入力

- 連絡先のグループ (P.186) が登録されている場合は、「グループ」の「設定」をタップすると、連絡先をグループ分けできます。

4 「登録完了」

- 連絡先が表示されない場合は連絡先一覧画面で
⋮ → 「設定」 → 「表示するアカウント」をタップして表示の設定を変更します。

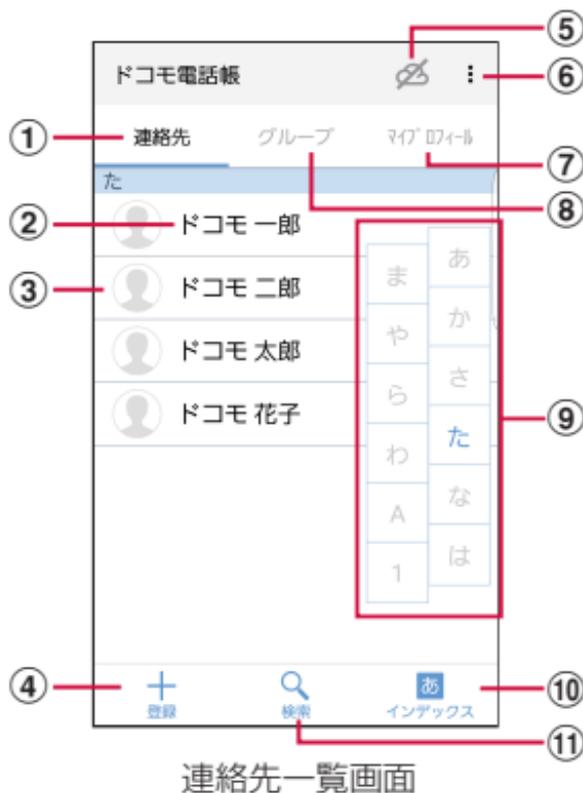
お知らせ

- ホーム画面で  → 「連絡先」 →  → 「本体」をタップすると、本端末に連絡先を保存できます。
- ホーム画面で  → 「連絡先」をタップしてGalaxyが提供する「連絡先」アプリを起動しても、連絡先の登録や管理などができます。ただし、ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリとは、利用できる機能などが異なります。

連絡先の内容を確認／編集する

1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「ドコモ電話帳」→「連絡先」

- ・ 連絡先一覧画面が表示されます。



- ① 連絡先
 - ・ 連絡先一覧画面を表示します。
- ② 電話帳に登録された名前
- ③ 電話帳に設定された写真
- ④ 登録
 - ・ 連絡先を登録します (P.181)。
- ⑤ クラウドのログイン／ログアウト

- ⑥ **メニュー**
 - ・ メニューを表示します。
- ⑦ **マイプロフィール**
 - ・ マイプロフィール画面が表示され、ご利用の電話番号の確認や、お客様ご自身のプロフィール情報の編集・管理ができます (P.188)。
- ⑧ **グループ**
 - ・ 表示するグループを選択します。
- ⑨ **インデックス文字表示域**
 - ・ 「インデックス」をタップすると、名前を50音順、アルファベット順などで検索できるインデックス文字が表示されます。
- ⑩ **インデックス**
 - ・ インデックス文字表示域を表示します。
- ⑪ **検索**
 - ・ 連絡先を検索します。

2 確認したい連絡先をタップ

- ・ プロフィール画面が表示されます。
- ・ 電話欄の  をタップして電話をかけることができます。
また、電話番号をタップするとSMSを作成したり、ビデオコールを発信したりすることができます。
- ・ メールアドレスをタップしてアプリを選択するとメールを作成できます。
- ・ 連絡先を編集する場合は、「編集」をタップします。

連絡先をお気に入りに追加する

連絡先を「お気に入り」グループに追加します。

- 1 連絡先一覧画面でお気に入りに追加したい連絡先をタップ → ☆（白色）をタップして、★（黄色）にする
 - ・追加した連絡先が「お気に入り」グループに表示されます。

グループを追加／編集する

- 1 連絡先一覧画面で「グループ」

- 2 「グループ追加」

登録済みのグループを編集する場合

編集したいグループをタップ → 「編集」 → 編集を行い「OK」をタップします。

グループを削除する場合

⋮ → 「グループ削除」 → 削除したいグループにチェックを付ける → 「決定」 → 「OK」をタップします。

グループの表示順を並べ替える場合

「並べ替え」 → グループをタップ → グループを表示したい位置にドラッグ → 「決定」をタップします。

- 3 アカウントを選択 → グループ名を入力 → アイコン、色を選択

- 4 「OK」

お知らせ

- グループ作成時に色やアイコンを設定したり、グループ一覧で並べ替えができるのは、保存先が docomo のアカウントのグループのみです。

グループに連絡先を追加する

- 1 連絡先一覧画面で「グループ」
- 2 グループをタップ → 「メンバー追加」 → 追加したい連絡先にチェックを付ける → 「決定」 → 「OK」
 - グループから連絡先を削除する場合は、削除したい連絡先を含むグループをタップ → 「メンバー削除」 → 削除したい連絡先にチェックを付ける → 「決定」 → 「OK」 をタップします。

お知らせ

- グループに追加できる連絡先は、保存先が同じアカウントの連絡先のみです。

電話帳から電話をかける

- 1 連絡先一覧画面で電話をかけたい相手をタップ
 - ・ プロフィール画面が表示されます。

2

マイプロフィールを登録する

- 1 連絡先一覧画面で「マイプロフィール」
 - ・ プロフィール画面が表示されます。
- 2 「編集」
- 3 必要な項目を入力 → 「登録完了」

連絡先をインポート／エクスポートする

ドコモnanoUIMカードと本端末の間で連絡先をインポートしたり、連絡先データ（vCard）として送信したりできます。

- 1 連絡先一覧画面で  → 「SDカード／SIMカード／共有」
- 2 項目を選択
 - ・ 画面の指示に従って操作します。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバーに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で

- ・以降は画面の指示に従って操作してください。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス(SMS)」をご覧ください。

SMSを作成して送信する

- 1** ホーム画面で  → 「SMS」
 - スレッド (SMSを送受信した相手) 一覧画面が表示されます。
- 2** 
 - SMS作成画面が表示されます。
- 3** 宛先に送信先の携帯電話番号を入力
 - 複数の相手に送信する場合は、携帯電話番号に続けてカンマ(,)を入力するか、 をタップします。
 -  をタップすると連絡先から宛先を選択して入力できます。連絡先の表示画面で「全ての連絡先」→「グループ」をタップすると、グループから宛先を選択して入力できます。
- 4** 「メッセージを入力」欄にメッセージを入力
 - 登録済みの定型文を挿入する場合は、「その他」→「クイック返信」→ 挿入するメッセージをタップします。

5 「送信」

日時を指定してSMSを送信する場合

「その他」→「送信メッセージ予約」→送信したい日時を設定→「完了」→「送信」をタップします。

作成中のSMSを下書き保存する場合

宛先と本文が入力され、キーボードが表示された状態で  を2回タップします（予測変換候補表示時は  を3回タップします）。

お知らせ

- 標準メッセージアプリを「ハングアウト」に切り替えることができます。
- 海外通信事業者をご利用のお客様の間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に“#”または“*”がある場合、SMSを送信できません。
- 送信予約したSMSの予約日時に本端末の電源が入っていない場合、SMSは送信されません。
- 送信予約したSMSは、本端末に設定した日付と時間で送信されます。ネットワーク状況や電波状態などによっては、設定した予約日時と送信日時が異なる場合があります。

受信したSMSを確認する

1 ホーム画面で → 「SMS」

- スレッド（SMSを送受信した相手）一覧画面が表示されます。
- 「検索」をタップするとSMSを検索できます。

2 読みたいスレッドをタップ

- SMS一覧画面が表示されます。
- 受信SMSは左側、送信SMSは右側、送信予約SMSは右側にグレーの吹き出しで表示されます。
- 「発信」をタップすると受信元の電話番号に発信できます。

お知らせ

- 「通知」（P.193）をONに設定している場合は、SMSを受信すると、ステータスバーに  が表示されます。

スレッド一覧画面のメニュー

スレッド一覧画面で「その他」をタップすると以下の項目が表示されます。

項目		説明	
削除		スレッドを選択して削除します。	
保護メッセージ		保護したSMSを表示します。	
文字サイズ		文字サイズを設定します。	
優先送信元を追加／優先送信元を編集		優先送信元に宛先を追加・削除します。	
設定	通知	通知音	SMSを受信したときに鳴らす通知音を設定します。
		バイブ	SMSを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。
		ポップアップを表示	SMSを受信したときに、ポップアップ画面でお知らせするかどうかを設定します。
		メッセージをプレビュー	ロック画面およびポップアップで新着メッセージのプレビューを表示するかどうかを設定します。

項目		説明	
設定	背景	背景を設定します。	
	クイック返信	定型文を追加・編集します。	
	メッセージをブロック	ブロックリスト	メッセージをブロックする電話番号を管理します。
		フレーズをブロック	メッセージの受信をブロックするフレーズを管理します。
		ブロックされたメッセージ	ブロックされたメッセージを表示します。
	その他の設定	SMS	配信状態確認、SIMカード保存メッセージ管理、メッセージセンター、有効期限を設定します。
自動削除		保存される最大件数（1000件）に達した場合に、最も古いメッセージを削除します。	

SMS一覧画面のメニュー

SMS一覧画面で「その他」をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

本文画面のメニュー

送受信や送信予約したSMSをロングタッチすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- 送信予約したSMSをすぐに送信する場合は、送信予約したSMSの  → 「すぐに送信」をタップしても、すぐに送信することができます。
- SMSはドコモnanoUIMカードに20件までコピーできます。

Eメール

一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPなどに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

Eメールアカウントを設定する

メールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得して設定が行われます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウント設定の情報をご用意ください。
- 設定するEメールアカウントによって、手順が異なります。

1 ホーム画面で  → 「Eメール」

2 メールアドレス、パスワードを入力 → 「サインイン」

- アカウントタイプの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定を行ってください。

Eメールを作成して送信する

- 1 ホーム画面で  → 「Eメール」
- 2 
 - Eメール作成画面が表示されます。
- 3 「宛先」欄に送信先のメールアドレスを入力
 - Cc/Bccを追加する場合は、 をタップしてCc欄またはBcc欄にアドレスを入力します。
 -  をタップすると、連絡先から宛先を選択して入力できます。
- 4 「件名」欄に件名を入力
- 5 本文欄に本文を入力
- 6 「送信」

お知らせ

- パソコンや他の端末とEメールを送受信した場合、利用環境によっては絵文字やHTMLメールなどの内容が正しく表示されない場合があります。

受信したEメールを確認する

- 1 ホーム画面で  → 「Eメール」
- 2 受信メール一覧を下にスライド
- 3 確認したいEメールをタップ
 - 本文画面が表示されます。

お知らせ

- 「その他」 → 「設定」 → 「通知」 をONにしている場合は、Eメールを受信すると、ステータスバーに  などが表示されます。
- 本文画面で送信元をタップすると、メールアドレスを電話帳に登録したりEメールを送信したりできます。メールアドレスを電話帳に登録している場合は、連絡先を表示できます。
- データが添付されている場合はEメール一覧画面に  が表示されます。ファイル名をタップすると添付データがダウンロードされます。

Eメール一覧画面のメニュー

Eメール一覧画面で「その他」をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

本文画面のメニュー

本文画面で「その他」をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

Eメールの設定を変更する

アカウント設定

- 1 ホーム画面で  → 「Eメール」
- 2 「その他」 → 「設定」 → 設定したいアカウントをタップ
- 3 設定したい項目をタップ

項目	説明
アカウントを同期	Eメールのサーバーと同期を行うかどうかを設定します。
アカウント名	アカウント名を変更します。
ユーザー名	ユーザー名を変更します。
常にCc/Bccに自分を追加	自分のメールアドレスをCc/Bccに追加します。
署名	Eメールの本文に署名を入れるかどうかを設定します。また署名を編集します。
画像を表示	画像を表示するかどうかを設定します。
添付ファイルを自動ダウンロード ^{*1}	Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかどうかを設定します。
同期スケジュール	Eメールを同期するタイミングを設定します。

項目	説明
同期するEメールの期間 ^{※1}	Eメールを同期する期間を設定します。
読み込みEメール数 ^{※2}	表示するEメールの数を設定します。
受信サイズの制限	受信するEメールのサイズを設定します。
ローミング中の受信サイズを制限	ローミング中に受信するEメールのサイズを設定します。
サーバー設定	送受信サーバーの設定を変更します。

※1 POP3アカウントの場合は表示されません。

※2 IMAPアカウントの場合は表示されません。

お知らせ

- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、Eメール一覧画面でアカウント名をタップ → 統合表示の「統合受信トレイ」をタップすると、登録したすべてのEメールアカウントの受信メールを一覧で確認できます。
- Eメールアカウントを削除する場合は、Eメール一覧画面で「その他」 → 「設定」 → 削除したいEメールアカウントをタップ → 「削除」 → 「削除」をタップします。
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントの場合は、設定項目が異なります。

基本設定

- 1 ホーム画面で  → 「Eメール」
- 2 「その他」 → 「設定」
- 3 設定したい項目をタップ

Gmail

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、メールアドレスの設定が必要です (P.355)。メールアドレスの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください。

Gmailを開く

- 1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
 - Gmailの新機能に関する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 2 読みたいメールをタップ
 - 選択したメールの内容が表示されます。

Gmailを作成して送信する

- 1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
- 2 
 - メール作成画面が表示されます。
- 3 宛先に送信先のメールアドレスを入力
 - 複数の相手に送信する場合は、カンマ (,) で区切ります。
 - Cc/Bccを追加する場合は、v をタップします。
- 4 「件名」欄に件名を入力
- 5 「メールを作成」欄に本文を入力
- 6 

アカウントを切り替える

複数のEメールアカウントを登録している場合は、アカウントを切り替えることができます。

- 1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
- 2 
- 3 アカウント名をタップ → 切り替えるアカウントをタップ
 - 選択したアカウントの受信トレイが表示されます。

お知らせ

- Gmailの詳細については、Gmailの画面で  → 「ヘルプとフィードバック」をタップしてご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。
エリアメール（津波警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、受信画面が表示されます。

- ブザー音・着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- 初期状態では、マナーモード（サイレント、バイブ）設定中でもブザー音・着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます。→ P.206

受信したエリアメールを表示する

- 1 ホーム画面で  → 「災害用キット」
- 2 「緊急速報「エリアメール」」 → 確認したいエリアメールをタップ

エリアメールを削除する場合

「緊急速報「エリアメール」」 → 削除したいエリアメールにチェックを付ける → 「削除」 → 「OK」をタップします。

緊急速報「エリアメール」を設定する

- 1 ホーム画面で  → 「災害用キット」
- 2 「緊急速報「エリアメール」」 →  → 「設定」
- 3 項目を設定

項目	説明
受信設定	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音	ブザー音・着信音の鳴動時間、マナーモード（サイレント、バイブ）設定時もブザー音・着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面とブザー音・着信音を確認します。
やさしい日本語表示	緊急地震速報、津波警報をわかりやすい日本語で表示するかどうかを設定します。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを使用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。

本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ウェブブラウザを起動する

1 ホーム画面で

- ウェブブラウザが起動し、ホームページに設定されているウェブページ（初期状態ではdメニュー（<http://smt.docomo.ne.jp/?home>）が表示されます。



① アドレスバー

ウェブページのURLや検索したいキーワードを入力します。アドレスバーをタップすると、クイックアクセスが表示されます。

- ② 再読み込み
- ③ その他
メニューを表示します。
- ④ 戻る／進む
- ⑤ ホーム
ホームページに設定されているウェブページに戻ります。
- ⑥ タブ
タブを切り替えたり、閉じたり、新しいタブを開いたりします。
- ⑦ ブックマーク
ブックマークなどの一覧を表示します。

お知らせ

- アドレスバーやアイコンが表示されていない場合は、画面を下にフリック／スワイプすると表示されます。

ウェブブラウザを終了する

1 → ブラウザのサムネイルを左右にフリック

- ブラウザ画面で  (ホームキー) を押したり  をタップしてホーム画面に戻っても、ブラウザは終了しません。

お知らせ

- ブラウザ画面で次の操作ができます（表示中のウェブページにより操作できない場合があります）。
 - 拡大／縮小：拡大／縮小したい位置でピンチアウト／ピンチイン
 - スクロール：画面をスクロール／フリック
 - 前の画面に戻る： をタップ
 - 拡大鏡の使用：画面をロングタッチ
 - テキストのコピー、共有、検索：画面のリンクが貼られていないテキストをロングタッチ →  /  を上下左右にドラッグして、テキスト範囲を選択 → 利用したい機能をタップ

新しいタブを開く

- 1 ホーム画面で 
- 2 「タブ」
 - タブマネージャーが表示されます。
- 3 「新規タブ」
 - ホームページ (P.215) に設定したページが表示されます。
- 4 画面上部の検索ボックスにURLまたは検索したいキーワードを入力する
 - タブを閉じる場合は、「タブ」→ 閉じたいタブの  をタップします。

シークレットモードを有効にする

ブラウザの履歴や検索履歴を残さずに、ブラウザの閲覧ができます。

また、シークレットモードが有効な間に保存したすべてのブックマークおよびウェブページは、シークレットモードが無効な間は表示できません。

1 ホーム画面で 

2 「タブ」

- ・ タブマネージャーが表示されます。

3 「シークレットモード有効」

4 「パスワードを使用しない」 → 「OK」

- ・ パスワードを使用する場合、「パスワードを登録」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- ・ パスワードを後で登録する場合、タブマネージャー画面で「その他」 → 「シークレットモードセキュリティ」 → 「パスワードを使用」をタップし、画面の指示に従って登録してください。

お知らせ

- ・ シークレットモードを無効にする場合、ウェブブラウザを再起動する、またはタブマネージャー画面で「シークレットモード無効」をタップしてください。
- ・ シークレットモードで閲覧中のウィンドウは、画面上部のアドレスバーの周囲が濃いグレーで表示され、画面下部のメニューの背景がグレー、アイコンが白色で表示されます。
- ・ シークレットモードで閲覧したウェブページは、閲覧履歴や検索履歴に表示されません。また、Cookieは本端末に保存されません。ただし、シークレットモードで閲覧中にダウンロードしたファイルやブックマークなどは保存されます。

ウェブページのリンクを操作する

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

- 1 ホーム画面で 
- 2 リンクをロングタッチ
- 3 利用したい項目をタップ

お知らせ

- 表示中のウェブページにより、リンク操作のメニューが表示されない場合や、表示される項目が異なる場合があります。

履歴やブックマークを管理する

履歴からウェブページを表示する

- 1 ホーム画面で 
- 2 「ブックマーク」→「履歴」タブ
 - ・ 履歴の一覧が表示されます。
 - ・ 閲覧日時の新しい順に履歴が表示されます。
- 3 表示したいウェブページをタップ

お知らせ

- ・ 履歴の一覧で「その他」→「履歴を消去」をタップすると、履歴をすべて消去できます。

ウェブページをブックマークに追加する

- 1 ホーム画面で 
- 2 ブックマークに追加するウェブページを表示
→「ブックマーク」→「ブックマーク」タブ
→「追加」
- 3 登録するフォルダを確認／変更
- 4 ブックマークのタイトルを確認／変更 →「保存」

ブックマークからウェブページを表示する

- 1 ホーム画面で 
- 2 「ブックマーク」
 - ・ ブックマークの一覧が表示されます。
- 3 表示したいウェブページをタップ

お知らせ

- ・ ブックマークの一覧で「その他」をタップすると、次の項目が表示されます。
 - 「編集」：複数のブックマークを選択して、削除や移動、表示順の変更などができます。
 - 「共有」：ウェブページのURL をオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
 - 「フォルダ作成」：フォルダを作成します。

ブックマーク／保存したページ／履歴のメニュー

ブックマーク／保存したページ／履歴をロングタッチすると選択画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

ウェブブラウザを設定する

- 1 ホーム画面で 
- 2 「その他」 → 「設定」
- 3 設定したい項目をタップ

項目	説明
ホームページ	ホームページを設定します。
標準検索エンジン	検索エンジンを設定します。
自動入力プロフィール	自動で入力するプロフィール情報を設定します。
手動ズーム	ウェブページの設定とは無関係に、拡大／縮小できるようにするかどうかを設定します。
プライバシー	プライバシーに関するデータを利用するかどうかを設定したり、データを削除したりします。
詳細設定	詳細の機能を設定します。
フィードバックを送信	エラー報告などを送信できます。
ブラウザについて	ウェブブラウザのバージョンを表示します。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で「dメニュー」

- 使用するブラウザを選択し、「常時」（次回以降も適用）もしくは「1回のみ」を選択します。
- ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE/3G/GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で「dマーケット」

Playストア

- Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要です (P.355)。

アプリをインストールする

- 1 ホーム画面で「Playストア」
- 2 ダウンロードしたいアプリを検索し、タップ
→ 詳細を確認
- 3 無料アプリの場合は「インストール」、有料アプリの場合は金額欄をタップ → 画面の指示に従って操作
 - インストールが完了すると、ステータスバーに  が表示されます。
 - 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。ダウンロードの操作を行うと、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うことになります。

お知らせ

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- 購入したアプリに満足しない場合、規定の時間内であれば返金要求ができます。なお、返金要求は各アプリに対して最初の一度のみとなります。
- Google Playの詳細については、Playストアの画面で☰→「ヘルプとフィードバック」をタップしてご覧ください。
- アプリのアンインストールについては、「アプリやウィジェットのアンインストール」(P.148)をご参照ください。

Galaxy Apps

Galaxy Appsを利用して、おすすめの豊富なアプリを簡単にダウンロードすることができます。

Galaxy Appsに接続する

- 1 ホーム画面で  → 「Galaxy Apps」
- 2 利用したいアプリを検索してダウンロード

お知らせ

- Galaxy Appsは国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳細については、パソコンからGalaxy Appsサイト内のサポートページをご覧ください。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどをICカード内、ドコモ nanoUIMカード内に保存することができます。

また、電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができますし、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時の対策になります。

おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ^{*1}、ドコモ nanoUIMカード内データ^{*2}が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データ、ドコモ nanoUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。

- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。
- ※1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ
- ※2 ドコモnanoUIMカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」を利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトよりおサイフケータイ対応アプリをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応アプリのダウンロードが不要なものもあります。

1 ホーム画面で「おサイフケータイ」

- サービス情報を取得してサービス一覧を更新します。
- おサイフケータイの初期設定が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 利用したいサービスをタップ

3 サービスに関する設定を行う

4 マークを読み取り機にかざす

- 読み取り機と通信できます。

お知らせ

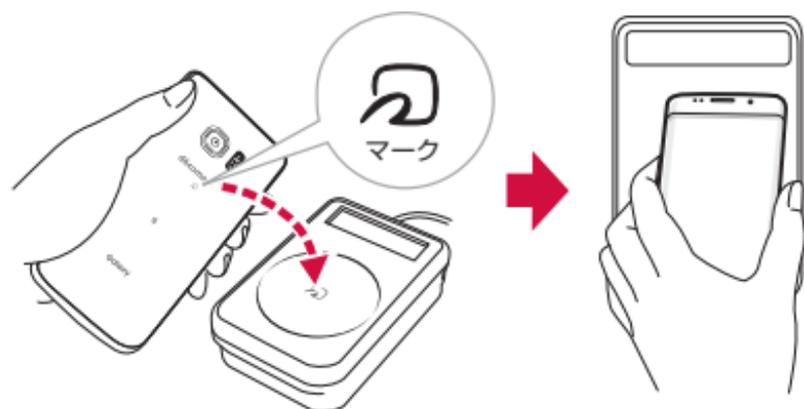
- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。
- インストールしているおサイフケータイ対応のアプリやその設定状態によっては、画面ロック中や画面消灯中、本端末の電源を切っている状態では、読み取り機にかざして利用できない場合があります。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できなくなることがございますので、あらかじめご了承ください。

「かざしてリンク対応サービス」を利用する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「NFC / おサイフケータイ 設定」
- 2 「Reader/Writer, P2P」 → 
- 3 NFC モジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどに  マークをかざす

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことにご注意ください。



- マークを対向機にかざす際には、強くぶついたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- マークと対向機の間には金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

おサイフケータイの機能をロックする

「NFC / おサイフケータイ ロック」を利用すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。NFC / おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で「おサイフケータイ」

2 「ロック設定」 → 「NFC / おサイフケータイ ロック」 →  → パスワードを入力 → 「OK」

- 初回起動時はパスワードの設定が必要です。画面の指示に従って、パスワードを設定してください。
- ロックを解除する場合は、「ロック設定」 → 「NFC / おサイフケータイ ロック」 →  → パスワードを入力 → 「OK」 をタップします。

お知らせ

- 「NFC /おサイフケータイ ロック」をご利用になると、ステータスバーに  または  が表示されます。
- 「NFC /おサイフケータイ ロック」ご利用中に電池が切れると、「NFC /おサイフケータイ ロック 設定」が解除できなくなりますので、電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は、充電後に「NFC /おサイフケータイ ロック」を解除してください。
- 「NFC /おサイフケータイ ロック」ご利用中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、「NFC /おサイフケータイ ロック」を解除してください。
- NFC /おサイフケータイのパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。
- 「NFC /おサイフケータイ ロック」の解除は、「NFC /おサイフケータイ ロック」を設定した際に本端末に挿入していたドコモ nanoUIM カードを取り付けた状態で行ってください。

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は2種類まで登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（<http://id-credit.com/>）をご覧ください。

タップ&ペイ

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効・無効の設定ができます。

- タップ&ペイの詳細については、ヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「NFC / おサイフケータイ 設定」

2 「タップ&ペイ」

- ヘルプを表示するには、タップ&ペイ画面で  → 「ヘルプ」 をタップしてください。

トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メール、ウェブダウンロード、Bluetooth機能、ICタグなどさまざまな方法で取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。

- トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で → 「トルカ」

お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- Bluetooth機能でトルカを取得する際には、トルカアプリのBluetooth機能をONにする必要があります。
- ICタグからトルカを取得する際には、本端末の「Reader/Writer, P2P」をONにする必要があります。→ P.314
- コンテンツ提供者の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
更新、トルカの共有、地図表示、読み取り機からの取得
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

モバキャス

モバキャスは、スマートフォン向けの放送サービスです。番組をリアルタイムに視聴できるリアルタイム型放送、映画やドラマだけでなく、音楽・雑誌・アプリなどのコンテンツをいつでもどこでも楽しむことができる蓄積型放送の2つの視聴スタイルが楽しめます。また、端末の通信機能を利用したソーシャルサービスとの連携など、今までにない放送サービスを楽しめます。

モバキャスサービス「NOTTV」の詳細については、NOTTVのホームページをご覧ください。

NOTTV： <http://www.nottv.jp/>

NOTTVは2015年12月17日をもって新規お申込み受付を終了いたしました。

- ・「NOTTV」は株式会社mmbiが提供するモバキャスサービスおよび、他のモバキャス放送局が提供するモバキャスサービスの総称です。
- ・NOTTVには、リアルタイム型放送で番組を楽しむ「リアルタイム」と、蓄積型放送を利用した「シフトタイム」「NOTTVボックス」のサービスがあります。

モバキャストのご利用にあたって

- モバキャストのご利用には別途モバキャスト放送局との有料放送受信契約が必要になります。
- 本端末にドコモ nanoUIM カードが入っていない場合は放送の受信・視聴ができません。
- モバキャストは日本国内で提供される放送サービスです。
- 蓄積型放送や録画のご利用には本体メモリの容量が必要です。

放送電波・受信エリアについて

モバキャストは、Xi サービスおよび FOMA サービス、フルセグ／ワンセグとは異なる電波を受信しています。そのため、Xi サービスおよび FOMA サービスの圏外／圏内にかかわらず、モバキャストの放送電波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、モバキャスト放送エリア内であっても、以下のような場所などでは、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送電波が送信される基地局から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

外付けテレビアンテナケーブル SC02について

- モバキャスやテレビ（フルセグ／ワンセグ）を視聴するときは、付属の外付けテレビアンテナケーブル SC02を本端末に接続してください。→ P.243

受信状態をよくするには

- 付属の外付けテレビアンテナケーブル SC02の向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなる場合があります。

モバキャスを視聴する

リアルタイム

- 1 ホーム画面で「NOTTV」**
 - NOTTVのホーム画面が表示されます。
- 2 チャンネル／番組のサムネイルをタップ**
 - 放送中の画面を左右にフリックしてチャンネルを選局できます。
 - 端末の自動回転が有効になっている状態で本端末を横にする、または  をタップすると表示が切り替わります。
 - 放送中の画面をタップすると「録画」ボタンや「詳細情報」ボタンが表示されます。「詳細情報」ボタンをタップすると番組の詳細が表示されます。

1 NOTTVのホーム画面で「シフトタイム」／「NOTTVボックス」

- 「NOTTVボックス」コンテンツの利用には、ビューアアプリ「NOTTVボックス」が必要です。
- コンテンツには利用制限があります。また、コンテンツにより利用期限が異なります。利用期限を過ぎたコンテンツは自動的に本体メモリから削除されます。
- 利用可能なコンテンツやコンテンツの配信予定がない場合、「シフトタイム」「NOTTVボックス」のアイコンは表示されません。

2 画面に表示されているコンテンツのサムネイルをタップ

番組／コンテンツを探す

番組／コンテンツをアプリ内でさまざまな方法で探すことができます。

番組表から検索（リアルタイム）

1 NOTTVのホーム画面で「番組表」

- 現在放送中の番組をタップすると、番組が切り替わります。

条件を指定して検索

1 NOTTVのホーム画面で「メニュー」

2 キーワードを入力／「番組・コンテンツ一覧」からジャンルやチャンネルをタップ

- 検索後に、入力したキーワードを登録することができます。（キーワード予約）
キーワードを登録すると、関連する番組／コンテンツを自動で視聴予約／録画予約または受信予約します。

番組／コンテンツの予約

番組表からの視聴予約／録画予約

- 1 NOTTVのホーム画面で「番組表」
- 2 視聴予約／録画予約する番組をロングタッチ
- 3 「録画予約する」／「視聴予約する」
- 4 1回だけの視聴予約／録画予約の場合は「1回のみ予約する」を、シリーズ（毎回）で視聴予約／録画予約をする場合は「シリーズ予約する」をタップ

お知らせ

- 番組の放送時間に本端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャス放送エリア外など電波受信状況が良くない、本体メモリの容量不足などの場合は、番組が視聴・録画できない場合があります。
- 本体メモリに録画された番組はご利用中の端末とドコモnanoUIMカードでのみ視聴できます。
- 番組によっては録画ができない場合があります。
- チャンネルによっては「シリーズ予約」ができない場合があります。「キーワード予約」(P.234)をご利用ください。

シフトタイムの受信予約（シフトタイム／NOTTVボックス）

- 1 NOTTVのホーム画面で「シフトタイム」／「NOTTVボックス」
- 2 「予定表」
 - ・ 今後放送されるコンテンツの一覧が表示されます。
- 3 予約したいコンテンツをタップ
 - ・ コンテンツの詳細画面が表示されます。
- 4 「予約する」

お知らせ

- ・ NOTTVでは、お客様におすすめするシフトタイム／NOTTVボックスコンテンツを自動予約しています。（自動予約）
- ・ コンテンツの放送時間に本端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャス放送エリア外など電波受信状況が良くない、本体メモリの容量不足などの場合は、コンテンツが受信できない場合があります。
- ・ 放送受信環境などの理由によりコンテンツが完全に受信できなかった際に、自動的にパケット通信にてデータを補完する場合があります（自動補完）。

モバキャストの設定

1 NOTTVのホーム画面で「メニュー」→「設定」

2 設定したい項目をタップ

項目		説明
音声	音声切替	音声言語と主音声・副音声について設定します。
	バックグラウンド再生	アプリを閉じた後でも、バックグラウンドで再生を継続します。
字幕	表示切替	字幕を表示するかどうかを設定します。
	表示位置	字幕の表示位置を設定します。
コンテンツ受信	自動予約	おすすめのコンテンツを自動で受信予約します。
	自動受信	放送で受信できなかったデータを通信で自動的に受信します。
番組表	番組表情報自動取得	番組表の情報を自動で取得する時間を設定します。

項目		説明
ステータスバー	新着情報表示	録画／受信予約した番組・コンテンツに関する新着情報をステータスバーに表示します。
	おすすめ表示	放送局からのおすすめ情報をステータスバーに表示します。
	おすすめ設定	おすすめに利用する性別・年齢・好きなジャンルの設定を変更します。
ペアレンタルコントロール	視聴年齢制限	視聴年齢制限のある番組を視聴できないように設定します。 ・初めて起動したときは、パスワードの設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
	年齢設定	視聴制限の年齢を設定します。
	パスワード変更	視聴年齢制限のパスワードを変更します。
ソーシャル	Twitter連携解除	Twitterとの連携を解除するかどうかを設定します。
詳細設定	視聴可能チャンネル優先表示	リアルタイム（放送中）や番組表で、契約されているチャンネルを優先的に表示します。
	ラストカテゴリー設定	アプリ開始時のホーム画面を前回アプリ終了時に閲覧していたカテゴリーにします。
	チューナー起動	アプリ起動時など、自動的にリアルタイム番組表示を行います。

項目		説明
詳細設定	表示形式変更	番組・コンテンツの表示形式を変更できます。 ・ 次回のアプリ起動以降に反映されます。
	重複録画防止	シリーズ・キーワード予約を行う際、同じ番組の録画を防止します。
	重複録画削除サポート	録画番組の削除時、同一番組が重複して録画されていないかチェックします。
	ロック画面通知	録画の開始時に通知を行います。
	ストレージ選択	録画番組や受信コンテンツの保存場所を変更します。
	ログ送信	アプリ利用に関するログを自動的にサーバーへ付します。
	文字スーパー	文字スーパー表示を行います。 ・ 地震速報等の災害情報は設定にかかわらず表示されます。
	放送波圏外時機能設定	アプリ起動後に放送波を受信できなかった場合に、通信でNOTTVコンテンツをご利用いただける画面へ遷移します。

テレビ（フルセグ／ワンセグ）

テレビは、放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できるアプリです。また、映像・音声と共にデータ放送を受信することができ、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを視聴できます。

「フルセグ／ワンセグ」サービスの詳細については、以下のホームページでご確認ください。

一般社団法人 デジタル放送推進協会：

<http://www.dpa.or.jp/>

フルセグ／ワンセグのご利用にあたって

フルセグ／ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。

データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。

「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。

「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。

サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要な場合があります。

放送波について

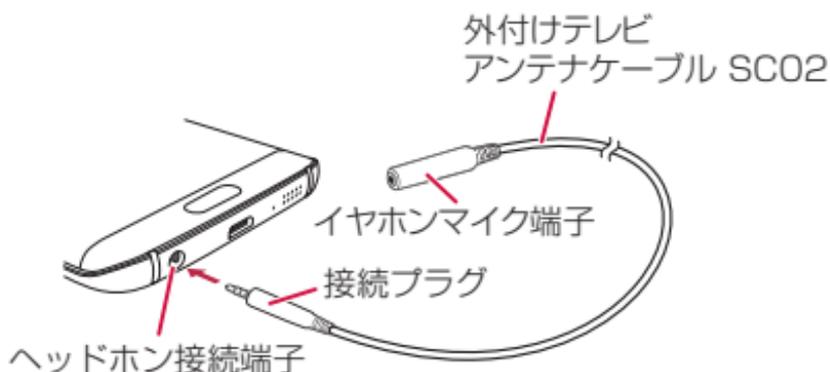
フルセグ／ワンセグは、放送サービスの1つであり、XiサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、以下のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

付属の外付けテレビアンテナケーブル SC02の向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなる場合があります。

外付けテレビアンテナケーブル SC02について

テレビ（フルセグ／ワンセグ）やモバキャストを視聴するときは、付属の外付けテレビアンテナケーブル SC02を本端末に接続してください。



1 外付けテレビアンテナケーブル SC02の接続プラグを、本端末のヘッドホン接続端子に差し込む

- ・ マイク付高音質イヤホン（試供品）をご利用になる場合は、必ずマイク付高音質イヤホンのプラグ（直径3.5mm）を外付けテレビアンテナケーブル SC02のイヤホンマイク端子に接続してから、外付けテレビアンテナケーブル SC02を本端末に接続してください。

お知らせ

- ・ 外付けテレビアンテナケーブル SC02にマイク付高音質イヤホンを接続しても音声の出力が切り替わらない場合は、マイク付高音質イヤホンのスイッチを押してください。

フルセグ／ワンセグを視聴する

1 ホーム画面で「テレビ」

- 視聴画面（P.245）が表示されます。
- 初めて起動したときやチャンネルエリアが登録されていない場合は、画面の指示に従ってチャンネルエリアの設定を行います（P.254）。

お知らせ

- 電波状態によっては、映像や音声途切れたり、止まったりすることがあります。
- マナーモード（サイレント、バイブ）に設定していても、音量（P.324）の設定によっては音声が再生されることがありますので、音量キーで音量を調節してください。

視聴画面について



※データ放送画面

① テレビ画像

- 左右にフリックすると、チャンネルを切り替えます。
- タッチすると操作メニューを表示します。
- ロングタッチすると、チャンネルリストを表示します。

② 字幕

③ データ放送

④ データ放送操作パネル

- / / / で項目にカーソルを合わせ、 をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- をタップすると、リンクの履歴に戻ります。

⑤ 操作メニュー（フルセグ）

：データ放送操作パネルを表示

：チャンネル一覧

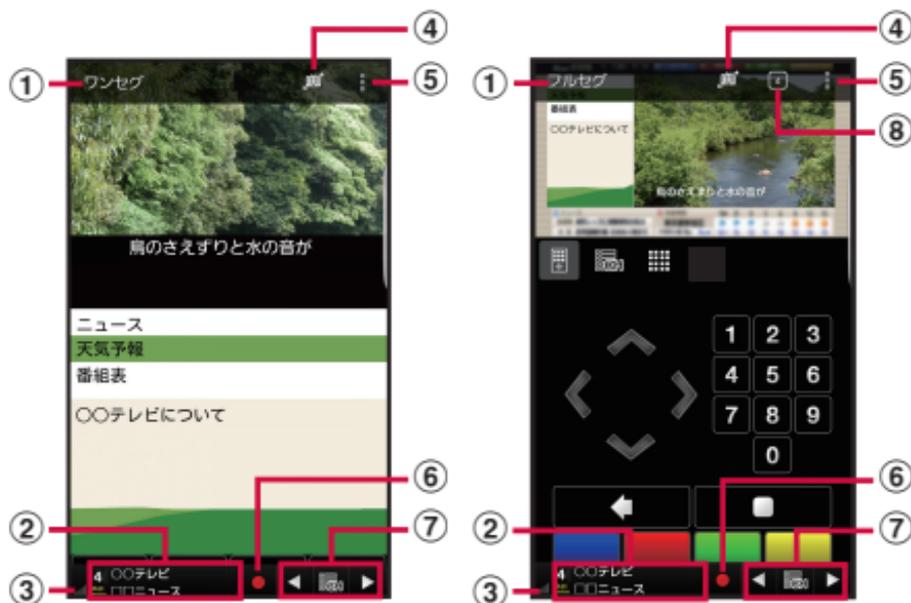
：番組情報

⑥ 双方向サービスボタン（フルセグ）

- ・ 青・赤・緑・黄の4色ボタンを利用して、視聴者参加型クイズやアンケート、投票などを行うことができます。

⑦ テンキー（フルセグ）

操作メニュー



視聴画面(ワンセグ・
操作メニュー表示中)

視聴画面(フルセグ・
操作メニュー表示中)*

*データ放送画面

- ① モード
- ② チャンネル／番組名
- ③ 電波状態
- ④ モード選択
 - ・「自動」／「フルセグ」／「ワンセグ」を切り替えます。
- ⑤ メニュー
- ⑥ 録画
- ⑦ テレビ操作パネル
 - ・ ◀ / ▶ でチャンネルを切り替えます。
 - ・ [メニュー] をタップすると、チャンネルリストを表示します。
- ⑧ dボタン (フルセグ)
 - ・ タップすると、データ放送画面を表示します。

操作画面について

- 1 視聴画面でテレビ画面をタップ
- 2  → 「録画ファイルリスト」 / 「録画／視聴予約」 / 「テレビリンク」

録画ファイルリスト



録画ファイルリスト画面

① 録画ファイルリスト

- 録画ファイルをタップ →  をタップすると、再生します。
- 録画ファイルをロングタッチ →  → タイトルを入力 → 「OK」をタップすると、録画ファイルのタイトルを変更できます。
- 録画ファイルをロングタッチ →  → 「はい」をタップすると、録画ファイルを削除できます。

② メニュー

録画ファイル再生画面



録画再生画面(ワンセグ・
操作メニュー表示中)

① メニュー

② 再生操作パネル

- **▶ / ⏸** : 録画ファイルの再生 / 一時停止を切り替えます。
- **⏮ / ⏭** (再生中のみ) : タップすることにより録画ファイルの再生位置を一定の間隔で進めたり戻したりすることができます。
- **⏪ / ⏩** (再生中のみ) : 録画ファイルを早送り / 早戻しできます。タップすることにより2倍速 / 10倍速 / 30倍速 / 120倍速に切り替えることができます。
- **⏮ / ⏭** (一時停止中のみ) : 録画ファイルの再生位置を少し進めたり戻したりすることができます。

③ 再生状態

④ チャンネル / 番組名

⑤ 再生時間、スライダー

- **🕒** をタップして録画ファイルの再生位置を任意の時間まで操作できます。

録画／視聴予約画面



録画／視聴予約画面

① 予約一覧

：フルセグ録画予約

：ワンセグ録画予約

：視聴予約

・ 予約をタップすると、予約内容を変更できます。

② メニュー

テレビリンク画面



テレビリンク画面

- ① テレビリンク
 - ・ 登録したサイトに接続します (P.256)。
- ② メニュー

テレビ（フルセグ／ワンセグ）を録画する

1 テレビ画面をタップ →

- 録画中は  **録画中** が表示されます。
- 録画を停止するには、 をタップします。

お知らせ

- 電波状態によっては、映像や音声途切れたり、止まったりすることがあります。
- 録画中はチャンネル切替はできません。
- 録画中に他のアプリを起動すると、正常に録画できない場合があります。

録画した番組を再生する

1 視聴画面でテレビ画面をタップ → → 「録画ファイルリスト」

2 再生する番組をタップ

テレビ（フルセグ／ワンセグ）の録画や視聴を予約する

手動で予約する

- 1 視聴画面でテレビ画面をタップ →  → 「録画／視聴予約」
 - ・ 録画／視聴予約画面が表示されます。
- 2  → 「新規予約」
- 3 「視聴予約」 / 「録画予約」
- 4 予約設定画面で各項目を入力
- 5 「保存」 → 「はい」

お知らせ

- ・ 手順3で「番組表から」を選択しても予約できません。

予約を削除する

- 1 視聴画面でテレビ画面をタップ →  → 「録画／視聴予約」
 - ・ 録画／視聴予約画面が表示されます。
- 2 削除する予約をロングタッチ
- 3 「削除」 → 「はい」

チャンネルを設定する

エリア情報を設定する

- 1 視聴画面でテレビ画面をタップ →  → 「エリア切替」
- 2 使用していないエリアをタップ → 「OK」
- 3 地方を選択 → 都道府県を選択 → 地域を選択
・チャンネルが検索されます。
- 4 「OK」

エリア情報を切り替える

- 1 視聴画面でテレビ画面をタップ →  → 「エリア切替」
- 2 切り替える地域を選択
・切替先の地域にチャンネルリストが登録されていない場合は、エリア情報の設定を行います (P.254)。

エリア情報を削除する

- 1 視聴画面でテレビ画面をタップ →  → 「エリア切替」
- 2 削除するエリアをロングタッチ
- 3 「設定削除」 → 「はい」
 - ・ 使用中のエリア情報は削除できません。

チャンネルを更新する

- 1 視聴画面でテレビ画面をタップ →  → 「エリア切替」
- 2 更新するエリアをロングタッチ → 「チャンネル更新」 → 「全更新」 / 「追加更新」
 - ・ チャンネルが更新されます。
 - ・ 「全更新」を選択した場合は、ポップアップが表示されますので、画面の指示に従って操作してください。
- 3 「OK」

テレビリンクを利用する

テレビリンクを登録する

- 1 データ放送を操作して、テレビリンク登録可能な項目を選択
 - ・ テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

お知らせ

- ・ リンク先によっては、テレビリンクを登録できないことがあります。

テレビリンクを表示する

- 1 視聴画面でテレビ画面をタップ →  → 「テレビリンク」
 - ・ テレビリンク画面が表示されます。
- 2 テレビリンクを選択 → 「はい」
 - ・ 登録したサイトに接続します。

テレビリンクを削除する

- 1 視聴画面でテレビ画面をタップ →  → 「テレビリンク」
 - ・ テレビリンク画面が表示されます。
- 2 削除するテレビリンクをロングタッチ
- 3 「削除」 → 「はい」

テレビ（フルセグ／ワンセグ）を設定する

字幕／音声／映像の設定

- 1 視聴画面でテレビ画面をタップ →  → 「字幕／音声／映像設定」
- 2 項目を設定
 - ・ 放送している番組によって表示される項目は異なります。

その他の設定

- 1 視聴画面でテレビ画面をタップ →  → 「設定」
- 2 項目を設定

項目	説明
文字スーパー設定	緊急地震速報、津波警報などで使用される文字スーパーを表示するかどうかを設定します。
データ放送設定	データ放送の詳細を設定します。
オフタイマー	自動的にテレビ（フルセグ／ワンセグ）を終了するまでの時間を設定します。
受信機のデバイスID	受信機のデバイスIDを表示します。

項目	説明
ご利用にあたって	ご利用にあたっての情報を表示します。
ソフトウェアライセンス	ソフトウェアライセンスを表示します。

カメラ

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音禁止されている場合がありますのでご注意ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

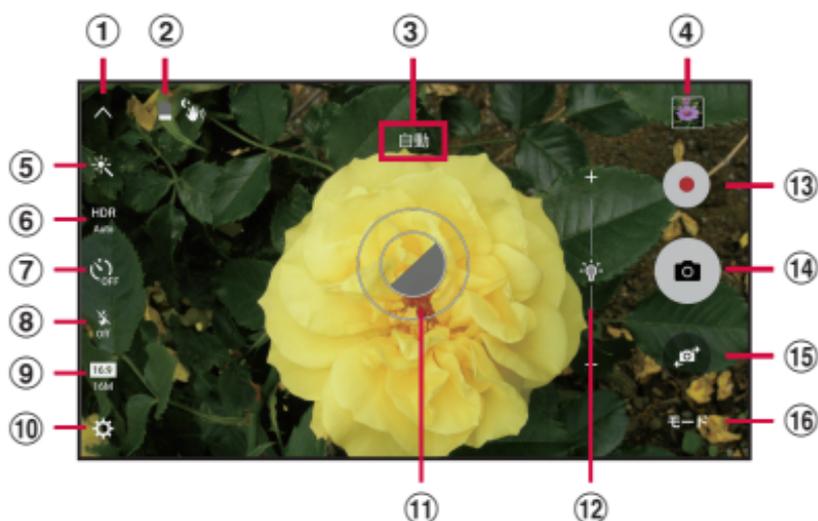
カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出る場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとする、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に本端末が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間をおいてからご使用ください。
- マナーモード（サイレント、バイブ）設定中でも静止画撮影のシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴りますのでご注意ください。

1 ホーム画面で「カメラ」

- 位置情報タグに関する画面が表示された場合は、内容を確認して画面に従って操作してください。



静止画／動画撮影画面

- ① メニューを閉じる
- ② バッテリー残量
 - ・ バッテリー残量が29%未満のときに  が表示されません。
- ③ 現在の撮影モード
 - ・ 設定中のモードが表示されます。
- ④ サムネイル
 - ・ タップすると、ギャラリーが起動します。
- ⑤ エフェクト設定
- ⑥ HDR設定
- ⑦ タイマー設定
- ⑧ フラッシュ設定
 - ・ 内側カメラでの撮影時は、美肌モード設定に変わります。
- ⑨ 画像サイズ設定

- ⑩ 設定
 - ・ タップすると、設定メニューが表示されます。→ P.265
- ⑪ フォーカス
- ⑫ 明るさ
- ⑬ シャッター（動画撮影）
- ⑭ シャッター（静止画撮影）
- ⑮ 外側カメラと内側カメラの切替
- ⑯ 撮影モードメニュー→ P.268

お知らせ

- ・ カメラを起動した状態で約2分間何も操作をしないと、カメラは終了します。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で「カメラ」

- 静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける

- ディスプレイ上でピンチアウト／ピンチインするとズーム調節できます。

3

- シャッター音が鳴り、撮影されます。
- 撮影した静止画は自動的に保存されます。
- 撮影時に  をロングタッチすると、最大で30枚の写真を連続撮影することができます。

お知らせ

- 設定メニューの「音量キー機能」で「写真を撮影」を選択した場合、音量キーを押しても静止画を撮影できません (P.267)。

動画を撮影する

1 ホーム画面で「カメラ」

- 静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける → ●

- 開始音が鳴り、動画撮影が始まります。
- ディスプレイ上でピンチアウト／ピンチインするとズーム調節できます。
- 「キャプチャ」をタップすると、動画撮影中に静止画も撮影できます。
- 撮影を一時停止するには「一時停止」をタップします。一時停止中に「再開」をタップすると、撮影を再開できます。

3 撮影を停止するときは、■

- 終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

お知らせ

- 動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。
- 設定メニューの「音量キー機能」で「動画を撮影」を選択した場合、音量キーを押しても動画を撮影／停止できません。なお、「音量キー機能」で「写真を撮影」を選択した場合、音量キーを押すと、動画撮影中に静止画も撮影できます（P.267）。

カメラの設定をする

- 1 ホーム画面で「カメラ」
- ・ 撮影画面が表示されます。

アイコン	項目	説明
	エフェクト	撮影効果を設定します。 ・ 設定できる撮影効果項目は、ダウンロードして追加することもできます。
	HDR	HDR (リッチトーン)を設定します。
	タイマー	セルフタイマーを設定します。
	フラッシュ	フラッシュをOff / Auto / Onに切り替えます。 ・ 外側カメラでの撮影中に表示されます。
	美肌モード	美肌モードを設定します。 ・ 内側カメラでの撮影中に表示されます。
	画像サイズ	撮影する静止画の画像サイズを設定します。

2

- 撮影モードにより設定できない項目があります。
- 使用するカメラ(外側カメラ/内側カメラ)によって、表示される項目が異なります。

項目	説明
動画サイズ (リアカメラ)	外側カメラで撮影する動画の画像サイズを設定します。
動画サイズ (フロントカメラ)	内側カメラで撮影する動画の画像サイズを設定します。
トラッキングAF	プレビュー画面で選択した被写体にフォーカスを合わせて追跡します。
ジェスチャー操作	手のひらをカメラに向けると、数秒後に写真が撮影されます。
プレビューとして写真 を保存	撮影した画像を左右反転して保存するかどうかを設定します。
動画手振れ補正	動画撮影時の手振れ補正機能のON / OFFを設定します。
グリッドライン	撮影位置を決めるためのグリッドを表示します。

項目	説明
位置情報タグ	位置情報を付加するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • GPSの電波を正しく受信するため、受信しにくい場所での使用は避けてください。→ P.277 • 撮影した静止画をインターネットにアップロードすると、意図しない第三者からも付加された位置情報を確認される場合があります。位置情報が漏れるのを防ぐには、OFFに設定してください。
写真を確認	写真を撮影した後、すぐに撮影結果を表示します。
クイック起動	 (ホームキー) を2回押してカメラを起動します。
RAWファイルとして保存	プロモードで写真を圧縮せずにRAWファイルとJPGファイルの両方で保存するかどうかを設定します。
音声コントロール	音声でシャッターを切れるようにするかどうかを設定します。
音量キー機能	音量キーを押したときの操作を「写真を撮影」 / 「動画を撮影」 / 「ズーム」から選択します。
設定をリセット	カメラの設定をリセットします。

3 設定が終了したら、

撮影モードを切り替える

1 ホーム画面で「カメラ」

2 撮影画面で「モード」→ 撮影モードを選択

- 使用するカメラ(外側カメラ/内側カメラ)によって、表示される項目が異なります。

項目	説明
自動	色合いや明るさを最適化するように露光を自動調整します。
プロ	色調や焦点距離、ホワイトバランス、ISO感度、露出値を手動で調整します。
選択フォーカス	人物などの被写体をタップすると、被写体の周囲(背景)をぼかしてくっきりと撮影できます。
パノラマ	水平に本端末を動かしてパノラマ写真を撮影します。 <ul style="list-style-type: none">• カメラを一方向にゆっくりと動かし、ガイドから白枠がずれないように、本端末を一方向にゆっくりと動かしてください。• 被写体の背景が無地の壁や虚空などの場合は、正しく撮影できないことがあります。
自分撮り	簡単に自分撮りができます。
ワイド自分撮り	自分撮りをするとき、左右に本端末を動かすことで大人数での撮影を行います。

項目	説明
動画コラージュ	レイアウトなどを選択してビデオクリップを作成できます。
ライブブロードキャスト	動画をYouTubeでライブ配信できます。
スローモーション	動画をスローモーション再生用として録画します。
ファストモーション	動画をファストモーション再生用として録画します。
バーチャルショット	<p>多方向から被写体を撮影した画像を作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 撮影画面の中央に被写体を収めて  をタップした後、画面の指示に従って周囲を回りこんでください。 • 撮影したデータをギャラリーで開くと、自動的に回転して表示されます。その後は本端末を傾けることで画面が回転します。
インターバルショット	2秒間隔で最大4枚連続撮影して、その中からベストな写真を選択します。
ダウンロード	Galaxy Appsから撮影モードをダウンロードして追加することができます。

ギャラリー

本端末に保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。

対応しているファイル形式は以下のとおりです。ただし、静止画や動画によっては以下のファイル形式であっても表示／再生できない場合があります。

種類	ファイル形式
静止画	JPEG、PNG、GIF、BMP、WBMP、WEBP、AGIF
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、WEBM

1 ホーム画面で → 「ギャラリー」

- 撮影日別に並んだデータ一覧画面が表示されます。
- 「日時」→「アルバム」／「イベント」／「カテゴリ」をタップすると、表示を変更することができます。

2 データをタップ

- アイコンが表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。表示されるアイコンは、表示中のデータによって異なります。

項目	説明
	データ一覧画面に戻ります。
	「お気に入り」にデータを追加します。
その他	選択したデータ種別ごとの機能メニューを表示します。
自動調整	明るさ、色などを自動調整します。
共有	データをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。
編集	静止画データの編集（調整、色調、効果、ポートレート、スケッチ）を行います。
削除	データを削除します。

静止画を表示する

- 1 データの一覧画面で表示する静止画をタップ
 - ・ 静止画が表示されます。
 - ・ データを切り替えるには画面を左右にスクロールします。

動画を再生する

- 1 データの一覧画面で再生する動画をタップ
- 2  → アプリを選択
 - ・ 再生が開始されます。
 - ・ 「メディアプレイヤー」を選択した場合、画面に表示されるアイコンや操作説明については、「メディアプレイヤーを利用する」(P.273)をご参照ください。
 - ・ 「動画」を選択した場合、画面の指示に従って操作してください。

ギャラリーのメニュー

一覧画面／詳細画面／表示画面で「その他」をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

プレイヤー

メディアプレイヤーを利用する

本端末に保存してある音楽や動画を再生できます。再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、音楽や動画によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

種類	ファイル形式
音楽	MP3、M4A、3GA、AAC、OGG、OGA、WAV、WMA、AMR、AWB、FLAC、MID、MIDI、XMF、MXMF、IMY、RTTTL、RTX、OTA
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、ISMV、WEBM

- 1 ホーム画面で  → 「メディアプレイヤー」
- 2 画面上部のタブを選択
 - タップしたタブに応じた結果が表示されます。
 -  → 表示されるアイコンをタップすると、音楽や動画などのコンテンツを購入することができます。
- 3 再生したい音楽または動画をタップ
 - 音楽や動画の再生が開始されます。
 - 画面（音楽再生画面／動画再生画面）によって、表示される項目が異なります。

項目	説明
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
	データの一覧画面を表示します。
	本端末の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えるかどうかを設定します。
	再生/一時停止します。
	タップすると早戻し/早送りします。
	タップするとデータの先頭または前のデータ/次のデータにスキップします。
	リピートモードを設定します (リピートなし/全曲リピート/1曲リピート)。
	シャッフル機能を設定します (シャッフルしない/シャッフルする)。
	音量の大きさを表示します。左右にドラッグすると音量を調節できます。
	ワイヤレス機器に接続して動画を再生します。
	メニューを表示します。

位置情報を有効にする

位置情報を利用するアプリを使用するには、あらかじめGPS機能をONにしておく必要があります。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「プライバシーと安全」 → 「位置情報」
- 2  → 「同意する」
- 3 「位置情報の検出方法」 → 検出する方法を選択

項目	説明
GPS、Wi-Fiおよびモバイルネットワーク	GPS、Wi-Fi、モバイルネットワークで現在地を特定します。より正確に現在地を検出できますが、本端末の電池消費量が大きくなります。
Wi-Fiおよびモバイルネットワーク	Wi-Fiとモバイルネットワークで現在地を特定します。
GPSのみ	GPSで現在地を特定します。

GPSのご利用にあたって

- システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状態が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

Google マップを利用する

Google マップを利用して、現在地や別の場所を検索したり、目的地への道案内情報を取得したりできます。

- Google マップを利用するには、データ接続可能な状態（LTE / 3G / GPRS）にあるか、Wi-Fi 接続が必要です。
- Google マップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

Google マップを開く

- 1** ホーム画面で「Google」→「マップ」
 - メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 2** 検索ボックスに地名などを入力

Google マップで経路を検索する

車や電車、徒歩でのルート検索を行う場合は、Google マップの「経路」機能を利用します。

- 1 ホーム画面で「Google」→「マップ」
- 2  → 移動方法 ( /  / ) のアイコンをタップ
- 3 上の検索ボックスに地名などを入力
- 4 下の検索ボックスに地名などを入力
- 5 経路をタップ

周辺のスポットを検索する

Google マップを利用して、現在地周辺のお店や施設などを検索できます。

- 1 ホーム画面で「Google」→「マップ」
- 2 検索ボックスをタップ → 以降は画面の指示に従って操作する

時計

アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

1 ホーム画面で  → 「時計」

2 画面上部のタブをタップ

- ・ 各機能の画面に切り替わります。

アラームを利用する

1 「アラーム」画面で各項目を設定 → 「保存」

- ・ 時/分の数字をタップするとテンキーが表示されます。

2 アラームを止めるには、 を表示される円の外側までドラッグ

- ・ 「アラーム」ウィンドウが表示された場合は、「解除」をタップしてください。
- ・ スヌーズを設定した場合は、「スヌーズ」をタップすると5分間隔で再度アラームが鳴動します。

お知らせ

- ・ スヌーズとは、いったんアラームを止めてもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。
- ・ 登録したアラームを削除するには、「アラーム」画面で削除するアラームの  をタップします。
- ・ 登録したアラームをOFFにするには、 をタップして  にします。

世界時計を利用する

登録した都市の日付と時刻を一覧で確認できます。

- 1 「世界時計」画面で登録する都市をタップ → 
 - 現在地から都市を登録する場合は、「その他」 → 現在地 → 登録する都市をタップ →  をタップします。

お知らせ

- 「世界時計」画面で検索したい都市名または国名を検索ボックスに入力すると、都市名/国名で検索することができます。
- 登録した都市を削除するには、「世界時計」画面で削除する都市の  をタップします。
- 都市でサマータイムを実施している場合は、日付の後に  が表示されます（サマータイムを実施している都市でも  が表示されない場合があります）。

ストップウォッチを利用する

- 1 「ストップウォッチ」画面で「スタート」
 - ・ 測定が開始されます。
- 2 測定を止めるには「停止」

タイマーを利用する

- 1 「タイマー画面」で時間、分、秒を設定
- 2 「スタート」
 - ・ タイマーが開始されます。
- 3 タイムアップ通知音を止めるには、 を表示される円の外側までドラッグ
 - ・ 「タイムアップ」ウィンドウが表示された場合は、「解除」をタップしてください。

Sプランナー

カレンダーを表示してイベントやタスクを登録できます。また、Googleアカウントを登録すると、Googleカレンダーと同期することもできます。

1 ホーム画面で  → 「Sプランナー」

2 



キャンセル 保存

タイトル

🕒 終日

2015年7月1日(水) 2015年7月1日(水)

午後 4:00 > 午後 5:00

📅 ● マイカレンダー

📧 10分前 通知

📍 場所 [マップ](#)

繰り返し メモ 共有

イベント登録画面

3 項目を設定 → 「保存」

ボイスレコーダー

音声を録音する

- 1 ホーム画面で  → 「ボイスレコーダー」
- 2 
 - 録音が始まります。
 - 「ブックマーク」をタップすると、録音途中でブックマークを設定できます。
- 3 「保存」
 - 録音が終了し、録音した内容が保存されます。

音声を再生する

- 1 ホーム画面で  → 「ボイスレコーダー」
- 2 「録音ファイル」
 - ・ 録音したデータの一覧画面が表示されます。
- 3 再生したいデータをタップ
 - ・ 再生が開始されます。

ボイスレコーダーのメニュー

録音したデータの一覧画面／再生画面で「その他」をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

電卓

四則演算（＋、－、×、÷）やパーセント計算、関数計算などができます。

1 ホーム画面で → 「電卓」

- ・「自動回転」がONの状態では端末を横向きにする、関数電卓に切り替わります。

ドコモバックアップ

データ保管BOXへ保存・復元

通話履歴、音楽のデータをデータ保管BOXを利用してバックアップ・復元します。

バックアップ

- 1 ホーム画面で  → 「ドコモバックアップ」
→ 「データ保管BOXへ保存・復元」
- 2 「バックアップ」
 - ・ ログインしていない場合、確認画面が表示されません。画面の指示に従ってログインしてください。
- 3 バックアップするデータにチェックを付ける
→ 「バックアップ開始」 → 「開始する」
- 4 ドコモアプリパスワードを入力 → 「確定」
- 5 「トップに戻る」

お知らせ

- ・ 定期バックアップ設定は、あらかじめ選択したバックアップ対象データを、毎月自動でデータ保管BOXへバックアップできます。
- ・ 定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

復元

- 1 ホーム画面で  → 「ドコモバックアップ」
→ 「データ保管BOXへ保存・復元」
- 2 「復元」 → 復元するデータ種別の「選択」 → 復元するデータにチェックを付ける → 「選択」
- 3 復元方法を選択 → 「復元開始」 → 「開始する」
- 4 ドコモアプリパスワードを入力 → 「確定」
- 5 「トップに戻る」

お知らせ

- データ保管BOXから復元する際、データはバックアップ時と同じ保存先に復元されます。機種変更した際など、バックアップ時と異なる保存先に復元される場合があります。

microSDカードへ保存・復元

本端末では、microSDカードリーダーライター（市販品）を使用してmicroSDカードを接続すると、ドコモバックアップ（microSDカードへ保存・復元）を利用できます。

- すべてのmicroSDカードリーダーライターとの動作を保証するものではありません。
- ご使用になるmicroSDカードリーダーライターの取扱説明書をあわせてご覧ください。
- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントの電話帳と本端末に登録されている電話帳です。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

バックアップする

電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- 1 ホーム画面で  → 「ドコモバックアップ」
→ 「microSDカードへ保存・復元」
- 2  → 「出力先変更」 → 「SDカード」 → 「OK」
- 3 「バックアップ」 → バックアップするデータにチェックを付ける → 「バックアップ開始」
→ 「開始する」
- 4 ドコモアプリパスワードを入力 → 「確定」
 - ・ 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
- 5 「トップに戻る」

バックアップファイルを本端末に復元する

microSDカードにバックアップした電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で  → 「ドコモバックアップ」
→ 「microSDカードへ保存・復元」
- 2 「復元」 → 復元するデータ種別の「選択」 → 復元するデータにチェックを付ける → 「選択」
- 3 復元方法を選択 → 「復元開始」 → 「開始する」
 - ・ データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
- 4 ドコモアプリパスワードを入力 → 「確定」
 - ・ 選択したデータが本端末に復元されます。
- 5 「トップに戻る」

Googleアカウントや本端末に登録されている電話帳を docomo のアカウントにコピーする

Googleアカウントの電話帳や、Galaxyが提供する「連絡先」アプリで本端末に登録した連絡先を docomo のアカウントにコピーします。

- 1 ホーム画面で  → 「ドコモバックアップ」
→ 「microSDカードへ保存・復元」
- 2 「電話帳アカウントコピー」 → コピーする電話帳の「選択」 → 「上書き」 / 「追加」
 - ・ コピーしたデータが docomo のアカウントに保存されます。
- 3 「OK」

YouTube

YouTubeは無料のオンライン動画ストリーミングサービスです。動画を再生したり投稿したりすることができます。

動画を再生する

- 1 ホーム画面で「Google」→「YouTube」
- 2 再生したい動画をタップ
 - 動画が再生されます。

辞書

辞書を利用して語句を検索することができます。
本端末は辞書データをダウンロードして利用できません。

1 ホーム画面で → 「辞書」

- 初めて起動したときは、辞書データのダウンロード／インストール画面が表示されますので、ダウンロードする辞書にチェックを付けて「ダウンロード」をタップしてください。辞書データのダウンロードには、Wi-Fi環境が必要です。

S Health

歩数計や心拍数などの「トラッカー」、「目標」、準備運動やランニングの「プログラム」といったアイテムを使って、消費カロリーや摂取カロリーの記録、運動の記録などを行い、健康管理をサポートします。

- サーバー上にデータをバックアップするには、Galaxy アカウントの設定が必要です。Galaxy アカウントの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください。

1 ホーム画面で → 「S Health」

- S Health 画面が表示されます。
- 初めて起動したときは、「S Healthへようこそ」と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

2 アイテムをタップ

お知らせ

- S Healthの詳細については、S Health画面で「その他」→「設定」→「ヘルプ」をタップしてください。
- 目標摂取カロリーは、お客様が入力したプロフィールを元に基礎代謝量（BMR）を計算して表示されます。個人の年齢、身体組成、必要栄養素によって目標摂取カロリーは異なりますので、数値は目安としてご利用ください。

Sボイス

電話の発信やSMSの送信、メモの作成など、音声入力で本端末の各種機能进行操作できます。

Sボイスをご利用になる前に

音声認識を高めるため、以下の点に気をつけてご利用ください。

- 本端末に向かってはっきりと話してください。
- 静かな場所をご利用ください。
- 俗語や方言などは避けてください。

Sボイスを利用する

- 1** ホーム画面で  → 「Sボイス」
 - Sボイス画面が表示されます。
 - 音声認識に関する法定情報が表示された場合は、内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- 2** 画面の指示に従ってウェイクアップコマンドを設定する

お知らせ

- Sボイスの音声入力の方法については、Sボイスウィンドウの  をタップしてご覧ください。

本体設定

設定メニュー

画面の明るさや表示方法、着信音、通信などさまざまな設定を行うことができます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」
- 2 メニュー項目を選択して設定を行う

お知らせ

- 「検索」をタップして検索したいキーワードを検索ボックスに入力すると、本体設定内を検索し、設定内容を確認できます。

クイック設定

データ使用量	→ P.311
サウンドとバイブ	→ P.320
ディスプレイ	→ P.321
テーマ	→ P.331
ロック画面とセキュリティ	→ P.331
バッテリー	→ P.361
編集	よく使用する「設定」をクイックメニューに最大9つまで登録できます。

接続

ワイヤレスネットワーク接続の設定をします。

項目		説明
Wi-Fi		→ P.299
Bluetooth		→ P.370
機内モード		→ P.305
テザリング		→ P.306
データ使用量		→ P.311
モバイルネットワーク		モバイルデータ、データローミング、APN、ネットワークモード、ネットワークオペレーターを設定します。
NFC / おサイフケータイ 設定		→ P.314
その他の接続設定	近くのデバイスをスキャン	近くのデバイスを設定します。
	印刷	→ P.382
	MirrorLink	MirrorLinkに対応した機器と本端末の画面を共有します。
	ハイブリッドダウンロード	→ P.315
	VPN	→ P.316

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機能との電波干渉について

本端末の無線LANとBluetooth機能は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、無線LANとBluetooth機能を近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. 無線LANとBluetoothデバイスは、約20m以上離してください。
2. 約20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスの電源を切ってください。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE/3G/GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったまままでご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- ユーザー認証が必要なWi-Fiネットワークに接続し、ユーザー認証が未成立の場合  が表示され、Wi-Fiではなく、モバイルネットワークで通信が行われる場合があります。このようなアクセスポイントでWi-Fi通信を行うには、アクセスポイントに接続するとき「スマートネットワーク切り替え」をOFFにしてください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です。ホーム画面で  →「設定」→「ドコモのサービス/クラウド」→「dアカウント設定」をタップして設定します。

■ Wi-Fiを有効にしてネットワークに接続する

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」

2 

- 接続可能なWi-Fiネットワークのスキャンが自動的に開始され、一覧表示されます。

3 接続したいWi-Fiネットワークをタップ → 「接続」

- セキュリティで保護されているWi-Fiネットワークに接続する場合は、パスワード（セキュリティキー）を入力し、「接続」をタップします。
- WPSが利用可能なWi-Fiネットワークは、WPS（Wi-Fi Protected Setup）を利用して接続できます。Wi-Fiネットワークの一覧画面で「その他」 → 「WPSプッシュボタン」 / 「WPS PIN入力」 → アクセスポイント側で操作を行います。

お知らせ

- 一度接続したWi-Fiネットワークのパスワード（セキュリティキー）は自動的に保存され、次回の接続時の入力は不要になります。

■ Wi-Fiネットワークの接続を解除する

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」

2 接続中のWi-Fiネットワークをタップ → 「切断」

■ Wi-Fiアクセスポイントを設定する

- 接続に必要な情報は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。
- 無線LANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、本端末のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは、ホーム画面で  → 「設定」 → 「端末情報」 → 「ステータス」 をタップすると確認できます。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」

2 「その他」

3 「ネットワークを追加」

4 ネットワーク名を入力 → セキュリティを設定

- 利用可能な認証方法は「WEP」「WPA/WPA2/FT PSK」「802.1x EAP」です。

5 パスワードを入力 → 「接続」

- セキュリティを「なし」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。

■ スマートネットワーク切り替えを設定する

接続したWi-Fiネットワークがインターネット接続できるかを確認し、接続できない場合は自動的にモバイルネットワークに切り替えるかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2 「その他」
- 3 「スマートネットワーク切り替え」 → 「ON」

お知らせ

- ・「スマートネットワーク切り替え」をONにした状態で、無線LAN内蔵メモリカードなどのインターネットに接続しないアクセスポイントとのWi-Fi接続が切断される場合は、「スマートネットワーク切り替え」をOFFにしてください。

■ Wi-Fiのスリープ設定をする

本端末の画面の表示が消えたときにWi-Fi接続を切断したり、充電時は常にWi-Fi接続を維持するように設定したりできます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2 「その他」
- 3 「スリープ中でもWi-Fi接続を維持」 → スリープ設定を選択

■ ネットワーク証明書をインストールする
システムメモリ（本体）からネットワーク証明書のインストールを行います。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2 「その他」
- 3 「ネットワーク証明書をインストール」

■ Passpoint対応のアクセスポイントに自動接続する

Wi-Fiアクセスポイントを設定することなく、Passpoint対応のWi-Fiアクセスポイントのエリアになったときに、Passpoint対応のWi-Fiアクセスポイントへ自動的に接続させるかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2 「その他」
- 3 「Passpoint」 → 「ON」 → 「OK」

■ 静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように本端末を設定できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2 接続するWi-Fiネットワークをタップ → 「拡張オプションを表示」にチェックを付ける
- 3 「IP設定」欄をタップ → 「静的」
- 4 必要な項目を設定
 - 静的IPアドレスを使用するには、以下の項目を入力する必要があります。
 - IPアドレス
 - ゲートウェイ
 - ネットワークプレフィックス長
 - DNS 1 / DNS 2

5 「接続」

■ Wi-Fi Directを利用する

Wi-Fi Direct対応デバイス同士を接続し、データのやりとりができます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2 「Wi-Fi Direct」
- 3 検索されたデバイス名をタップ
 - 検索されたデバイス側で接続を承認すると、Wi-Fi Directで接続し、ステータスバーに  が表示されます。

■ Wi-Fi Directの接続を解除する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」
- 2 「Wi-Fi Direct」
- 3 接続を解除するデバイス名をタップ

機内モード

すべてのワイヤレス接続を無効にします。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「機内モード」
- 2 

お知らせ

- 通知パネルで「機内モード」をタップしても設定を切り替えることができます。
- 「機内モード」を有効にするとWi-FiやBluetooth、NFCのReader/Writer、P2Pなどの機能がOFFになりますが、機内モード中に再びONにすることができます。

テザリングを利用する

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、無線LAN対応機器、USB対応機器、Bluetooth対応機器をインターネットに接続させる機能です。

- Wi-Fiテザリングをご利用の場合は最大10台、USBテザリングをご利用の場合は1台、Bluetoothテザリングをご利用の場合は最大3台の機器を同時接続できます。また、Wi-Fiテザリング、USBテザリング、Bluetoothテザリングを同時にご利用の場合は、合計14台を同時接続できます。

■ Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をインターネットアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「テザリング」 → 「Wi-Fiテザリング」

2 

- 注意事項が表示されたら確認し、「OK」をタップします。

■ Wi-Fiテザリングのアクセスポイントを設定する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「テザリング」 → 「Wi-Fiテザリング」
- 2 
 - ・ 注意事項が表示されたら確認し、「OK」をタップします。
- 3 「その他」 → 「Wi-Fiテザリングを設定」
- 4 「ネットワーク名」欄をタップ → ネットワーク名を入力
 - ・ あらかじめ「AndroidAP」が設定されています。
- 5 「セキュリティ」欄をタップ
 - ・ 「オープン」「WPA2 PSK」から適切なものを選択します。
- 6 「パスワード」欄をタップ → パスワードを入力
 - ・ 「セキュリティ」を「オープン」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。
- 7 「保存」

お知らせ

- 初期状態では、セキュリティは「WPA2 PSK」に設定されています。
- Wi-Fiテザリングが接続されている状態で、Wi-Fiテザリング画面で「その他」→「Wi-Fiテザリングを設定」→「マイデバイスを非表示」にチェックを付ける → 「保存」をタップすると、接続されている無線LAN対応機器の接続が一時解除されますが、自動で再接続されます。
- 「マイデバイスを非表示」にチェックを付けると、本端末はスキャンできなくなります。他の機器から接続する場合は、Wi-Fiテザリング画面の「他のデバイスからの接続方法」に表示される情報を確認して、手動でWi-Fiアクセスポイントの設定を行ってください。
- Wi-Fiテザリングが接続されている状態で、Wi-Fiテザリング画面で「その他」→「WPSプッシュボタン」をタップすると、接続している機種側でWPSボタンを押して接続できます。また、Wi-Fiテザリング画面で「その他」→「タイムアウト設定」をタップすると、接続しているデバイスがない場合に、時間を決めて自動的にWi-Fiテザリングを無効にできます。

■ Bluetoothテザリングを設定する

本端末をインターネットアクセスポイントとして利用し、Bluetooth対応機器をインターネットに3台まで同時接続させることができます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「テザリング」 → 「Bluetoothテザリング」

お知らせ

- Bluetoothテザリング機能を利用するには本端末を検出可能にする必要があります。詳細については、「Bluetooth機能を有効にして本端末を検出可能にする」(P.372)をご参照ください。

■ USB テザリングを設定する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01 (別売)で接続し、インターネットに接続することができます。

- 1** 本端末の外部接続端子に、microUSB接続ケーブル 01 のmicroUSBプラグを差し込む
 - 接続方法については、「microUSB接続ケーブルで接続する」(P.377)をご参照ください。
- 2** パソコンのUSBコネクタに、microUSB接続ケーブル 01 のUSBプラグを差し込む
- 3** ホーム画面で  → 「設定」 → 「テザリング」
- 4** 「USBテザリング」

お知らせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境(OS)は以下のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加/変更した環境での動作は保証いたしかねます。
 - Windows Vista SP2
 - Windows 7
 - Windows 8
 - Windows 8.1
 - Windows 10

データ使用量

モバイルデータ通信の有効／無効の設定や、データ使用量の上限を設定します。データ使用量を測定する期間の設定もできます。

- 1** ホーム画面で  → 「設定」 → 「データ使用量」
- データ使用量画面が表示され、期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。
 - 「モバイルデータ」をONにすると、モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にできます。
 - グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定ができます。使用量の制限は、「モバイルデータ制限を設定」をONにしているときのみ設定できます。

バックグラウンドデータを制限する場合

アプリが自動的に行うデータ通信を制限できます。データ使用量画面で「その他」→「バックグラウンドデータを制限」→「OK」をタップします。

Wi-Fiの使用状況を表示する

期間ごとやアプリごとのWi-Fi使用量（目安）が表示されます。データ使用量画面で「その他」→「Wi-Fi使用量を表示」→「Wi-Fi」タブをタップします。

Wi-Fiテザリングとして利用するWi-Fiネットワークの利用を制限する場合

バックグラウンドアプリが、特定のWi-Fiネットワークを利用できないように設定できます。データ使用量画面で「その他」→「ネットワークを制限」→利用を制限するWi-Fiネットワークをタップします。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用の際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

■ 利用中のアクセスポイントを確認する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「モバイルネットワーク」 → 「APN」

■ アクセスポイントを追加で設定する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「モバイルネットワーク」 → 「APN」 → 「追加」
- 2 「名前」 → 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 → 「OK」
- 3 「APN」 → アクセスポイント名を入力 → 「OK」
- 4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力
 - ・「携帯国番号」を440、「通信事業者コード」を10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。
- 5 「その他」 → 「保存」

お知らせ

- 携帯国番号、通信事業者コードの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、アクセスポイントを初期化するか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■ アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、初期状態に戻ります。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「モバイルネットワーク」 → 「APN」
- 2 「その他」 → 「初期値にリセット」 → 「リセット」

NFC / おサイフケータイ 設定

おサイフケータイの機能をロックしたり、Reader / Writer, P2P 機能を利用してコンテンツやファイルなどの送受信の許可 / 拒否を設定できます。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「NFC / おサイフケータイ 設定」

2 項目を設定

項目	説明
NFC / おサイフケータイ ロック	NFC / おサイフケータイ機能をロックします。
Reader/Writer, P2P	本端末を NFC モジュールが内蔵された機器または Reader / Writer, P2P 機能を搭載した端末に近づけたとき、データ交換を許可するかどうかを設定します。→ P.375
Android Beam	P2P 機能を搭載した他の対応端末との間で、ウェブページや連絡先などのコンテンツの送受信を許可するかどうかを設定します。「Reader/Writer, P2P」を ON にすると設定できます。
NFC Type 設定	「FeliCa / Type A / Type B (標準)」 / 「FeliCa / Type A」 / 「FeliCa / Type B」から通信モードを設定します。

項目	説明
タップ&ペイ	UIMカード上やアプリにて提供されるサービスの有効・無効を設定します。→ P.228

ハイブリッドダウンロード

Wi-FiとLTEネットワークを同時に使用することで、容量が大きいファイル（30MB超）をより速くダウンロードできるように設定します。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「その他の接続設定」 → 「ハイブリッドダウンロード」
- 2 

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

- 本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

■ VPNを追加する

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「その他の接続設定」 → 「VPN」

2 「VPNの追加」

- 注意画面が表示された場合は、「OK」をタップし、画面の指示に従って画面ロック解除方法を設定します。

VPNを編集する場合

編集するVPNの  をタップ → 各項目を編集 → 「保存」をタップします。

VPNを削除する場合

削除するVPNの  をタップ → 「削除」をタップします。

3 ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定

4 「保存」

■ VPNに接続する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「その他の接続設定」 → 「VPN」
- 2 接続したいVPNをタップ
- 3 必要な認証情報を入力 → 「接続」
 - ステータスバーに  が表示されます。

■ VPNを切断する

- 1 通知パネルを開く → VPN接続中を示す通知をタップ
- 2 「切断」

■ VPNに常時接続する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「その他の接続設定」 → 「VPN」
- 2 「その他」 → 「VPN常時接続」
- 3 常時接続したいVPNをタップ → 「OK」

管理

項目	説明
スマートマネージャー	→ P.134
アプリケーション	→ P.318

アプリケーション

項目	説明
アプリケーション管理	本端末のアプリを管理します。「その他」をタップすると、システムアプリを表示したり、フローティング表示するアプリの選択などができます。
標準アプリケーション	通常使うアプリに設定したり、設定を解除したりすることができます。
アプリケーション設定	各アプリ名をタップすると、各アプリの設定画面が表示されます。

アプリを無効化する

アプリの無効化を設定したアプリは、動作が停止し、アプリ画面に表示されなくなります。

- アンインストールとは異なります。
- アンインストールできない一部のアプリやサービスについて使用可能です。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「アプリケーション」 → 「アプリケーション管理」

2 無効化するアプリをタップ → 「無効」 → 「無効」

お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連動している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。再度有効にするには、ホーム画面で  → 「設定」 → 「アプリケーション」 → 「アプリケーション管理」 → 「全てのアプリ」 → 「無効」 → 有効化するアプリをタップ → 「有効」をタップします。

デバイス

項目		説明
サウンドと バイブ	サウンド モード	サウンド、バイブ、サイレントから選択します。
	着信時にバイブ	→ P.326
	音量	→ P.324
	バイブの強度設定	音声着信や通知などのバイブレーションの強弱を調節します。
	着信音	→ P.325
	バイブパターン	→ P.325
	通知音	→ P.325、→ P.326
	タッチ操作音	→ P.326
	画面ロック音	→ P.326
	GPS通知	→ P.326
	充電時の音	→ P.326
	タッチ操作バイブ	→ P.326

項目		説明
サウンドと バイブ	ダイヤル キーパッド 音	→ P.326
	キーボード 音	→ P.326
	キーボード バイブ	→ P.326
	音質とエ フェクト	お好みの音質にカスタマイズしたり、サウンドエフェクトを設定したりします。
通知		通知を受信するアプリを設定します。
通知をミュート		→ P.327
ディスプレ イ	明るさ	→ P.328
	フォント	アプリの画面に表示される文字サイズやフォントスタイルを設定します。
	アイコンの 背景	ホーム画面やアプリ画面でアイコンに背景をつけて表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ホーム画面が docomo LIVE UX 以外の場合に設定できます。

項目		説明
ディスプレイ	画面のタイムアウト	画面の表示が消えるまでの時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定時間が近づくと画面が少し暗くなります。
	スマートステイ	画面を見ている間は表示が消えないように設定します。
	ナイトクロック	メイン画面がOFFのときに、エッジスクリーンに時計を表示するかどうかを設定します。
	画面モード	画面のコントラストを設定します。
	LEDインジケーター	充電時や録音時、通知を受信したときなどにLEDが点灯するように設定できます。
	画面OFFの状態を維持	端末がポケットやバッグの中などの暗い場所にあるときに、画面を誤ってONにしないようにします。
	スクリーンセーバー	→ P.328
エッジスクリーン		→ P.100
高度な機能		→ P.69

本端末から鳴る音を消す

マナーモード（バイブ、サイレント）に設定すると、着信音や通知音などが鳴らなくなります。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「サウンドとバイブ」 → 「サウンドモード」

2 「バイブ」 / 「サイレント」

お知らせ

- マナーモード（バイブ、サイレント）設定中に「音量」の「着信音」（P.324）を変更すると、マナーモード（バイブ、サイレント）が解除されます。

各種音量を調節する

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「サウンドとバイブ」 → 「音量」

- 音量バーが表示されます。

項目	説明
着信音	電話着信時の着信音量を調節します。
メディア	音楽などの再生音量を調節します。
通知	通知 (P.96) があったときの通知音量を調節します。
システム	タッチ操作音や画面ロック／ロック解除時、GPS 起動時の音などの音量を調節します。

2 各音量の を左右にドラッグ

■ 音量キーで着信音の音量を調節する

1 音量UPキー／音量DOWNキーを押す

着信／通知を音や振動で知らせる

電話着信時や通知時に鳴らす着信音／通知音のメロディなどを設定したり、本端末を振動させるかどうかを設定します。

■ 着信音を設定する

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「サウンドとバイブ」 → 「着信音」

2 設定したい電話着信音をタップ

- ・ 「サイレント」を選択すると、電話着信音は鳴りません。
- ・ 「システムメモリ（本体）から追加」をタップすると、着信音を検索して追加できます。

■ 通知音を設定する

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「サウンドとバイブ」 → 「通知音」

2 「標準通知音」 → 設定したい通知音をタップ

- ・ 「サイレント」を選択すると、通知音は鳴りません。

■ バイブレーションのパターンを設定する

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「サウンドとバイブ」 → 「バイブパターン」

2 設定したいバイブパターンをタップ

お知らせ

- マナーモードが設定されていないときに「着信時にバイブ」をONにすると、着信時に着信音とバイブレーションが鳴動します。「着信時にバイブ」をOFFにすると、着信音のみ鳴ります。
- SMS、Sプランナー、Eメールの通知音とバイブは個別に設定できます。

システムの音や振動を設定する

操作時に音を鳴らすかどうかを設定したり、本端末を振動させるかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「サウンドとバイブ」 → 「タッチ操作音」 / 「画面ロック音」 / 「GPS通知」 / 「充電時の音」 / 「タッチ操作バイブ」 / 「ダイヤルキーパッド音」 / 「キーボード音」 / 「キーボードバイブ」

通知を消音する

選択した例外を除いて、着信音や通知音、アラーム音を鳴らさないようにしたり、通知を表示しないようにしたり設定します。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「通知をミュート」

2 「今すぐ有効化」

お知らせ

- 「今すぐ有効化」をONにすると、SMSのポップアップ表示もOFFになります。
- 通知を消音する時間帯を設定するには、「予定時刻に有効にする」をONにして、「曜日」、「開始時刻」、「終了時刻」を設定します。

ディスプレイの明るさを調整する

初期状態では、ディスプレイの明るさは周囲の明るさにあわせて自動的に調整されるように設定されています。自動で調整を行わない場合は、以下の操作を行います。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ディスプレイ」 → 「自動」のチェックを外す
- 2  を左右にドラッグ

スクリーンセーバー

充電中に表示するスクリーンセーバーのON / OFF、種類を設定します。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ディスプレイ」 → 「スクリーンセーバー」
- 2 
- 3 「色」 / 「Google フォト」 / 「フォトテーブル」 / 「フォトフレーム」
 - 「Google フォト」 / 「フォトテーブル」 / 「フォトフレーム」を選択した場合は、 をタップし、表示する画像が保存されているフォルダにチェックを付ける →  をタップしてください。
- 4 「その他」 → 「使用するタイミングを選択」 → 「ドック接続時」 / 「充電時」 / 「ドック接続時 / 充電時」
 - 2016年3月現在、日本国内で本端末に対応しているドックはありません。

パーソナル

項目		説明
ドコモのサービス/クラウド	dアカウント設定	ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報（指紋）を利用したdアカウント認証の設定もできます。
	ドコモクラウド	ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
	ドコモアプリ管理	定期アップデート確認などを設定します。
	おすすめアプリ通知	通知設定や通知履歴などの確認ができます。
	ドコモアプリパスワード	ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。 ・ 初期状態では「0000」に設定されています。
	オートGPS	オートGPSの設定や、測位した場所の履歴を表示します。

項目		説明
ドコモのサービス／クラウド	ドコモ位置情報	イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチ／ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
	遠隔初期化	遠隔操作による端末内データなどを初期化するサービスを利用するための設定を行います。
	おまかせロック	おサイフケータイ機能を遠隔でロックするサービスを利用するための設定を行います。
	プロフィール設定	ドコモの各種サービスで利用するお客様のプロフィール情報を、確認・変更できます。
	ドコモサービス初期設定	端末を利用するためのサービス設定などを一括して行います。
	USBデバッグ切替	ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定を行います。
	オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。
壁紙		壁紙を設定します。

項目		説明
テーマ		テーマをダウンロードして設定します。
ロック画面とセキュリティ	画面ロックの種類	→ P.338
	情報およびアプリのショートカット ^{*1}	→ P.340
	ロック画面の通知	ロック画面に各アプリの通知を表示するかどうか、また通知するアプリを設定します。
	安全ロック設定 ^{*1}	自動的にロック、電源キーですぐにロックなど安全ロック機能を設定します。
	指紋認証	→ P.77
	端末リモート追跡サービス	遠隔操作で端末の追跡や管理をします。詳細については、Find My Mobile（端末リモート追跡）のホームページをご参照ください。→ P.341、P.342
提供元不明のアプリ	Google Playで提供されるアプリ以外のアプリのインストールを許可するかどうかを設定します。	

項目		説明	
ロック画面とセキュリティ	暗号化されたデータを保護	<p>本端末内のデータ（アプリ、ファイルなど）を暗号化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 端末の暗号化には時間がかかります。十分に充電された状態で充電しながら開始し、暗号化が完了するまで本端末の充電を継続してください。 • 暗号化を解除する場合は、「工場出荷状態に初期化」(P.337) を実行してください。 	
	その他のセキュリティ設定	SIMカードロックを設定	→ P.346
		パスワードを表示	パスワードの入力画面で、入力した文字を表示するかどうかを設定します。
		セキュリティポリシー更新	更新して本端末のセキュリティを向上させます。

項目		説明	
ロック画面とセキュリティ	その他のセキュリティ設定	セキュリティレポートを送信	セキュリティ脅威を分析するため、Wi-Fi経由でセキュリティレポートを送信します。
		デバイス管理機能	デバイス管理機能を有効にするかどうかを設定します。
		ストレージの種類	認証情報ストレージのバックアップ先を表示します。
		セキュリティ証明書を表示	セキュリティ証明書を表示します。
		ユーザー証明書	ユーザー証明書を表示します。
		ストレージからインストール ※2	システムメモリ（本体）から証明書のインストールを行います。
		証明書を消去	VPNの設定情報など、すべての証明書データとパスワードを削除します。

項目		説明	
ロック画面とセキュリティ	その他のセキュリティ設定	トラストエージェント ^{*1}	信頼できる端末が接続されると、選択した操作を実行します。
		アプリ固定モード	端末の画面に特定のアプリを固定できるようにするかどうかを設定します。
		使用履歴へのアクセス	アプリに端末の使用履歴の読み取りを許可するかどうかを設定します。
		通知へのアクセス	アプリに通知の読み取りを許可するかどうかを設定します。
		[通知をミュート]の管理アプリ	「通知をミュート」の設定を変更する権限を持つアプリを表示します。

項目		説明
プライバシーと安全	位置情報	→ P.275
	アプリの権限	本端末の情報に対してアクセスまたは修正を許可するアプリを管理します。
	プライベートモード	パーソナルコンテンツを非表示にします。 <ul style="list-style-type: none"> このモードを使用するには、ロック解除方法を選択します。
	診断情報を報告	本端末の診断および使用状況データの送信について、同意・許可の確認を行います。
	SOSメッセージを送信	緊急メッセージを送信できるようにするかどうかを設定します。
かんたんモード	シンプルなホーム画面レイアウトとアプリ操作で、簡単に使用できるようにします。 <ul style="list-style-type: none"> 簡単な操作に切り替えるアプリを選択することもできます。 	
ユーザー補助	→ P.348	
アカウント	→ P.355	

項目		説明
バックアップとリセット	データのバックアップ (Galaxy アカウント)	Galaxy アカウントを使用して、ユーザー補助設定やメッセージなどをバックアップします。
	復元	Galaxy アカウントを使用して、バックアップデータを復元します。
	データのバックアップ (Google アカウント)	Google アプリの設定やデータなどを Google サーバーにバックアップします。
	バックアップアカウント	バックアップするアカウントを設定します。
	自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップした設定およびデータを復元するように設定します。
	自動再起動	設定された時刻に自動的に再起動するかどうかを設定します。
	設定をリセット	セキュリティ、言語およびアカウント設定を除き、本端末を工場出荷時の状態にリセットします。

項目		説明
バックアップとリセット	ネットワーク設定をリセット	Wi-Fi、モバイルデータ、Bluetoothなどのネットワーク設定をリセットします。
	工場出荷状態に初期化	本端末を初期状態にリセットします。

- ※1 「画面ロックの種類」によって表示が異なります。
- ※2 インストールした証明書を削除する場合は、「証明書を消去」をタップし、認証情報ストレージから削除する必要があります。「証明書を消去」では認証情報ストレージ内のすべての証明書が削除されます。

お知らせ

- ドコモサービスで表示されるアプリの中には無効化設定できるものがあり、無効化設定されたアプリは、ドコモサービスの一覧には表示されなくなる場合があります。
- 新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすることで、ドコモサービスの一覧に項目が追加表示される場合があります。

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックの解除時に、あらかじめ設定しておいたロック解除パターンやPIN、パスワードをタッチスクリーンで入力したり、指紋認証などをしなければならないように設定できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ロック画面とセキュリティ」 → 「画面ロックの種類」
- 2 画面ロックの解除方法を選択 → 画面の指示に従って入力
 - 「PIN」は4～16桁の数字、「パスワード」はアルファベットを含む4～16桁の文字で設定してください。
 - ロック画面への通知情報の表示のしかたを設定する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作します。

お知らせ

- 画面ロックをOFFにするには、ホーム画面で  → 「設定」 → 「ロック画面とセキュリティ」 → 「画面ロックの種類」 → 設定した解除方法を入力 → 「なし」 をタップします。
- 解除パターンやPIN、パスワードの入力、または指紋の認証に5回失敗すると、30秒後に再度実行するようメッセージが表示されます。
解除パターンを忘れた場合は、再入力の画面で「バックアップPIN」をタップしてパターン設定時に入力したバックアップPINを入力します。
 - PINやパスワード、バックアップPINを忘れた場合は、パソコンからFind My Mobile（端末リモート追跡）のホームページにアクセスし、「画面のロック解除」を実行すると画面ロックを解除できます。詳細については、Find My Mobile（端末リモート追跡）のホームページをご参照ください。→ P.356
 - 指紋が正しく認証されない場合は、「バックアップパスワード」をタップして、指紋登録時に入力したバックアップパスワードを入力しても、画面ロックを解除することができます。

ロック画面に表示する情報を設定する

ロック画面に表示する情報を設定できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ロック画面とセキュリティ」 → 「情報およびアプリのショートカット」

2 項目を設定

項目	説明
デュアル時計	ローミング時、ロック画面にデュアル時計を表示するかどうかなどを設定します。
オーナー情報	ロック画面にオーナー情報を表示するかどうかを設定します。また、表示するオーナー情報を入力します。
アプリのショートカット	ロック画面に表示させるアプリのショートカットを設定します。 <ul style="list-style-type: none">• ホーム画面が「TouchWizホーム」、 「TouchWizかんたんホーム」の場合に反映されます。

リモート機能を有効にする

遠隔で本端末のロック、位置確認とデータの削除ができる機能です。

1 Galaxyアカウントの設定を行う

- 画面の指示に従って設定します。
- 既存のGalaxyアカウントがある場合は、サインインしてください。

2 ホーム画面で → 「設定」 → 「ロック画面とセキュリティ」 → 「端末リモート追跡サービス」 → 「リモートコントロール」※

- Galaxyアカウントのパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力 → 「確認」をタップします。
- 説明画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

3 パソコンでFind My Mobile（端末リモート追跡）のホームページを開く

- Find My Mobile（端末リモート追跡）のホームページについては、「Galaxyアカウントについて」をご参照ください。→ P.356

4 Galaxyアカウントでログイン後、画面の指示に従って設定を行う

※ Galaxyアカウントが登録されると、「リモートコントロール」は自動でONになるため、本端末での操作は不要となります。パソコンで手順3 から実施してください。

SIM変更アラートを有効にする

ドコモ nanoUIMカードが差し替えられたときに、本端末固有の情報が指定した電話番号にSMSで自動的に送信されるように設定できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ロック画面とセキュリティ」 → 「端末リモート追跡サービス」
- 2 Galaxy アカウントを設定
 - 画面の指示に従って設定します。
 - 既存の Galaxy アカウントがある場合は、サインインしてください。
 - Galaxy アカウントを設定済みで、Galaxy アカウントのパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力 → 「確認」をタップします。
- 3 「SIM変更アラート」 → 
- 4 SMSに表示されるメッセージを入力
- 5 SMSの送信先電話番号を入力
 - 先頭に「+」、続いて送信先の国番号を入力後、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。
 - 日本の国番号は「81」です。
 - 「連絡先」をタップすると、登録済みの連絡先などから送信先を選択できます。
- 6 「保存」

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使って、本端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用PIN / パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード(PUK) は、「●」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモ nanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモ nanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ 画面ロック用PIN / パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となるように設定できます。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使用できなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」(PUK)を入力してロックを解除してから、PINコードの再設定を行ってください。
PINロック解除コード(8桁)を入力 → 「OK」 → 新しいPINコードを入力 → 「OK」 → 再度新しいPINコードを入力 → 「OK」をタップします。
- 機内モード設定中はPINコード入力画面が表示されず、機内モードを無効にしたときにPINコード入力画面が表示されます。機内モード設定中はドコモnanoUIMカードを本端末に取り付ける、または本端末の電源を入れるときにPINコード入力画面は表示されません。

■ PINロック解除コード (PUK)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

PINコードを設定する

本端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ロック画面とセキュリティ」 → 「その他のセキュリティ設定」 → 「SIMカードロックを設定」 → 「SIMカードをロック」 → PINコードを入力 → 「OK」
 - ・ 「SIMカードをロック」 がONになります。

PINコードを変更する

「SIMカードをロック」(P.346) を設定している場合に、PINコードを変更できます。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ロック画面とセキュリティ」 → 「その他のセキュリティ設定」 → 「SIMカードロックを設定」
- 2 「SIMカードのPINを変更」 → 画面の指示に従って現在のPINコードと新しいPINコードを入力

アプリのアクセス権限を設定する

本端末の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

許可してアクセス権限を付与すると、アプリ／機能は該当する機能や情報を利用できるようになります。

(例) 撮影した静止画や動画を閲覧するためにギャラリーを初めて起動した場合

1 ホーム画面で  → 「ギャラリー」

2 「日時」をタップ → 「カテゴリ」

- ・ カレンダーへのアクセスを許可するかどうかのメッセージが表示されます。

3 「許可しない」 / 「許可」をタップ

お知らせ

- ・ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ・ 権限の設定を変更するには、ホーム画面で  → 「設定」 → 「アプリケーション」 → 「アプリケーション管理」 → 設定を変更するアプリをタップ → 「権限」 → 変更する権限の  をタップします。

ユーザー補助

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ユーザー補助」

2 項目を設定

項目		説明
視覚	Voice Assistant	ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。
	Voice Assistant ヘルプ	タッチ操作の練習やチュートリアルを行います。 • 「Voice Assistant」をONにすると使用できます。
	画面の情報を保護	プライバシー保護のため、画面を常にOFFの状態にします。 • 「Voice Assistant」をONにすると設定できます。 •  (電源/画面ロックキー) を2回押して本機能の有効/無効を切り替えられます。
	高速キー入力	指を離すと選択した文字を入力するように設定できます。 • 「Voice Assistant」をONにすると設定できます。

項目		説明
視覚	パスワードの音声出力	Voice Assistantを利用して、入力したパスワードを音声で読み上げるかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 「Voice Assistant」をONにすると設定できます。
	テキスト読み上げ	テキスト読み上げの設定をします。
	ユーザー補助ショートカット	簡単な操作でユーザー補助機能を利用できるようにするかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 音が聞こえるか振動が感じられるまで \square (電源/画面ロックキー) を1秒以上押して、その後音声が出るまで2本の指で画面をロングタッチし続けるとユーザー補助機能を利用できるようになります。
	ボイスラベル	NFCタグに音声録音を書き込み、周囲の対象物に関する情報を提供します。
	文字サイズ	画面の文字サイズを設定します。
	高コントラストフォント	フォントの色および輪郭を調整します。
	高コントラストキーボード	キーボードのサイズを調整してキーボードの色を変更します。

項目		説明
視覚	ボタンを強調して表示	ボタンを影付き表示にします。
	ルーペウィンドウ	画面上のコンテンツを拡大表示します。
	拡大ジェスチャー	画面の拡大操作を設定します。
	グレースケール	画面のカラーをグレースケールにします。
	ネガポジ反転	画面のカラーを反転します。
	色の調整	色覚テストを行い、ディスプレイ表示を最適な色に調整します。
聴覚	音を検出して通知	ドアチャイムまたは赤ちゃんの泣き声を検出すると、振動で通知するように設定します。
	フラッシュ通知	通知情報があるときにライトを点滅して知らせるかどうかを設定します。
	全ての音をOFF	受話音声を含む、すべての音をOFFに設定します。
	Galaxy字幕 (CC)	字幕の表示方法を設定・確認します。
	Google字幕 (CC)	

項目		説明
聴覚	左右のサウンドバランス	イヤホンを使用してメディアプレイヤーで音楽を聴くときの左右のサウンドバランスを設定します。
	モノラル再生	モノラルイヤホンで聴きやすくするために、オーディオをモノラルに変更します。
操作と制御	ユニバーサルスイッチ	カスタマイズしたスイッチで本端末をコントロールします。
	アシスタントメニュー	手先が不自由なユーザーのために、本端末のユーザー補助を向上させる機能を有効にします。
	かんたんに画面をON	上向きに置いた本端末の上に手をかざすだけで画面をONにできるように設定します。
	長押しの調整	タッチパネルがロングタッチを感知する時間を設定します。

項目		説明
操作と制御	入力操作制御	<p>モーションや画面タイムアウトを有効／無効にしたり、タッチ操作ができる範囲を設定したりします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機能を有効にして動作を設定するには、音量DOWNキーと  (ホームキー) を同時に長押しし、画面の指示に従って操作してください。 「分割画面表示」(P.113) を使用中の場合は、本機能を有効にできません。 本機能を有効にすると、「自動回転」(P.72) が自動的にOFFになります。
スワイプコンビネーションロック		スワイプ方向の組み合わせで画面のロックを解除します。
ダイレクトアクセス		 (ホームキー) をすばやく3回押してユーザー補助機能を設定／解除できるようにします。
通知リマインダー		SMSやEメールなどの未読通知があるときにバイブまたはサウンドで通知するかどうかとその通知間隔を設定します。
通話応答／終了		かかってきた電話に出る操作方法を追加したり、  (電源／画面ロックキー) を押して電話を切ることができるように設定したりすることができます。

項目	説明
シングルタップモード	着信に応答／拒否、アラームの停止／スヌーズなどの動作を、ドラッグの代わりにタップ操作で行うかどうかを設定します。
ユーザー補助を管理	<p>インポート／エクスポート：ユーザー補助設定をファイルとして保存（エクスポート）したり、保存済みファイルをインポートしてユーザー補助設定を更新したりします。</p> <p>共有：ユーザー補助設定ファイルをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth 機能やメールなどで送信したりします。</p>

お知らせ

- 「Voice Assistant」の使用を許可すると、クレジットカード番号などの個人情報、ユーザーインターフェイスでのやりとりなども記録されますので、ご注意ください。万が一、登録されたデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 「Voice Assistant」の使用を許可すると、タッチガイド機能も有効になります。タッチガイドとは、指の位置にあるアイテムの説明を読み上げたり表示したりする機能です。タッチガイド機能をONにすると、項目の選択は一度タップして選択してからダブルタップ、スクロールは2本の指での操作になります。
- ホーム画面が docomo LIVE UX のときに、「Voice Assistant」が正常に動作しないことがあります。

アカウント

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「アカウント」

項目	説明
docomo	あらかじめ docomo のアカウントが登録されています。
アカウント追加	→ P.355

アカウントを設定する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「アカウント」 → 「アカウント追加」
- 2 追加したいアカウントの種類をタップ
- 3 画面の指示に従って設定
 - Facebook などログインが必要なオンラインサービスの場合は、メールアドレスやパスワードなどを入力して「ログイン」などをタップします。

お知らせ

- 登録済みのアカウントを修正する場合は、アカウントを削除してから登録し直してください。
- 同期させる項目を変更するには、ホーム画面で  → 「設定」 → 「アカウント」 → アカウントの種類をタップ → 変更するアカウントをタップ → 同期させる項目のみ ON にします。
- 手動で同期させる場合は、ホーム画面で  → 「設定」 → 「アカウント」 → アカウントの種類をタップ → 同期するアカウントをタップ → 「その他」 → 「今すぐ同期」をタップします。

Galaxyアカウントについて

Galaxyアカウントを設定すると、SIM変更アラートを設定できるようになります。また、Find My Mobile（端末リモート追跡）を利用して本端末をリモートコントロールしたり、本端末とGalaxyアカウントとの間でデータを同期したりすることができます。

- Galaxyアカウントは、ホーム画面で  → 「設定」 → 「アカウント」 → 「アカウント追加」 → 「Galaxyアカウント」をタップして、画面の指示に従って設定します。
- Find My Mobile（端末リモート追跡）の詳細については、以下のホームページをご覧ください。
<http://findmymobile.samsung.com/login.do>

お知らせ

- Galaxyアカウントに設定したパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。また、パスワードを忘れた場合は、「ヘルプ」 → 「IDまたはパスワードを忘れた場合」をタップして、画面の指示に従って操作してください。

アカウントを削除する

登録したアカウントを削除すると、本端末に保存されたアカウントのデータ（メッセージや連絡先、設定など）も削除されます。

- ・ サーバーに保存されたデータは削除されません。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「アカウント」
→ アカウントの種類をタップ

2 削除したいアカウントをタップ → 「その他」 → 「アカウントを削除」 → 「アカウントを削除」

- ・ パスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。

お知らせ

- ・ 登録されているアカウントによっては、削除できない場合があります。削除するには、「工場出荷状態に初期化」(P.337) を実行してください。

システム

項目		説明
言語と 文字入 力	言語	使用する言語を設定します。
	標準キーボード	入力方法を設定します。
	Galaxy日本語キーボード	→ P.85
	ドコモ文字編集	→ P.87
	Google音声入力	→ P.87
	テキスト読み上げ	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。
	ポインター速度	マウス/トラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。
バッテリー		→ P.361
ストレージ		→ P.363

項目		説明
日付と時刻	自動日時設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正します。初期状態では自動的に補正されるように設定されています。
	日付設定 ^{**}	日付を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 日付を手動で設定するには、「自動日時設定」をOFFにしてから設定を行います。
	時刻設定 ^{**}	時刻を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 時刻を手動で設定するには、「自動日時設定」をOFFにしてから設定を行います。
	タイムゾーンを選択	タイムゾーンを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> タイムゾーンを手動で設定するには、「自動日時設定」をOFFにしてから設定を行います。
	24時間形式を使用	時刻を24時間表記に切り替えます。

項目		説明
端末情報	更新を手動でダウンロード	→ P.428
	更新を自動的にダウンロード	→ P.428
	ソフトウェアの更新予約	→ P.428
	ステータス	電話番号やIMEI情報などを表示します。
	法定情報	オープンソースライセンス：オープンソースの使用許諾条件を確認します。 Google利用規約：Googleの利用規約を確認します。 システムのWebViewライセンス：WebViewライセンスを確認します。 壁紙：壁紙の提供元を表示します。 Samsung規約：エンドユーザーライセンス契約を確認します。
	デバイス名称	本端末の名称を確認／変更します。
	認証情報	本端末の認証情報を表示します。
	モデル番号	型番を確認します。

項目		説明
端末情報	ソフトウェア情報	Androidのバージョンなどを確認します。
	バッテリー情報	本端末のバッテリー残量、FCC IDなどを表示します。

※ 日付・時刻情報が自動的に補正されることがあります。

バッテリー

電池使用量データや電池残量、省電力モードに関する設定、大量のバッテリーが消費されたときの情報などを表示します。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「バッテリー」
- 2 項目を設定

項目	説明
バッテリー残量	充電していないときに、電池残量がパーセント表示されます。
推定残り充電時間	充電しているときに、充電完了までの推定時間が表示されます。ただし、低温または高温の環境で充電した場合、充電完了までの推定時間が表示されない場合があります。

項目		説明
バッテリーの使用量		<p>バッテリーの使用量を表示したり、バッテリーをどのアプリが消費しているか確認したりできます。また、アプリごとにバッテリー使用量を最適化できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バッテリー使用量の最適化の設定を変更するには、「その他」→「バッテリー使用量を最適化」→「非最適化アプリ」→「全てのアプリ」で設定を変更するアプリを選択します。
省電力モード	省電力モードを開始	省電力モードを開始するタイミングを設定します。
ウルトラ省電力モード		画面表示を白黒階調に変更し、使用可能なアプリの数の制限やWi-Fi、Bluetoothなどの接続機能の停止により電池の消費を抑えます。
アプリを省電力化		<p>アプリのバッテリー使用量を最適化して、バッテリーの消費量を抑えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「詳細」→「その他」をタップすると、自動省電力化するまでの期間の変更などができます。
急速ケーブル充電		より速くバッテリーを充電するかどうかを設定します。

ストレージ

本端末のメモリ容量の確認をします。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「ストレージ」
- 2 項目を確認／設定

項目		説明
システム メモリ (本体)	合計容量	本端末の合計データ容量を表示します。 「使用中の容量」をタップすると、アプリや画像など保存されているデータの容量がカテゴリごとに表示されます。 項目をタップすると、データを確認できます。

お知らせ

- 本端末にUSBストレージを取り付けると、対応する項目が表示されます。

自分の電話番号を確認する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「端末情報」 → 「ステータス」 → 「SIMカードの状態」
 - 「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

ファイル管理

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

本端末の初期状態で、本体（内部ストレージ）に作成される主なフォルダは以下のとおりです。

- 本端末の操作状況によっては、表示されるフォルダが異なる場合があります。

項目	説明
Android	システムや各種アプリの設定データや一時ファイルなどが保存されます。
Ringtones	着信音として設定したい音楽データなどを保存します。
Podcasts	ポッドキャストデータが保存されます。
Pictures	画像データなどを保存します。
Notifications	通知音として設定したい音楽データなどを保存します。
Music	音楽データが保存されます。
Movies	動画データが保存されます。
Download	ブラウザでダウンロードしたデータが保存されます。

項目	説明
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画や表示中の画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）した画像のデータが保存されます（保存先を本端末に設定している場合）。
Alarms	アラーム音として設定したい音楽データなどを保存します。
Samsung	Galaxy 関連サイトから取得したデータが保存されます。

お知らせ

- ・「Alarms」／「Notifications」／「Ringtones」フォルダに保存したデータを削除したとき、アラーム音や通知音、着信音に設定している場合は、初期状態の設定に戻ります。

ファイル操作

ファイルやフォルダの操作

「マイファイル」を利用して、本端末やクラウドストレージ上に保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や管理を行えます。

- フォルダによっては、名前の変更や削除などの操作ができないものがあります。

- 1** ホーム画面で  → 「マイファイル」
- 2** 利用したい項目をタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
 - フォルダ／ファイルをロングタッチするとチェックが付き、項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 3** 利用したいファイルをタップ
 - ファイルが表示／再生されます。

ショートカットを作成する

- 1 ホーム画面で  → 「マイファイル」
- 2 「システムメモリ（本体）」
- 3 登録したいフォルダを選択 → 「その他」 → 「ショートカットを追加」

ショートカットを削除する

- 1 ホーム画面で  → 「マイファイル」
- 2 削除したいフォルダのショートカットをタップ → 「その他」 → 「ショートカットを削除」

フォルダを作成する

- 1 ホーム画面で  → 「マイファイル」
- 2 フォルダのショートカットをタップ、または「システムメモリ（本体）」 → 目的のフォルダをタップ
- 3 「その他」 → 「フォルダ作成」 → フォルダ名を入力 → 「作成」

ファイルやフォルダの名前を変更する

- 1 ホーム画面で  → 「マイファイル」
- 2 フォルダのショートカットをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
- 3 フォルダ／ファイルをロングタッチ → 「その他」 → 「名前を変更」 → 名前を入力 → 「名前を変更」

ファイルやフォルダを削除する

- 1 ホーム画面で  → 「マイファイル」
- 2 フォルダのショートカットをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
- 3 フォルダ／ファイルをロングタッチ → 「削除」 → 「削除」

ファイルやフォルダを移動／コピーする

- 1 ホーム画面で  → 「マイファイル」
- 2 フォルダのショートカットをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
- 3 フォルダ／ファイルをロングタッチ → 「その他」 → 「移動」 / 「コピー」
- 4 移動先のフォルダを表示 → 「完了」

マイファイルのメニュー

ショートカット一覧画面、フォルダ／ファイル一覧画面で「その他」をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

データ検索

- 1 ショートカット一覧画面、フォルダ／ファイル一覧画面で「検索」
- 2 ファイル名や拡張子などを入力 → 
 - 検索されたファイルが一覧表示されます。

データ通信

Bluetooth通信

本端末とBluetoothデバイス間で、無線でデータのやりとりができます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」(P.431)をご参照ください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書もご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

Bluetooth機能使用時のご注意

1. 本端末と他のBluetoothデバイスとは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が短くなります。
2. 他の機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から約2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず約3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。
3. 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
4. Bluetoothデバイスが発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetoothデバイスの電源を切ってください。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、約20m以上離してください。
2. 約20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth機能のパスコードについて

Bluetooth機能のパスコードは、接続するBluetoothデバイス同士が初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスコード（最大16文字の半角英数字）を入力する必要があります。

- 本端末ではパスコードを「PIN」「パスキー」と表示している場合があります。

Bluetooth機能を有効にして本端末を検出可能にする

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Bluetooth」
- 2 

お知らせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の消耗を防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON / OFF設定は、電源を切っても変更されません。
- 「スキャン」をタップすると他のBluetoothデバイスを再検索します。

他のBluetoothデバイスとペアリング／ 接続する

本端末と他のBluetoothデバイスをBluetooth機能で接続し、データのやりとりを行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（接続設定）を行い、本端末に登録後、接続を行います。

- Bluetoothデバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続までを続けて行うデバイスがあります。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Bluetooth」

2 

- 検出されたBluetoothデバイスが一覧表示されます。
- Bluetoothデバイスが表示されない場合は、「スキャン」をタップして再度検索します。

3 接続したいデバイスをタップ

4 パスコードを確認またはパスコード（PIN）を入力 → 「OK」

- ペアリング時にパスコードが必要なデバイスの場合も一度ペアリングを行うと、次回の接続時にはパスコードの入力は不要になります。

他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「OK」またはパスコード（PIN）を入力 → 「OK」をタップします。

接続を解除する場合

Bluetoothデバイスの一覧表示で、接続中のデバイスをタップします。

ペアリングを解除する

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Bluetooth」
- 2 
- 3 ペアリングを解除したいデバイスの  → 「ペアリングを解除」

Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、検出可能にしてください。

Bluetooth機能でデータを送信する

連絡先（vcf形式の連絡先データ）、静止画、動画などのファイルを、他のBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。

- 送信は各アプリの「共有」「送信」などのメニューから行ってください。

Bluetooth機能でデータを受信する

- 1 「ファイル転送」画面が表示されたら、「承諾」
 - ステータスバーに  が表示され、データの受信が開始されます。
 - 通知パネルで受信状態を確認できます。
 - 受信が完了したら通知パネルを開き、「受信ファイル」をタップすると、受信したデータの一覧が表示されます。表示／再生したいデータをタップすると、受信したデータを確認することができます。

NFC通信

NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。本端末のリーダー／ライター機能(R/W)や機器間通信機能（P2P）を利用して、本端末をNFCタグに近づけてデータを受信したり、NFCモジュールを搭載した他の機器とデータの送受信をしたりすることができます。

- ・ 対向機にかざす際の注意事項については、P.224をご覧ください。

NFCのReader / Writer, P2PをONにする

NFCを搭載した携帯電話などの機器との間でデータを送受信するには、Reader / Writer, P2P機能をONにする必要があります。

- ・ 「Android Beam」をONにすると、P2P機能を搭載した他の対応端末との間で、ウェブページや連絡先などのコンテンツを送受信できます。

1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「NFC / おサイフケータイ 設定」 → 「Reader/Writer, P2P」

- 2** 
- ・ Android Beamを利用する場合は、「NFC / おサイフケータイ 設定」画面で「Android Beam」 →  をタップします。

データを送受信する

- 1 本端末／相手機器で送信するコンテンツを表示
- 2 本端末と相手機器の  マークを近づける
- 3 本端末の画面をタップ／相手機器からコンテンツの送信操作を行う
 - コンテンツが送信／受信されます。
 - アプリの選択画面が表示された場合は、利用するアプリを選択してください。

お知らせ

- 本端末と相手機器から同時にコンテンツの送信操作を行うと、送信が正しく動作しない場合があります。
- 画面ロックの設定中は、NFCタグ情報の送受信はできません。
- NFC／おサイフケータイ ロックを設定している場合は、Android Beamを利用できません。
- アプリによってはAndroid Beamをご利用になれません。
- すべてのReader／Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

外部機器接続

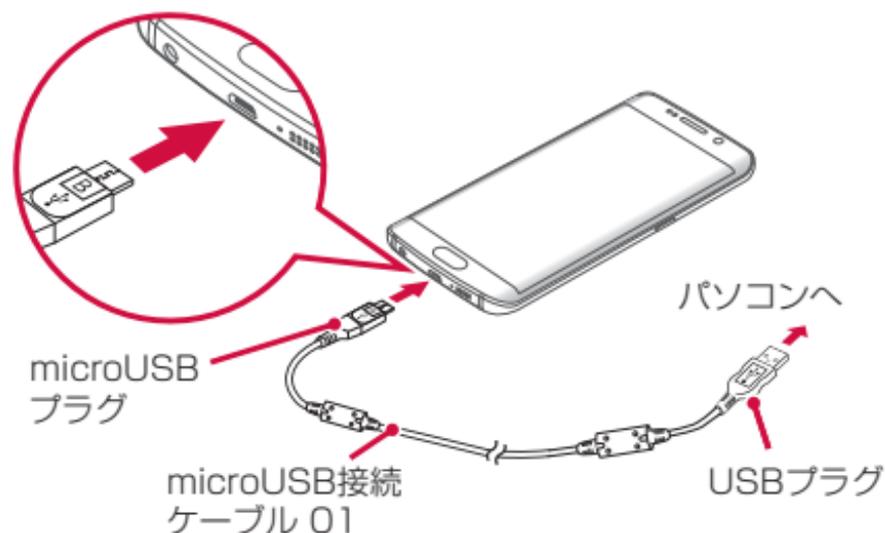
パソコンとの接続

microUSB 接続ケーブルで接続する

本端末とパソコンを microUSB 接続ケーブル 01 (別売) で接続すると、パソコン用 Galaxy Smart Switch (P.378) とデータを同期したり、本端末をメディアデバイスとして認識 (P.379) させたりできます。

- 1 本端末の外部接続端子に、microUSB 接続ケーブル 01 の microUSB プラグを差し込み、本端末をパソコンに接続

- microUSB プラグは、 の印刷面を上にして水平に差し込みます。



お知らせ

- microUSB接続ケーブル 01 のUSBプラグはパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USB HUBやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データ転送中にmicroUSB接続ケーブル 01 を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- 接続可能なOSは、Windows Vista SP2、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10です。

パソコン用Galaxy Smart Switchを利用する

パソコン用Galaxy Smart Switchを利用して、音楽や動画などのメディアファイルや個人情報を管理したり、本端末のソフトウェアを更新したりできます。

ご自分が所有または譲渡する権利を持つコンテンツのみ転送してください。

著作権法の侵害について Samsung Electrics Co., Ltd. は責任を負いかねます。

- パソコン用Galaxy Smart SwitchはGalaxy Smart Switchのホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。ご利用時の注意事項や詳細については、下記のGalaxy Smart Switchホームページをご覧ください。

<http://www.samsung.com/smartswitch>

- 1 本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続**
 - 接続方法については、「microUSB接続ケーブルで接続する」（P.377）をご参照ください。
- 2 パソコンで「Galaxy Smart Switch」を起動**
 - 画面の指示に従って操作してください。

メディアデバイスとして使用する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続すると、本端末がメディアデバイス（MTP）として認識され、音楽や動画などのメディアファイルを転送できます。

- 1 本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01で接続**
 - 接続方法については、「microUSB接続ケーブルで接続する」（P.377）をご参照ください。
- 2 通知パネルを開く → 「メディアデバイスとして接続」と表示されていることを確認**
 - 「カメラとして接続」と表示されている場合は、「カメラとして接続」→ 「メディアファイルを転送」を選択します。
- 3 パソコンを操作して本端末とパソコン間でデータを転送**

カメラデバイスとして使用する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01 (別売) で接続してカメラ (PTP) モードにすると、本端末で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。

- カメラ (PTP) モードは、MTP非対応のパソコンなどにデータを転送する場合に使用します。

- 1** 本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01 で接続
 - 接続方法については、「microUSB接続ケーブルで接続する」(P.377) をご参照ください。
- 2** 通知パネルを開く → 「メディアデバイスとして接続」 → 「画像を転送」 を選択する
- 3** パソコンを操作して本端末とパソコン間でデータを転送

MIDI対応機器と接続する

本端末とMIDI (Musical Instrument Digital Interface) 対応機器を接続ケーブルで接続すると、本端末をMIDIプレーヤーまたは、MIDI対応機器の入力ソースとして使用できます。

- 1** 本端末とMIDI対応機器を接続ケーブルで接続
 - 接続方法や対応する接続ケーブルについては、MIDI対応機器の取扱説明書をご確認ください。
- 2** 通知パネルを開く → 「メディアデバイスとして接続」 → 「MIDI機器に接続」を選択する
- 3** 接続した機器に応じて本端末または接続した機器を操作

プリンターとの接続

Wi-Fi機能やUSB接続を利用して本端末に対応しているプリンターで印刷できます。

- Wi-Fi機能を使用する場合は、あらかじめ無線LAN (Wi-Fi) およびプリンター側の設定を行ってください。
- Wi-Fi機能を使用する場合は、本端末とプリンターは、同一のWi-Fiネットワークに接続されているか、Wi-Fi Directで接続している必要があります。
- USB接続を使用する場合、対応している接続ケーブルにつきましては、プリンターの取扱説明書をご確認ください。
- 使用するプリンターに接続するには、あらかじめプリンターのプラグインをインストールしておく必要があります。

プリンターで印刷する

- 1 印刷可能なアプリの画面で「その他」→「共有」→「印刷」
 - 画面の指示に従って操作してください。

海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応ネットワークについて

本端末は、クラス5になります。LTEネットワーク、3Gネットワーク、GSM / GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz / GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。ご利用可能エリアをご確認ください。

■ 海外でご利用になる前に、以下をあわせてご覧ください

- ドコモのホームページ

お知らせ

- ・ 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

(○：利用可能)

主な通信サービス	3G	3G850	GSM (GPRS)	LTE
電話	○	○	○	× ^{※2}
SMS	○	○	○	○
メール ^{※1}	○	○	○	○
ブラウザ ^{※1}	○	○	○	○

※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をONにしてください (P.387)。

※2 電話は3G、3G850またはGSMでのご利用となります。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。(→ P.96)

海外でご利用になる前に

出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

事前設定

■ ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作（有料）」の設定を行うこともできます。日本国内から（P.175）、海外から（P.394）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

「ネットワークオペレーター」の設定を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

■ データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定を「ON」にする必要があります。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「モバイルネットワーク」
- 2 「データローミング」 → 注意画面の内容を確認して「OK」

■ 通信事業者の設定

初期状態では、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「モバイルネットワーク」 → 「ネットワークオペレーター」 → 「ネットワークを検索」
 - 利用可能なネットワークが表示されます。
 - 情報画面が表示された場合は「OK」をタップします。
 - ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、「モバイルデータ」をOFFにして再度実行してください。(P.311)
- 2 通信事業者のネットワークを選択

お知らせ

- 手順1で、「自動選択」をタップすると、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定を戻せます。

■ ネットワークモードの設定

- 1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「モバイルネットワーク」 → 「ネットワークモード」
- 2 「LTE／3G／GSM(自動接続)」／「LTE／3G」／「3G／GSM」／「3Gのみ」／「GSMのみ」

■ 日付と時刻について

「日付と時刻」の「自動日時設定」がONになっている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われなかった場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは、海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」(P.359)

■ お問い合わせについて

- 本端末やドコモ nanoUIM カードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国外から他の国へ電話をかけることができます。

- ・ 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で  → 「ダイヤル」

2 +（「0」をロングタッチ）→ 国番号 → 地域番号（市外局番）→ 相手の電話番号を入力

- ・ 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

3  → 「<国名>へ発信」／「そのまま発信」

- ・ 上記の<国名>には、「国際ダイヤルアシスト」の「国番号」で設定した国名が表示されます。例えば、「日本（JPN）」（+81）の場合には「日本（JPN）へ発信」と表示されます。

4 通話が終了したら 

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

- 1 ホーム画面で  → 「ダイヤル」
- 2 相手の電話番号を入力
- 3 
- 4 通話が終了したら 

海外にいる WORLD WING 利用者に電話をかける

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- ・ 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」（日本の国番号）を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

日本国内での操作と同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手を利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 海外での利用時には、「着信ブロック」(P.176)が動作しない場合があります。

相手からの電話のかけかた

- **日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合**
日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
- **日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合**
滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」(日本の国番号)をダイヤルしてもらう必要があります。
発信国の国際アクセス番号-81-90(または80、70)-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定や、国際電話を利用するための設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で  →  → 「通話設定」 → 「海外設定」

2 必要に応じて設定を変更する

項目	説明
<input type="checkbox"/> ローミング時着信規制	ローミング中の着信規制を開始／停止および設定確認ができます。
<input type="checkbox"/> ローミング着信通知	ローミング中の着信通知を開始／停止および設定確認ができます。
<input type="checkbox"/> ローミングガイドンス	ローミングガイドンスを開始／停止および設定確認ができます。

項目		説明
国際ダイヤルアシスト	自動変換機能	自動変換機能のON / OFFを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ONにすると、電話番号の先頭に「+」を入力して発信したときに国際ダイヤルアシスト画面が表示されます。「WORLD CALLで発信」をタップすると、「+」が「国際プレフィックス」で登録した国際アクセス番号に変換されます。
	国番号	国際電話をかけるときの国番号の追加などができます。
	国際プレフィックス	国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号の追加などができます。

項目		説明
ネットワークサービス	遠隔操作(有料)	海外から留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • あらかじめ「遠隔操作設定」(P.175)を開始する必要があります。 • 海外から操作した場合は、利用した国の日本向け通話料がかかります。 • 海外通信事業者によっては、設定できないことがあります。
	番号通知お願いサービス(有料)	
	ローミング着信通知(有料)	
	ローミングガイド(有料)	
	留守番電話サービス(有料)	
	転送でんわサービス(有料)	

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」を「LTE / 3G / GSM (自動接続)」に設定してください (P.388)。
- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください (P.387)。

試供品

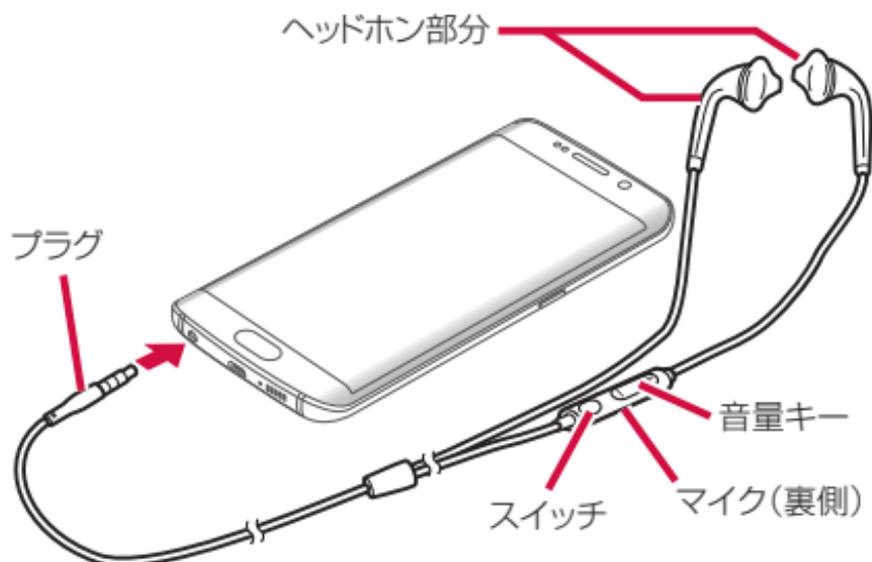
マイク付高音質イヤホン

- 本端末には、マイク付高音質イヤホンを使用してください。他のイヤホンマイクなどを使用した場合、音楽の再生音などが聞こえにくくなる場合があります。
- マイク付高音質イヤホン（試供品）を接続すると、マイク付高音質イヤホンのスイッチを押してかかってきた電話を受けることができます。

ご使用方法

1 マイク付高音質イヤホンのプラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む

- ホーム画面などを表示中にスイッチを押すと、以下の操作ができます。
 - 音楽の再生／一時停止
 - 電話を受ける／終了する
- ホーム画面などを表示中にスイッチを1秒以上押すと、Sボイスを起動して操作することができます。
- 音量キーを押すと、音量を調節できます。
- プラグを奥まで確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。
- マイク付高音質イヤホンのコードが本人や周囲の人、物にからまないよう注意してご使用ください。



- 使い終わったら、プラグを本端末のヘッドホン接続端子から水平に引き抜きます。

■ イヤピースのサイズが合わないときは

マイク付高音質イヤホンには、あらかじめ取り付けられているイヤピース以外に、予備のイヤピースが1種類付属しています。サイズが合わないと感じたときは、交換してください。

マイク付高音質イヤホンで電話を受ける

1 電話がかかってきたら、マイク付高音質イヤホンのスイッチを押す

- 電話がつながると通話ができます。自分の音声は、マイク付高音質イヤホンのマイクから相手に送られます。
- 着信を拒否する場合は、着信中にマイク付高音質イヤホンのスイッチを1秒以上押して離します。

2 通話が終了したら再度スイッチを押す

お知らせ

- 本端末にマイク付高音質イヤホンを接続している場合でも、着信音やアラームは本端末からも鳴ります。
- 着信中にマイク付高音質イヤホンの音量キーを押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。通話中に音量キーを押すと、通話相手の声の音量（通話音量）を調節できます。

主な仕様

コネクタ形状	3.5mmステレオミニプラグ
インピーダンス	32Ω
最大入力	40mW (1.13V)
最大出力	98.5+/- 3dB
長さ	約1260mm
質量	約12.8g

SIM取り出し用ピン

ドコモ nanoUIMカードの取り付け／取り外しを行うときに使用します。

- SIM取り出し用ピンの使用方法に関する詳細は「ドコモ nanoUIMカード」(P.53) をご参照ください。

主な仕様

サイズ	高さ：約32mm 幅：約15.0mm 厚さ：約0.7mm
質量	約0.6g

トラブルシューティング (FAQ)

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください (P.428)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

□ 電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない (本端末が使えない)	<ul style="list-style-type: none">• 電池切れになっていませんか。 → P.59
画面が動かない、電源が切れない	<ul style="list-style-type: none">• 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に ⏏ (電源 / 画面ロックキー) と音量DOWNキーを8~10秒間押すと、強制的に再起動することができます。 ※ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

□ 充電

症状	チェック項目
充電ができない（通知LEDが点灯しない、または点滅する）	<ul style="list-style-type: none">• アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。• アダプタと本端末が正しくセットされていますか。• microUSB 接続ケーブル 01（別売）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。• ワイヤレスチャージャーをご使用の場合、製品に付属されている取扱説明書をご覧ください。• 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して通知LEDが点滅する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

□ 端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	<ul style="list-style-type: none">• 操作中や充電中、また、充電しながらアプリやテレビ視聴などを長時間行った場合などには、本端末やアダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none">• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。• 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。• 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
タッチスクリーンをタップしても動作しない	<ul style="list-style-type: none">• 画面ロックが設定されていませんか。⏻(電源/画面ロックキー) / ○(ホームキー) を押して画面ロックを解除してください。 → P.63、P.338

症状	チェック項目
タッチスクリーンをタップしたときの画面の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> • 本端末に大量のデータが保存されているときなどに起きる場合があります。 • 保護シートが貼られていませんか。保護シートによって動作が認識されにくくなる場合があります。
ドコモ nanoUIMカードが認識されない	<ul style="list-style-type: none"> • ドコモ nanoUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→ P.53
時計がずれる	<ul style="list-style-type: none"> • 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「自動日時設定」が設定されているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。→ P.359

症状	チェック項目
<p>端末動作が不安定</p>	<ul style="list-style-type: none"> • お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード（初期状態に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> - セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から ⓪（電源／画面ロックキー）を2秒以上押し、docomoのロゴが消えた後、音量DOWNキーを押し続けてください。 ※ セーフモードが起動すると画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、通知パネルを開いて「セーフモードが有効」→「今すぐ再起動」をタップしてください。 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 - お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。

症状	チェック項目
<p>本端末の動作が遅くなった／プログラムの動作が不安定になった／一部のプログラムを起動できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本端末のメモリの使用状況を確認し、実行中のプログラムを終了するなどして、メモリの空き容量を確保してください。 → P.134
<p>データが正常に表示されない／タッチスクリーンを正しく操作できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直してください。電源を入れ直しても問題が解決しないときは、「工場出荷状態に初期化」(P.337)を実行すると問題が改善される場合があります。ただし、本端末に保存されたすべてのデータが削除されるため、必要なデータを事前にバックアップした上で実行してください。
<p>アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。→ P.319

□ 通話

症状	チェック項目
電話発信キーをタップしても発信できない	<ul style="list-style-type: none">ドコモ nanoUIMカードが正しく本端末に取り付けられていますか。→ P.53機内モードを設定していませんか。→ P.305
着信音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none">マナーモード（サイレント、バイブ）に設定していませんか。→ P.323「着信音」を「サイレント」にしていませんか。→ P.325「音量」の「着信音」を0にしていませんか。→ P.324「ブロックモード」を「全着信規制」または「ブロックリストの番号」に設定していませんか。→ P.176機内モードに設定していませんか。→ P.305留守番電話サービスの「呼出時間設定」を「0秒」にしていませんか。→ P.174「伝言メモ設定」の「応答メッセージを再生するまでの時間」を「0秒」にしていませんか。→ P.172

症状	チェック項目
<p>通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 電源を入れ直すか、ドコモ nanoUIMカードを取り付け直してください。→ P.53、P.55、P.62 • 電波の性質により、圏外ではない、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 「ブロックモード」を設定していませんか。→ P.176 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。
<p>ネットワークに接続できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 電波の弱い場所で使用していませんか。 • 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→ P.62

□ 画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	<ul style="list-style-type: none">• 「画面のタイムアウト」で設定した時間を経過していませんか。→ P.322• ディ스플레이の明るさを調整していませんか。→ P.328• 省電力モードを設定していませんか。→ P.362• 電池残量が少なくなっていないですか。→ P.361

□ 音声

症状	チェック項目
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	<ul style="list-style-type: none">• 通話音量を変更していませんか。→ P.169、P.398

□ メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	<ul style="list-style-type: none">• 「アカウントを同期」をOFFにいませんか。ONにしてください。→ P.199• 「同期スケジュールを設定」を「手動」に設定していませんか。同期スケジュールを設定してください。→ P.199
添付ファイルが削除されて画像を見ることができない	<ul style="list-style-type: none">• 「受信サイズの制限」を確認してください。→ P.200

□ カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	<ul style="list-style-type: none">• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。• 動画手振れ補正をONにして撮影してください。→ P.266
カメラを起動しようとするときエラーメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none">• 電池残量を確認してください。→ P.361• メモリの空き容量を確認してください。→ P.363• ⏻ (電源/画面ロックキー) を1秒以上押して「再起動」→「再起動」をタップして本端末を再起動してください。

□ テレビ (フルセグ/ワンセグ)

症状	チェック項目
テレビ (フルセグ/ワンセグ) の視聴ができない	<ul style="list-style-type: none">• 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。• エリア情報設定をしていますか。→ P.254• 外付けテレビアンテナケーブル SC02 を接続していますか。→ P.243

□ おサイフケータイ

症状	チェック項目
おサイフケータイが使えない	<ul style="list-style-type: none">• おまかせロックを起動すると、NFC / おサイフケータイ ロックの設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。• NFC / おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→ P.225• 本端末の  マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→ P.224

□ 海外利用

症状	チェック項目
海外で本端末 が使えない	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="360 211 956 294">■ アンテナマークが表示されている場合<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="365 310 956 484">• WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。<li data-bbox="360 508 956 550">■ 圏外が表示されている場合<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="365 566 956 872">• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページで確認してください。<li data-bbox="365 888 956 1293">• ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 「ネットワークモード」を「LTE / 3G / GSM (自動接続)」に設定してください。→ P.388 「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください。→ P.387<li data-bbox="365 1310 956 1433">• 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→ P.62

症状	チェック項目
海外でデータ通信ができない	<ul style="list-style-type: none"> 「データローミング」をONにしてください。→ P.387
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	<ul style="list-style-type: none"> 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス (WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
海外で電話がかかってこない	<ul style="list-style-type: none"> 「ローミング時着信規制」を「規制開始」に設定していませんか。→ P.392
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

□ データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	<ul style="list-style-type: none">• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">• 未対応の画像データの場合は「マイファイル」に  が表示されます。
端末をパソコンに接続しても動作しない	<ul style="list-style-type: none">• Galaxy Smart SwitchまたはWindows Media Player 10以上をパソコンにインストールしてください。

Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetoothデバイスと接続ができない／サーチしても見つからない	<ul style="list-style-type: none">Bluetoothデバイス（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みのデバイスを削除後、再度登録する場合は、デバイスと本端末の双方で登録されているデバイスを削除してから登録してください。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	<ul style="list-style-type: none">相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

□ 地図・GPS機能

症状	チェック項目
オートGPSサービス情報が設定できない	<ul style="list-style-type: none">• 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。「低電力時動作設定」により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「オートGPS」の「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。→ P.57、P.329• 「オートGPS」の「オートGPS動作設定」がOFFになっていませんか。→ P.329

エラーメッセージ

エラー メッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXXは停止しました。 ／プロセス XXXXは停止しました。*	本端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」／「OK」をタップしてから再度操作してください。	—
機内モードがONです。通話するために、機内モードをOFFにしますか？	機内モードを設定した状態で電話をかけようとしたときに表示されます。機内モードを無効にしてから再度操作してください。	P.305
モバイルネットワークは利用できません。	ドコモ nanoUIM カードが正しく取り付けられていません。ドコモ nanoUIM カードが正しく取り付けられていることを確認してください。	P.52
しばらくお待ちください(音声サービス) ／しばらくお待ちください(データサービス)	通話・通信回線においてアクセスが集中しているため、通信規制がかかっているときに表示されます。規制が解除されてから再度操作してください。	—

エラー メッセージ	説明／対処方法	参照先
ビデオコールへの切り替えに失敗しました	ビデオコールへの切り替えができない場合に表示されます。緊急通報中や音声ガイダンス中、通話相手がキャッチホンを使用している場合、Xiエリアの圏外で通話している場合などは、切り替えができません。	P.157 P.159
ビデオコールへの切り替え要求は拒否されました。	通話相手がビデオコールへの切り替えを拒否した場合などに表示されます。	P.165
音声通話への切り替えに失敗しました	通信エラーなどにより、ビデオコールから音声通話への切り替えができない場合に表示されます。しばらく時間をおいてから操作をやり直してください。	P.158
発信できませんでした。	ビデオコールの発信ができない場合に表示されます。Xiエリア圏内であることや、通話モード設定、モバイルネットワークの設定などを確認してください。	P.157 P.176 P.298

エラー メッセージ	説明／対処方法	参照先
通話接続中のため設定できません	通話中に通話モード設定を変更しようとしたときに表示されます。通話を終了してから設定してください。	P.176
ドコモ以外のネットワークに接続しているため、設定できませんでした	ドコモ以外のネットワークに接続しているときに通話モード設定を変更しようとした場合に表示されます。ドコモのネットワークに接続してください。	P.176
圏外のため設定できませんでした	圏外時に通話モード設定を変更しようとしたときに表示されます。電波状態の良いところで設定してください。	P.176
空き容量低下 端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。不要なデータやアプリを削除してください。	システムメモリ（本体）の空き容量が低下したときに表示されます。このままご使用になられると一部機能やアプリが動作しない場合があります。アプリやメディアコンテンツなどのデータを削除して、空き容量を確保してください。	P.148 P.368

エラー メッセージ	説明／対処方法	参照先
ソフトウェアを更新できません。ネットワークまたはサーバーエラーが発生しました。後程お試してください。	サーバーとの通信に失敗しました。しばらく時間をおいてから操作をやり直してください。	P.428
カメラを起動できませんでした。／温度上昇を検知したため、カメラを終了します。	カメラの起動に失敗したとき、または端末の温度が上昇したためカメラを終了したときに表示されます。しばらく時間をおいてから操作をやり直すか、本端末の電源を入れ直してください。	P.62 P.261
ビルトインアプリを無効にすると、他のアプリでエラーが発生する原因になります。	アプリを無効化すると、無効化されたアプリと連動している他のアプリが正しく動作しない場合があります。「OK」をタップして無効化し、他のアプリが正しく動作しなくなった場合は、アプリを有効化してください。	P.319

エラー メッセージ	説明／対処方法	参照先
ブラウザは停止しました。	ブラウザにエラーが発生したときに表示されます。「OK」をタップし、しばらく時間をおいてから操作をやり直してください。	P.207
証明書が見つかりません	SSLを利用したウェブページから要求される証明書が、本端末にない場合に表示されます。対応する証明書を本端末にインストールしてください。	—
証明書ベースの認証に失敗しました	SSLを利用したウェブページから証明書を要求されていますが、本端末に保存されている証明書では承認されない場合などに表示されます。対応する証明書を本端末にインストールしてください。	—

※ XXXXには、エラーが発生したアプリや機能の名称などが表示されます。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定やアプリの使いかた、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモnanoUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話する ドコモの携帯電話からの場合：

(局番なしの) 15710 (無料)

一般電話などからの場合：

 0120-783-360

受付時間 午前9:00～午後8:00(年中無休)

本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で  → 「遠隔サポート」 → 「このスマートフォンから発信する」 → 「電話」 / 「ダイヤル」 をタップして発信操作を行います。

2 ホーム画面で → 「遠隔サポート」

3 「遠隔サポートの接続画面に進む」 → 「同意する」

4 ドコモからご案内する接続番号を入力

5 接続後、遠隔サポートを開始

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
 - 外付けテレビアンテナケーブル SC02、マイク付高音質イヤホン、SIM取り出し用ピンは無料修理保証の対象外となります。
 - マイク付高音質イヤホン、SIM取り出し用ピンは、試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。
 - 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
 - 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・ディスプレイなどの破損）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
- ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - › ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - › 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - › 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

- 本端末の以下の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使いえなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所：スピーカー、受話口、外側カメラ、バイブレータ部分（GPS / FOMA / Xiアンテナ付近）
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切ってお早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートについて

インターネット上のダウンロードサイトから本端末のアップデートファイルをダウンロードし、ソフトウェアのアップデートを行います。ソフトウェアアップデートには、本端末で直接ネットワークに接続して行う方法と、パソコンにインストールしたパソコン用 Galaxy Smart Switch (P.378) を使って行う方法の2種類があります。

ソフトウェアアップデートについての注意事項

ソフトウェアアップデートは本端末に保存されているデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。万が一のトラブルに備え、本端末内のお客様情報やデータは、バックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし一部バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

- ソフトウェアアップデートの前に以下の準備を行ってください。
 - 本端末で実行中のすべてのプログラムを終了する (P.133)
 - 本端末を充電 (P.59) し、電池残量を十分な状態にする

- 本端末で直接ネットワークに接続してソフトウェアアップデートを行う場合は、電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェアアップデートを中断することがあります。
- ソフトウェアアップデート（ダウンロード、アップデートファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェアアップデートファイルのインストール中は、電話の発着信を含めすべての機能を利用できません。
- ソフトウェアアップデートに失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

本端末だけでアップデートする

本端末でネットワークに接続して本端末のソフトウェアをアップデートできます。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「端末情報」 → 「更新を手動でダウンロード」

- Wi-Fi接続時にソフトウェア更新を自動的にダウンロードする場合は、「更新を自動的にダウンロード」をONにします。

2 画面の指示に従って操作

- アップデートするファイルが正常にダウンロードされた後、アップデートするように操作を行うと、端末が再起動され、アップデートが開始されます。アップデート中には電話などの機能を使用できません。

お知らせ

- ソフトウェアをダウンロードした後、インストール続行の確認画面で「後で」または「夜間にインストール」をタップすると、インストールの実行を延期できます。

延期した場合でも、以下の操作でインストールをすぐに開始できます。

- ホーム画面で  → 「設定」 → 「端末情報」 → 「更新を手動でダウンロード」 → 「今すぐインストール」
 - 通知パネルを開く → 「ソフトウェア更新」 → 「今すぐインストール」
- アップデートの内容によっては、利用できるネットワークが制限される場合があります。

主な仕様

□ 本体

品名	SC-04G	
サイズ	高さ：約142mm、 幅：約70mm、 厚さ：約7.0mm (最厚部：約8.4mm)	
質量	約132g	
メモリ	ROM 64GB ^{*1} RAM 3GB	
連続待受時間	FOMA / 3G	静止時 (自動)：約440時間
	LTE	静止時 (自動)：約400時間
	GSM	静止時 (自動)：約360時間
連続通話時間	FOMA / 3G	約920分
	VoLTE 音声通話	約950分
	GSM	約640分
充電時間	ACアダプタ 05 (別売)	約90分 ^{*2}
	DCアダプタ 04 (別売)	約110分
	ワイヤレス チャージャー 03 (別売)	約180分

画面部分	種類	有機EL (Super AMOLED)
	サイズ	約5.1 inch
	発色数	16,777,216色
	解像度 (ピクセル数)	横1440ピクセル× 縦2560ピクセル Quad HD
撮像素子	種類	外側：裏面照射型 CMOS 内側：裏面照射型 CMOS
	サイズ	外側：1/2.6 inch 内側：1/4.0 inch
カメラ有効画素数		外側：約1600万画素 内側：約500万画素
カメラ記録画素数 (最大時)		外側：約1600万画素 内側：約500万画素
デジタルズーム		最大約8.0倍 (70段階)
ワンセグ	連続視聴時間	約500分
	録画時間	SC-04G (本体) : 最長約16,428分 (1件あたり約600分)
フルセグ	連続視聴時間	約310分
	録画時間	SC-04G (本体) : 約480分
モバキャスト連続視聴時間		約280分
表示言語		日本語 / 英語 / 韓国語

入力言語（文字入力・音声入力）		文字入力：日本語／英語／韓国語 音声入力：Google 音声入力による
ヘッドホン接続端子		3.5 φイヤホンジャック
	極数	4極
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n ^{*3} / ac ^{*3} 準拠（IEEE802.11n周波数帯：2.4GHz／5GHz）
Bluetooth機能	対応バージョン ^{*4}	Bluetooth 標準規格 Ver. 4.2
	出力	Bluetooth 標準規格 Power Class 1
	見通し通信距離 ^{*5}	約10m以内

Bluetooth 機能	対応プロ ファイル ^{※6}	Object Push Profile (OPP) Headset Profile (HSP) Hands-Free Profile (HFP) Advanced Audio Distribution Profile (A2DP) Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP) Serial Port Profile (SPP) Phone Book Access Profile (PBAP) Human Interface Device Profile (HID) Personal Area Networking Profile (PAN (PAN-NAP / PANU)) SIM Access Profile (SAP) Message Access Profile (MAP) HID over GATT Profile (HOGP)
-----------------	----------------------------	--

- ※ 1 Android OSや初期状態に搭載されているアプリの保存にも使用されているため、実際に使用できる容量とは異なります。
- ※ 2 「急速ケーブル充電」をONした際の数値です。
- ※ 3 MIMOに対応しています。
- ※ 4 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、BluetoothSIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※ 5 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
- ※ 6 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。

なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。

- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても電子メールを作成したり、アプリを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

□ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.85V
公称容量	2600mAh

□ 外付けテレビアンテナケーブル SC02

長さ	約380mm
質量	約7.1g

ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

本端末で Office 文書などを閲覧できます。
対応している種類とバージョンは以下のとおりです。

種類	バージョン	拡張子
Microsoft Word	MS Word 97-2013	.doc、.docx、 .dot、.dotx、 .rtf、.hwdt、.wbk
Microsoft Excel	MS Excel 97-2013	.xls、.xlsx、.xlt、 .xltx、.csv、 .xism、.cbk
Microsoft Power Point	MS PowerPoint 97-2013	.ppt、.pptx、 .pps、.ppsx、 .pot、.potx、.sbk
Adobe PDF	V1.2-V1.7	.pdf
Hansoft Hangul	Hansoft Hangul 97-3.0、2002-2010	.hwp、.hwt
Text	-	.txt

静止画の撮影枚数（目安）

撮影サイズ	SC-04G（本体）※
8.0M（3264×2448）	最大約13,800枚

ファイルサイズが4MBの場合の撮影枚数です。

※ 初期状態での保存可能枚数です。

動画の撮影時間（目安）

撮影サイズ	SC-04G（本体）※
FHD（1920×1080）	最大約445分 （1件あたり最大約33分）

※ 初期状態での録画可能時間です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話の比吸収率（SAR）

この機種 [SC-04G] の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.210W/kg（※2）、身体に装着した場合のSARの最大値は0.665W/kg（※3）です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。

このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

SAMSUNGのホームページ

<http://www.samsung.com/sar/sarMain.do>

→ LOCATION欄で「JAPAN」→ Phone Model欄で「SC-04G」→「GO」

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 同時に使用可能な無線機能を持つ携帯電話機本体を側頭部でご使用になる場合のSAR測定法については、平成27年7月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申がなされており、これに基づいて評価した場合においてもSARが許容値を満足していることを確認しています。

※3 Xi/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model [SC-04G] mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (*1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use at the ear is 0.210 W/kg (*2) and when worn on the body is 0.665 W/kg (*3). There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the

power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

This mobile phone can be used in positions other than against your ear. Please keep the mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications
Website:

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses
Website:

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

Samsung Electronics Co., Ltd. Website:

<http://www.samsung.com/sar/sarMain.do>

→ Select location from "LOCATION" → Type "SC-04G" in Phone Model field → "GO"

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

*2 In regards to methods of measuring SAR when using mobile phones having multiple wireless devices to be able to function simultaneously at the ear, in July of 2015, a portion of advisory 118 was reported on based upon the Information and Communications Council. SAR value when evaluated based on the report is also under the SAR limit.

*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with Xi/FOMA.

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 1.21 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 1.25 W/kg.

Body-worn operation

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of

<http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID A3LSCO4G.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at <http://www.ctia.org/>.

本端末はFederal Communications Commission (FCC)の承認を取得しています。

本端末のFCC IDは、以下の手順で確認できます。

確認方法：

ホーム画面で  → 「設定」 → 「端末情報」 → 「バッテリー情報」 をタップします。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.301 W/kg. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.445 W/kg.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

Declaration of Conformity

Product details

For the following

Product : GSM WCDMA LTE BT/Wi-Fi
Mobile Phone
Model(s) : SC-04G



Declaration & Applicable standards

We hereby declare, that the product above is in compliance with the essential requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC) by application of:

SAFETY EN 60950-1:2006 + A11:2009 + A1:2010 + A12:2011 + A2:2013

SAR EN 50360 : 2001 / A1:2012 EN 50566 : 2013
EN 62209-1 : 2006 EN 62209-2 : 2010
EN 62479 : 2010

EMC EN 301 489-1 V1.9.2 (09-2011) EN 301 489-17 V2.2.1 (09-2012)
EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010) EN 301 489-3 V1.6.1 (08-2013)
EN 301 489-7 V1.3.1 (11-2005)

RADIO EN 300 328 V1.8.1 (06-2012) EN 300 330-1 V1.7.1 (02-2010)
EN 300 330-2 V1.5.1 (02-2010) EN 300 440-1 V1.6.1 (08-2010)
EN 300 440-2 V1.4.1 (08-2010) EN 301 511 V9.0.2 (03-2003)
EN 301 893 V1.7.1 (06-2012) EN 301 908-1 V6.2.1 (04-2013)
EN 301 908-13 V6.2.1 (10-2013) EN 301 908-2 V6.2.1 (10-2013)
EN 302 291-1 V1.1.1 (07-2005) EN 302 291-2 V1.1.1 (07-2005)

and the Directive (2011/65/EU) on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment by application of EN 50581:2012.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[IV] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

TÜV SÜD BABT, Octagon House, Concorde Way,
Fareham, Hampshire, PO15 5RL, UK *
Identification mark: 0168

Representative in the EU

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park
Saxony Way, Yateley, Hampshire
GU46 6GG, UK*



2015.03.23

(Place and date of issue)

Stephen Colclough / EU Representative

(Name and signature of authorized person)

- ※ This is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受けます。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なお使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なお使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

- 「Xi」「Xi / クロッシィ」「FOMA」「iモード」「iアプリ」「デコメール[®]」「iコンシェル」「マチキャラ」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「おまかせロック」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「mopera U」「ビジネスmopera」「エリアメール」「spモード」「eトリセツ」「おサイフケータイ」「トルカ」「dマーケット」「dメニュー」「dミュージック」「dTV」「かざしてリンク」「フォトコレクション」「しゃべってコンシェル」「あんしん遠隔サポート」「あんしんスキャン」および「iコンシェル」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴ、「トルカ」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「eトリセツ」ロゴ、「しゃべってコンシェル」ロゴ、「あんしん遠隔サポート」ロゴ、「ICタグ・バーコードリーダー」ロゴ、「メディアプレイヤー」ロゴ、「ドコモバックアップ」ロゴ、「電話帳」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「dメニュー」ロゴ、「iD」ロゴ、「マイマガジン」ロゴ、「データ保管BOX」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- Bluetooth[®] smart readyとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。



- Wi-Fi Certified[®]とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。



- 「モバキャス」は、株式会社ジャパン・モバイルキャスティングの商標です。
- 「NOTTV」は、株式会社mmbiの商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2016 All Rights Reserved.
- Microsoft[®]、Windows Media[®]、ActiveSync[®]は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- 「Qi」および  マークはワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）の商標です。
-  はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。



- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Windows 10 Home、Pro、Enterprise、Education) の略です。
 - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1 (Windows 8.1、Pro) の略です。
 - Windows 8は、Microsoft® Windows® 8 (Windows 8、Pro、Enterprise) の略です。
 - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate) の略です。
 - Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate) の略です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
 - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

あ

アカウント	355
削除	357
設定	355
明るさ	328
アクセスポイント	312
初期化	313
設定	312
アプリ画面	119
アプリ画面の見かた	146
アプリケーション	318
アプリケーション管理	318
暗証番号	343
PINコード	344
PINロック解除コード (PUK)	345
ネットワーク暗証番号	344
位置情報	275
印刷	382
ウェブブラウザ	207
エッジスクリーン	99
エッジパネル	100
おサイフケータイ	221
音量を調節する	324

か

海外で利用可能なサービス	384
カメラ	259
カメラの設定	265
撮影画面の見かた	261
静止画を撮影	263
動画を撮影	264
画面ロックの解除方法を設定	338
画面ロックを設定	63
キーボードの種類（入力方法）を切り替える	79
機内モード	305
キャッチホン	174
ギャラリー	270
切り取り	84
緊急速報「エリアメール」	204
緊急通報	159
クイック検索ボックス	131
公共モード（電源OFF）設定	175
高度な機能	69
国際電話（WORLD CALL）	173
国際ローミング（WORLD WING）	383
コピー	84

さ

最近使用したアプリの一覧	133
辞書	293
システム	358
指定した電話番号からの着信を拒否する	180
自分の電話番号を確認	363

指紋認証機能を利用する	74
充電	57
仕様	431
省電力モード	361
初期設定	88
スクリーンキャプチャ	73
スクリーンセーバー	328
スクロール	68
ステータスバー	91
主なステータスアイコン	94
主な通知アイコン	91
ストレージ	363
スマートマネージャー	134
スワイプ	67
静止画	263
撮影	263
表示	272
接続	298
設定メニュー	296
ソフトウェアアップデート	428

た

タッチスクリーン	66
タップ	67
タップ&ペイ	228
ダブルタップ	67
着信音	
設定	325
着信音量を調節	324

着信拒否	161
SMSで送信する拒否理由を登録する	179
着信拒否時にメッセージ送信	161
着信履歴	170
通知LED	90
通知音を設定	325
通知パネル	96
通話設定	174
ディスプレイ	50
ディスプレイの表示方向	
切り替え	72
データ使用量	311
テザリング	306
デバイス	320
テレビ（フルセグ／ワンセグ）	240
電源を入れる／切る	62
伝言メモ	172
転送でんわサービス	174
電卓	286
電話帳	181
電話をかける	188
登録	181
電話を受ける	161
電話をかける	155
電話帳	188
履歴	170
動画	
撮影	264
動画を再生する	
ギャラリー	272

時計	280
アラーム	280
ストップウォッチ	282
世界時計	281
タイマー	282
ドコモ nanoUIM カード	52
暗証番号	52
取り付ける	53
取り外す	55
ドコモアプリ管理	329
ドコモバックアップ	287
データ保管BOX	287
ドコモメール	189
ドラッグ	67
トルカ	229

な

内蔵電池

充電時間	431
寿命	57
連続通話時間	431
連続待受時間	431

は

パーソナル	329
ハイブリッドダウンロード	315
バイブレーションのパターンを設定	325

パソコンとの接続	
microUSB接続ケーブルで接続	377
発信者番号通知	175
発信履歴	170
貼り付け	84
比吸収率 (SAR)	439
ビデオコール	
通話中の画面	166
電話を受ける	161
ピンチアウト	68
ピンチイン	68
フリック	68
フルセグ	240
プレイヤー	273
分割画面表示	113
ボイスレコーダー	284
ホーム画面	111
ホーム画面のバックアップと復元	151
バックアップ	151
復元	151
ホーム画面の見かた	138

ま

マイク付高音質イヤホン	396
マイファイル	366
マイプロフィール	188
マイマガジン	152
マチキャラを表示	145

マナーモード	323
メール	189
Eメール	196
Gmail	202
SMS	190
ドコモメール	189
メディアプレイヤー	273
文字入力	79
設定	85
モバキャス	230

ら

リモートコントロール	341
留守番電話サービス	174
ロック画面	64
ロングタッチ	67

わ

ワンセグ	240
------	-----

英数字

ACアダプタ	59
充電	59
Bluetooth	370
docomo LIVE UX	138
きせかえ	143
dマーケット	217
dメニュー	216

Eメール	196
アカウントを設定	196
作成して送信	197
受信	198
設定	199
Galaxy Apps	220
Galaxy Smart Switch	378
Galaxy アカウント	356
Galaxy 日本語キーボード	79
キーボードの種類	82
ワイルドカード予測	83
Gmail	202
Google Play	218
Google マップ	278
経路を検索	279
GPS	275
NFC / おサイフケータイ 設定	314
Playストア	218
S Health	294
SIMカードロックを設定	346
SIM変更アラート	342
SMS	190
作成して送信	190
受信	192
spモード	312
Sファインダー	133
Sプランナー	283
Sボイス	295
TouchWizかんたんホーム	117
TouchWizホーム	111

VPN	316
Wi-Fi	299
WORLD CALL	173
YouTube	292
184	157
186	157

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに 注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用は やめましょう

■ 駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようになしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 公共モード（電源OFF）（P.175）

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

■ バイブ（P.325）

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード（サイレント、バイブ）（P.323）

キー確認音・着信音など本端末から鳴る音を消します。

※ ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.174）、転送でんわサービス（P.174）などのオプションサービスが利用できます。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話の回収・リサイクルのご協力先。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

オンラインでの各種お手続き・ご契約内容の確認など

本端末から dメニュー→お客様サポート→ドコモオンライン手続き

パソコンから My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>) →「ドコモオンライン手続き」内の項目を選択

- ・ システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用にできない場合があります。
- ・ 「ドコモオンライン手続き」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「ID／パスワード」が必要です。

**海外での紛失、盗難、故障および
各種お問い合わせ先（24時間受付）**

ドコモの携帯電話からの場合

**滞在国の国際電話
アクセス番号** **-81-3-6832-6600*（無料）**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※ SC-04Gからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」をロングタッチします）。

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

**ユニバーサルナンバー用
国際識別番号** **-8000120-0151***

- *滞在国内通話料などがかかる場合があります。
- ※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
 - 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
 - お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先

(ドコモ インフォメーションセンター)

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※ 一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00
(年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
 - 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
- ドコモホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・ 修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※ 一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります

受付時間 24時間 (年中無休)

試供品のお問い合わせ先

■Galaxy カスタマーサポートセンター

 **0120-363-905**

受付時間 午前9:00～午後5:00 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 試供品については、本書内でご確認ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。



危険です、
歩きスマホ。



キケン!
水ぬれ充電



Li-ion 00

販売元 株式会社NTTドコモ
'16.3 (2版)